

多治見市
平成 30(2018)年度 市民意識調査
報告書

平成 31(2019)年3月

多治見市

目次

第Ⅰ部 平成30(2018)年度市民意識調査	1
第1章 調査概要.....	2
1. 調査目的.....	2
2. 調査方法等.....	2
3. 回収結果.....	2
4. 調査報告書における表および図表の見方.....	2
第2章 調査結果.....	3
1. 基本属性.....	3
2. 住みやすさと居住意向.....	5
3. 生活実態および市民意識.....	12
4. 市政全般について.....	16
5. 情報提供について.....	44
第Ⅱ部 平成30(2018)年度市民意識調査(高校生版)	55
第1章 調査概要.....	56
1. 調査目的.....	56
2. 調査方法等.....	56
3. 回収結果.....	56
第2章 調査結果.....	57
1. 基本属性.....	57
2. 住みやすさと居住意向.....	58
3. 生活実態および市民意識.....	59
4. 市政全般について.....	60
5. 情報提供について.....	63
参考資料	67
依頼文書及び調査票.....	68

第 I 部

平成 30(2018)年度市民意識調査

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査方法 ①市内在住の16歳以上の男女2,000人(無作為抽出)
⇒郵送配布、郵送回収およびインターネット回収
②広報たじみ読者
⇒広報たじみ綴込み、郵送回収
- 調査時期 平成30(2018)年9月～10月

3. 回収結果

		回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配布	郵送回収	708	35.4%	708	0
	インターネット回収	89	4.45%	89	0
広報たじみ綴込み・郵送回収		247	—	247	0
合計		1,044	—	1,044	0

4. 調査報告書における表および図表の見方

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ③複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ④本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

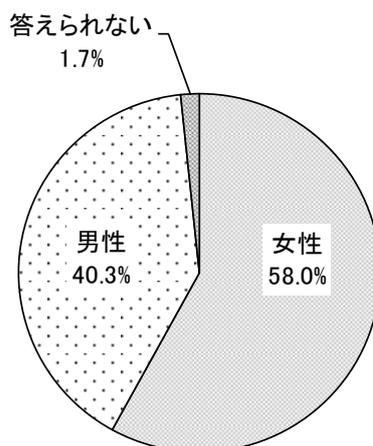
第2章 調査結果

1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が 58.0%、「男性」が 40.3%、「答えられない」が 1.7%となっている。

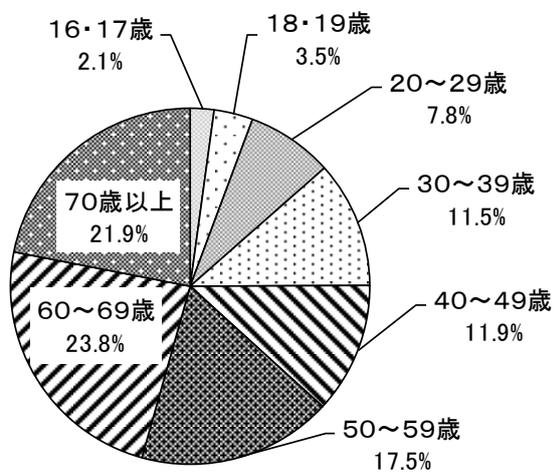
図 1-1-1 「性別」



1-2 年齢

「60～69 歳」が 23.8%と最も高くなっており、ついで「70 歳以上」が 21.9%、「50～59 歳」が 17.5%となっている。

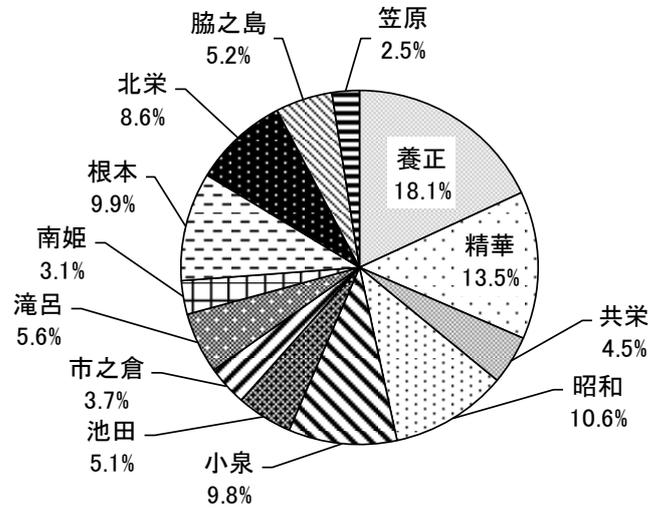
図 1-2-1 「年齢」



1-3 小学校区

「養正」が18.1%と最も高くなっており、ついで「精華」が13.5%、「昭和」が10.6%となっている。

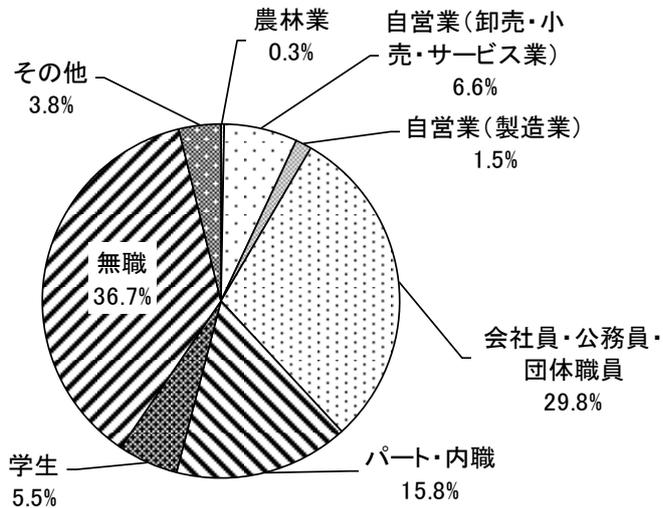
図 1-3-1 「小学校区」



1-4 職業

「無職」が36.7%で最も高くなっており、ついで「会社員・公務員・団体職員」が29.8%、「パート・内職」が15.8%となっている。

図 1-4-1 「職業」



2. 住みやすさと居留意向

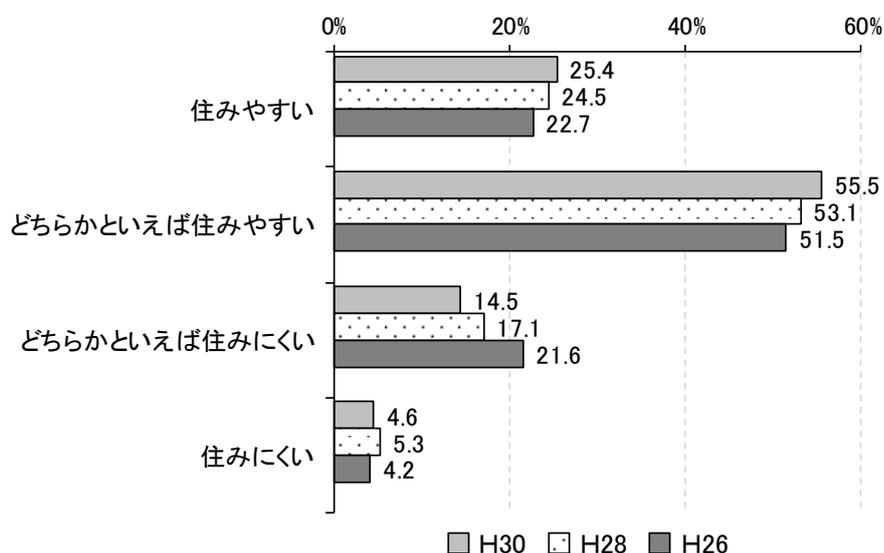
2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が55.5%と最も高くなっており、ついで「住みやすい」が25.4%、「どちらかといえば住みにくい」が14.5%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は80.9%となっている。

一方で「どちらかといえば住みにくい」が14.5%となっており、「住みにくい」が4.6%となっている。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくと感じている人”は19.1%となっている。

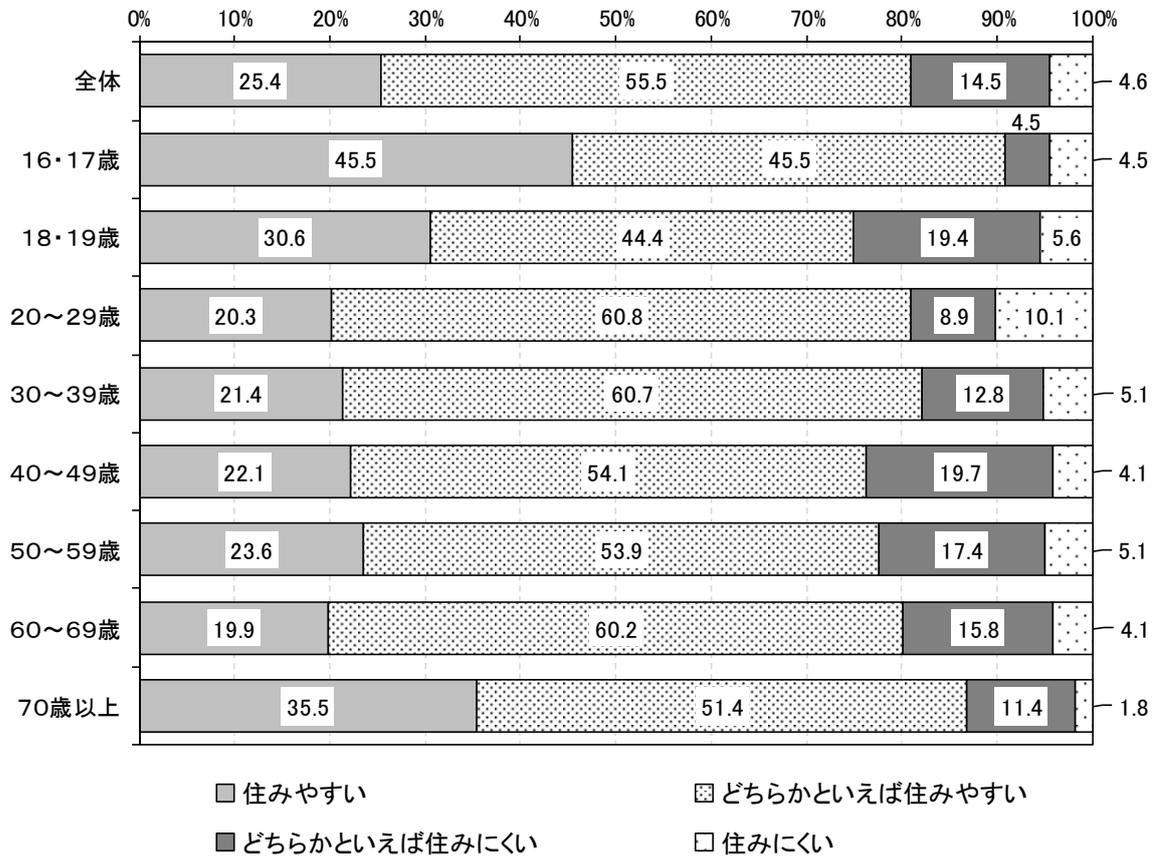
過去の調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”は年々増加しており、“住みにくと感じている人”は減少している。

図 2-1-1 「住みやすさ」(過年度比較)



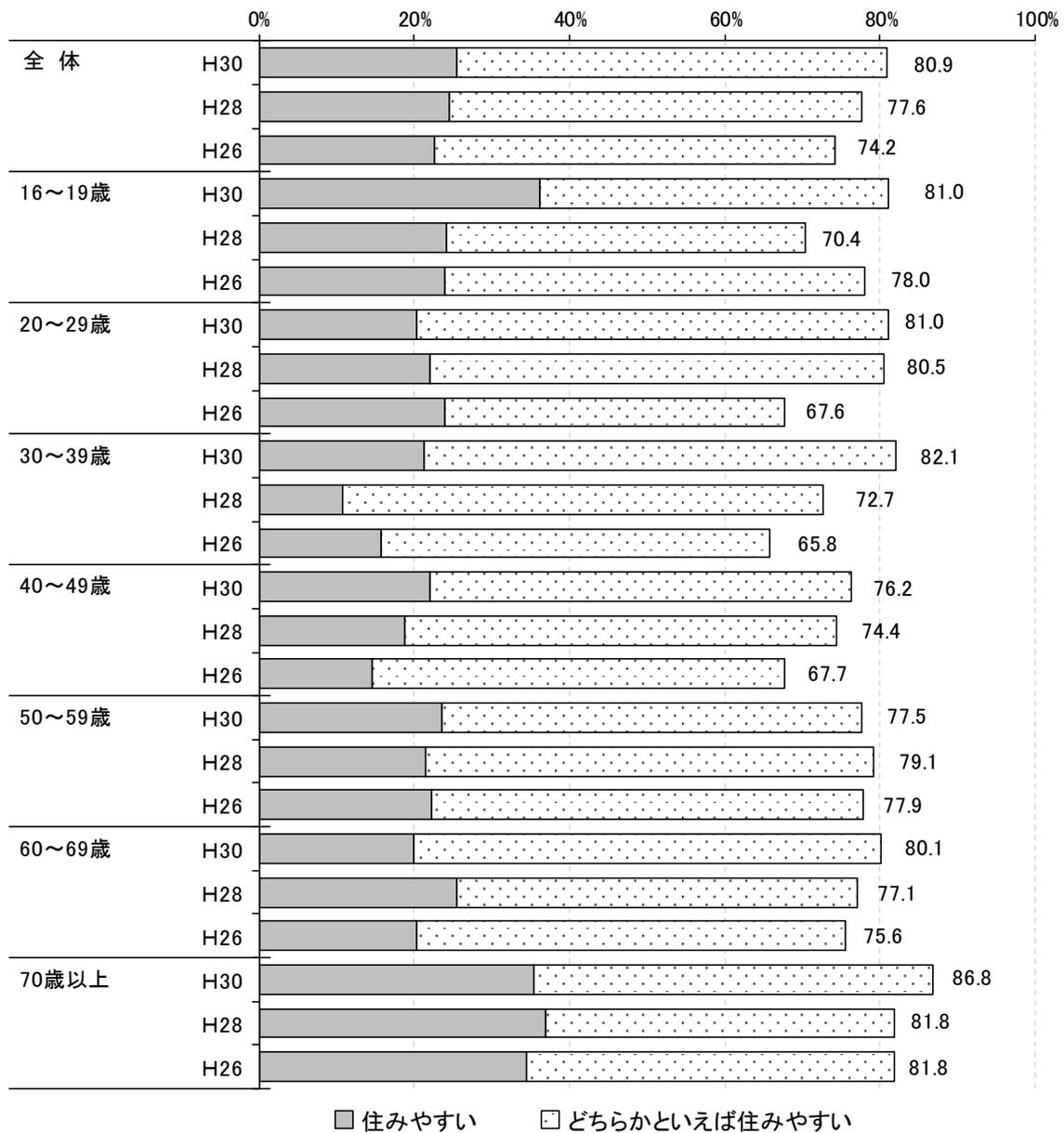
「住みやすい」が「16・17歳」で45.5%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”も「16・17歳」で91.0%と最も高くなっている。“住みやすいと感じている人”が最も低くなっているのは「18・19歳」の75.0%であり、最も高い「16・17歳」と比べると16ポイントの差がみられる。

図 2-1-2 年代別「住みやすさ」



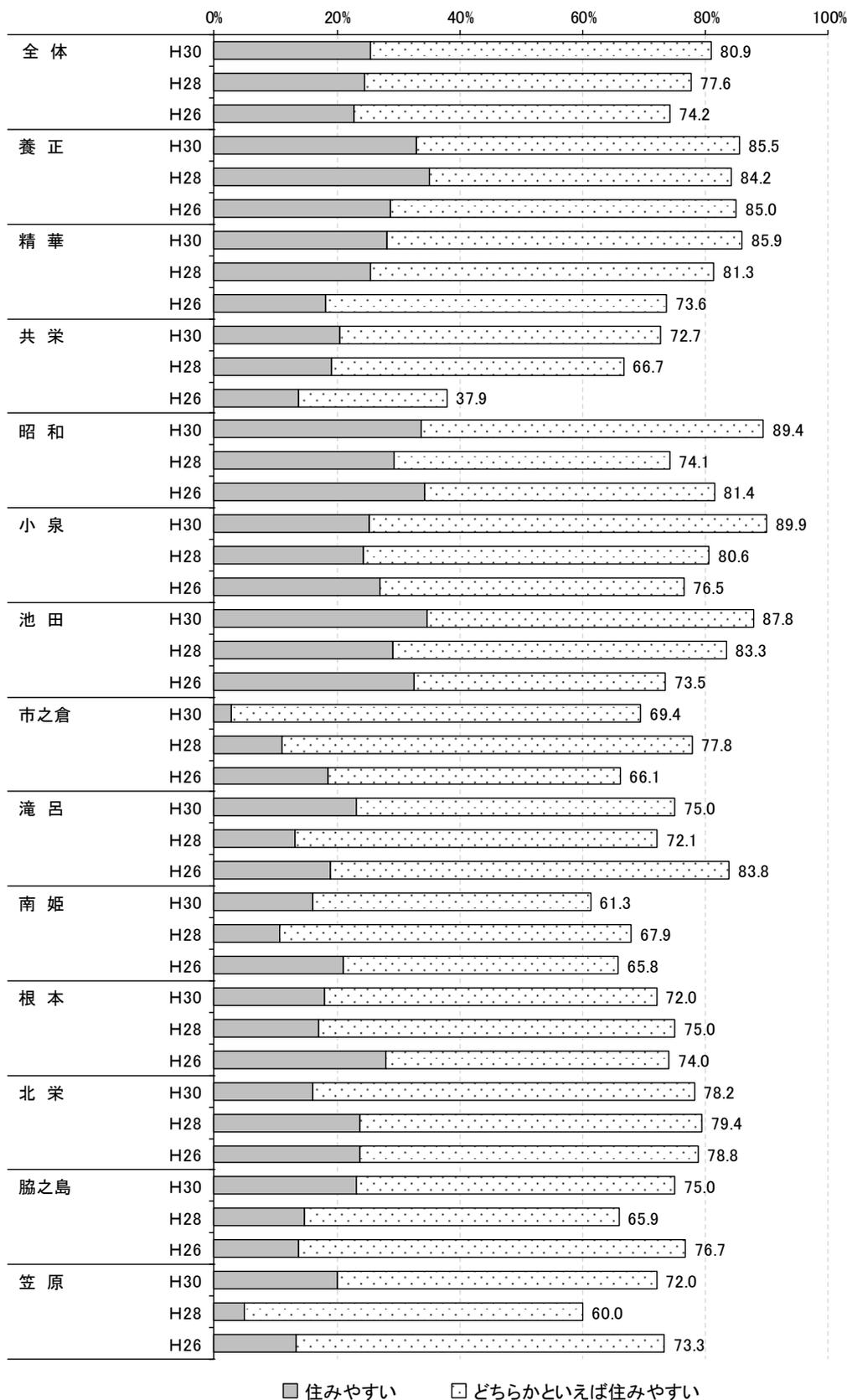
“住みやすいと感じている人”は「50～59歳」では、平成28年調査よりも減少しているが、その他の年代では、増加している。特に「16～19歳」では平成28年調査の70.4%から10ポイント以上増加して81.0%となっている。

図 2-1-3 年代別「住みやすさ」(過年度比較)



“住みやすいと感じている人”は、「市之倉」「南姫」「根本」「北栄」では平成 28 年調査よりも減少しており、特に「市之倉」では約8ポイント減少し、69.4%となっている。その他の小学校区では平成 28 年調査よりも増加しており、特に「昭和」では 15 ポイント以上増加し、89.4%となっている。

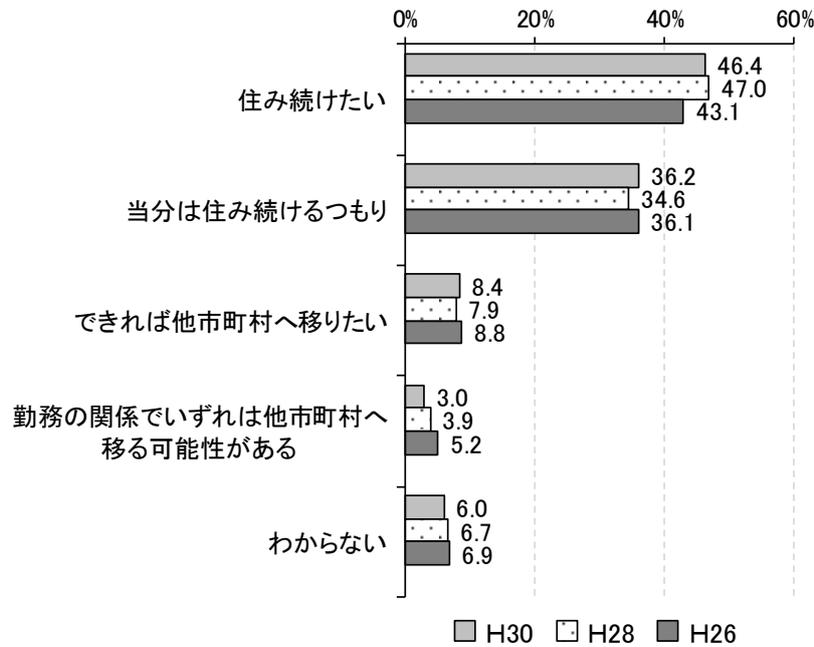
図 2-1-4 小学校区別「住みやすさ」(過年度比較)



2-2 今後の居留意向

「住み続けたい」が46.4%と最も高くなっており、ついで「当分は住み続けるつもり」が36.2%、「できれば他市町村へ移りたい」が8.4%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと思っている人”は82.6%となっており、平成28年調査の81.6%からわずかに増加している。

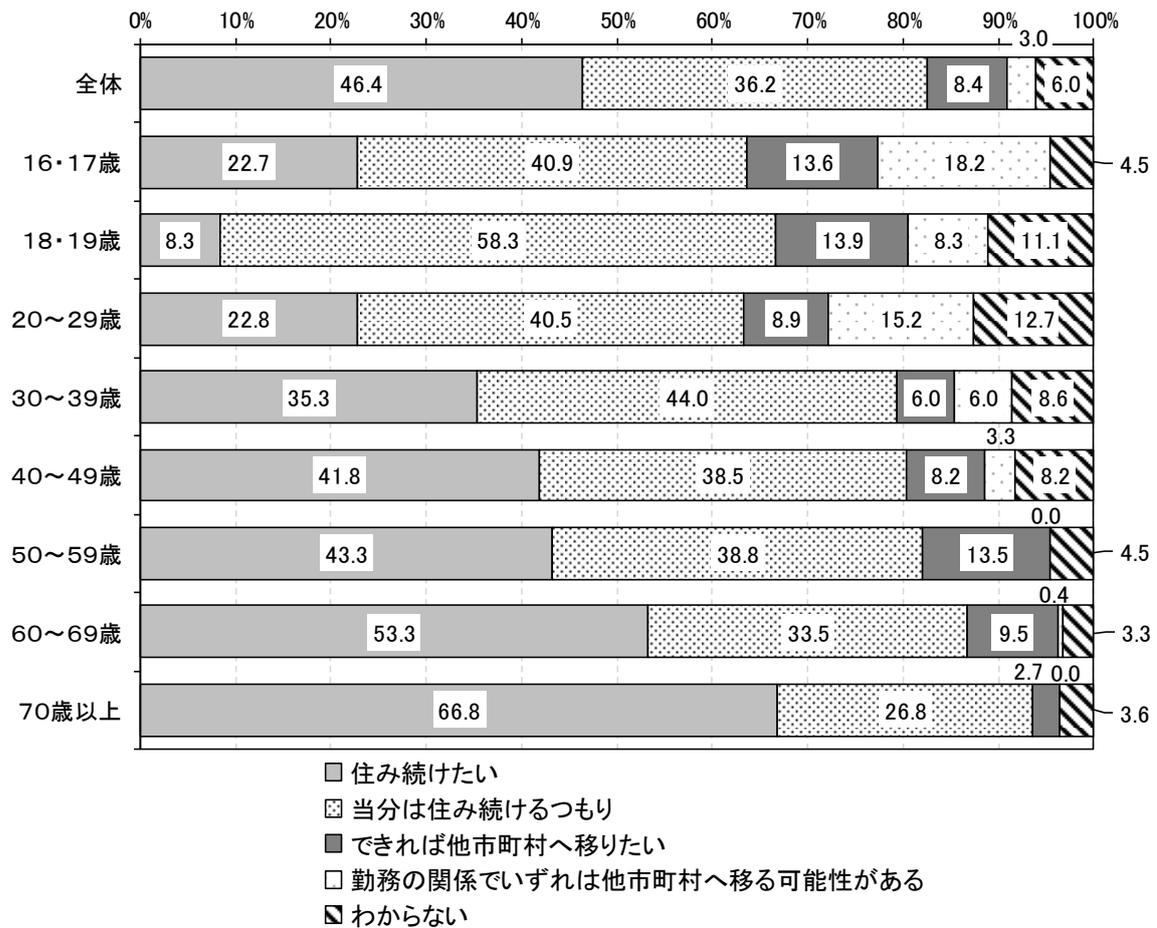
図 2-2-1 「今後の居留意向」(過年度比較)



「住み続けたい」が「18・19歳」で8.3%であるが、年代が上がるごとに割合も増加し、「70歳以上」では66.8%となっている。

一方で「できれば他市町村へ移りたい」が「16・17歳」「18・19歳」「50～59歳」で1割以上となっており、他の年代よりもやや高くなっている。また、「16・17歳」「20～29歳」で「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」が比較的高くなっている。

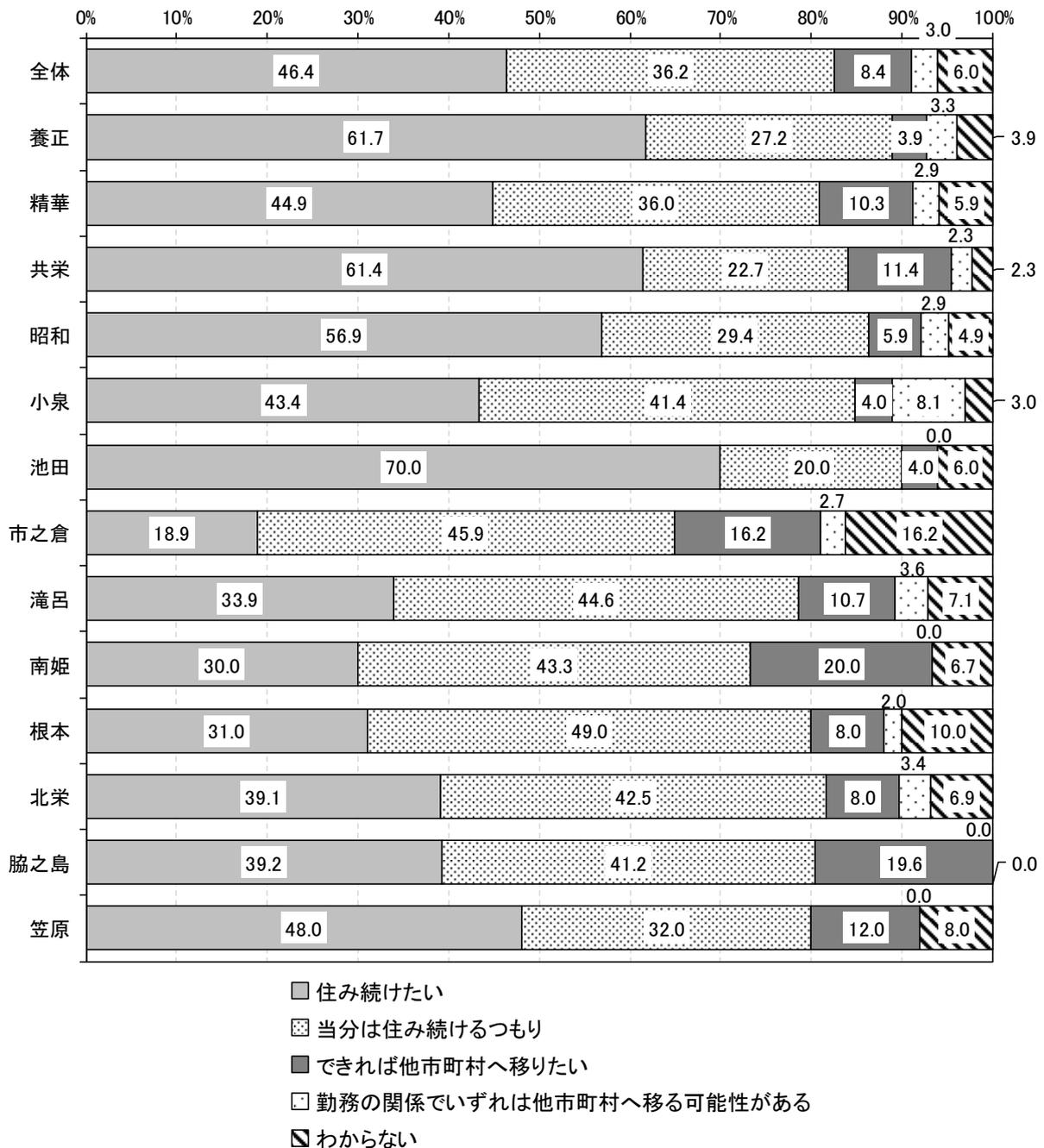
図 2-2-2 年代別「今後の居留意向」



「住み続けたい」が「池田」で70.0%と最も高くなっており、ついで「養正」で61.7%、「共栄」で61.4%となっている。

一方で「市之倉」では「住み続けたい」が18.9%と最も低くなっており、最も高い「池田」とは50ポイント以上の差がみられる。また、「市之倉」、「南姫」、「脇之島」では「できれば他市町村へ移りたい」が1割半ばから2割と他の小学校区に比べ、その割合がやや高くなっている。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居留意向」



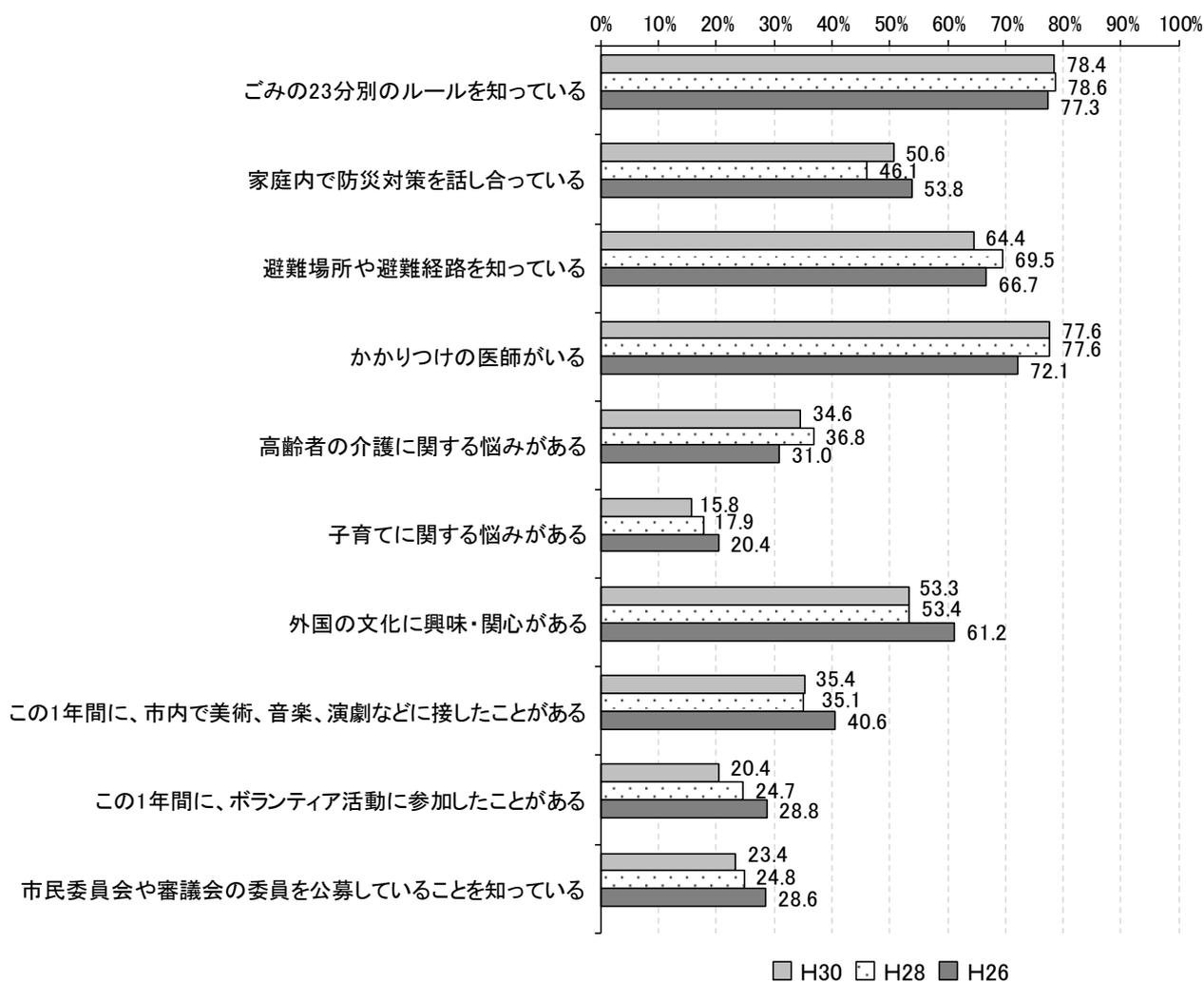
3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「ごみの23分別のルールを知っている」が78.4%で最も多くなっており、ついで「かかりつけの医師がいる」が77.6%、「避難場所や避難経路を知っている」が64.4%となっている。

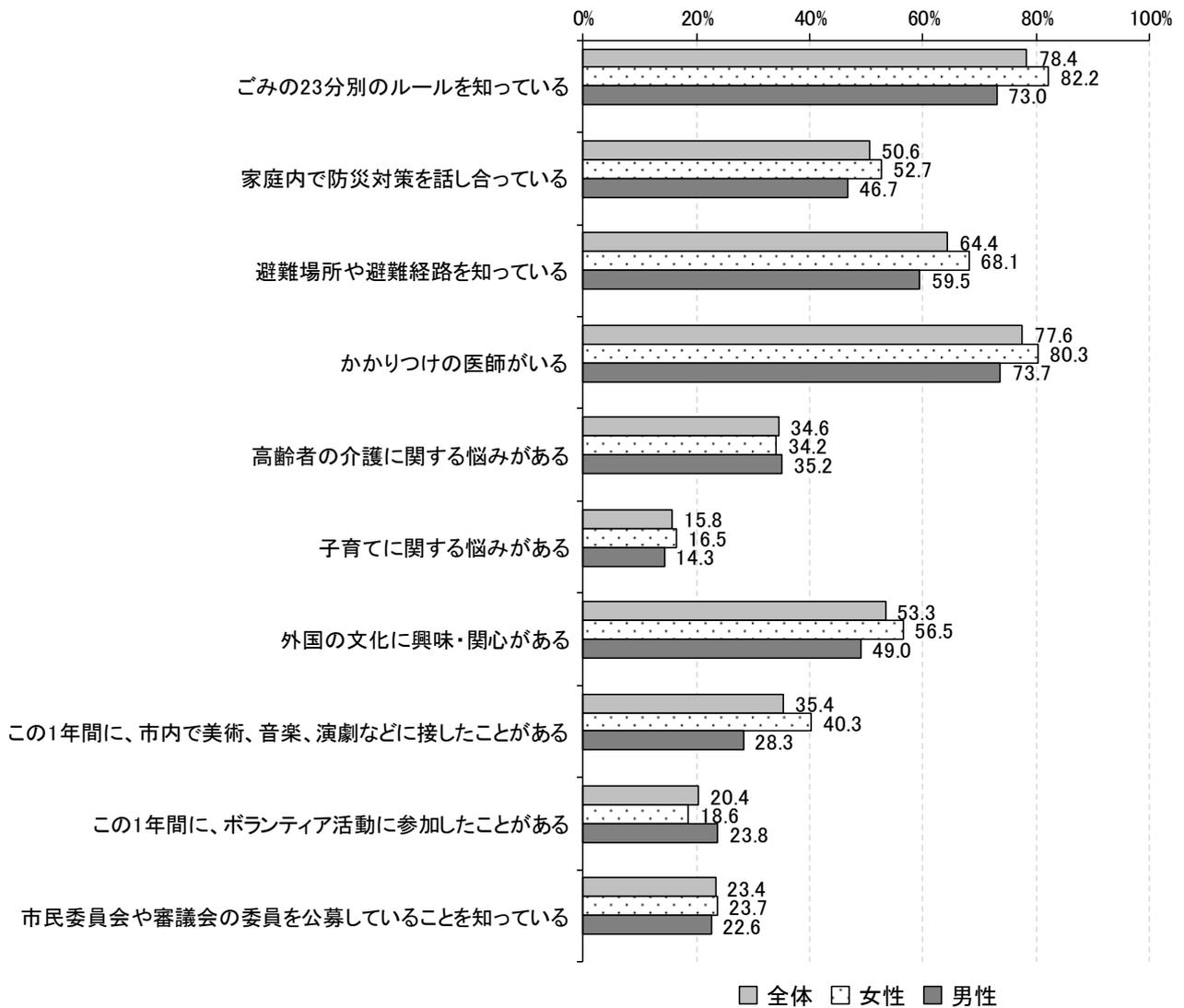
平成28年調査と比較すると、「家庭内で防災対策を話し合っている」と「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」、「かかりつけの医師がいる」を除く項目で割合が減少している。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」(過年度比較)



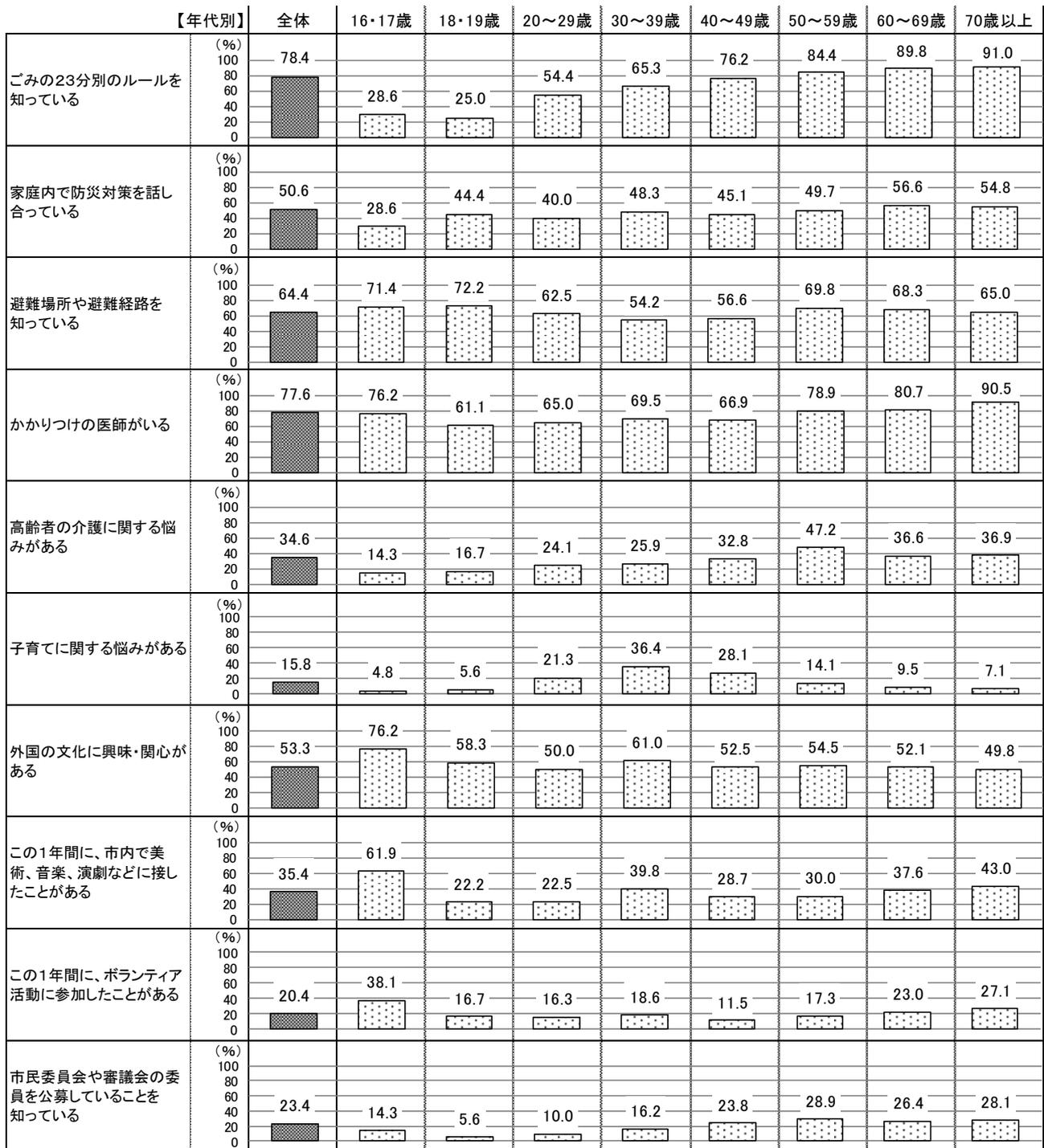
性別でみると、「高齢者の介護に関する悩みがある」と「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」を除く項目で、女性の方が男性よりも割合が高くなっている。特に、「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」では、女性が男性よりも10ポイント以上多くなっている。

図 3-1-2 性別「生活実態および市民意識」



年代別にみると、「50～59歳」以上になると「ごみの23分別のルールを知っている」が8割を超えて高くなっているが、「16・17歳」、「18・19歳」では3割未満となっている。「16・17歳」では「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」が61.9%と他の年代と比べ高くなっている。

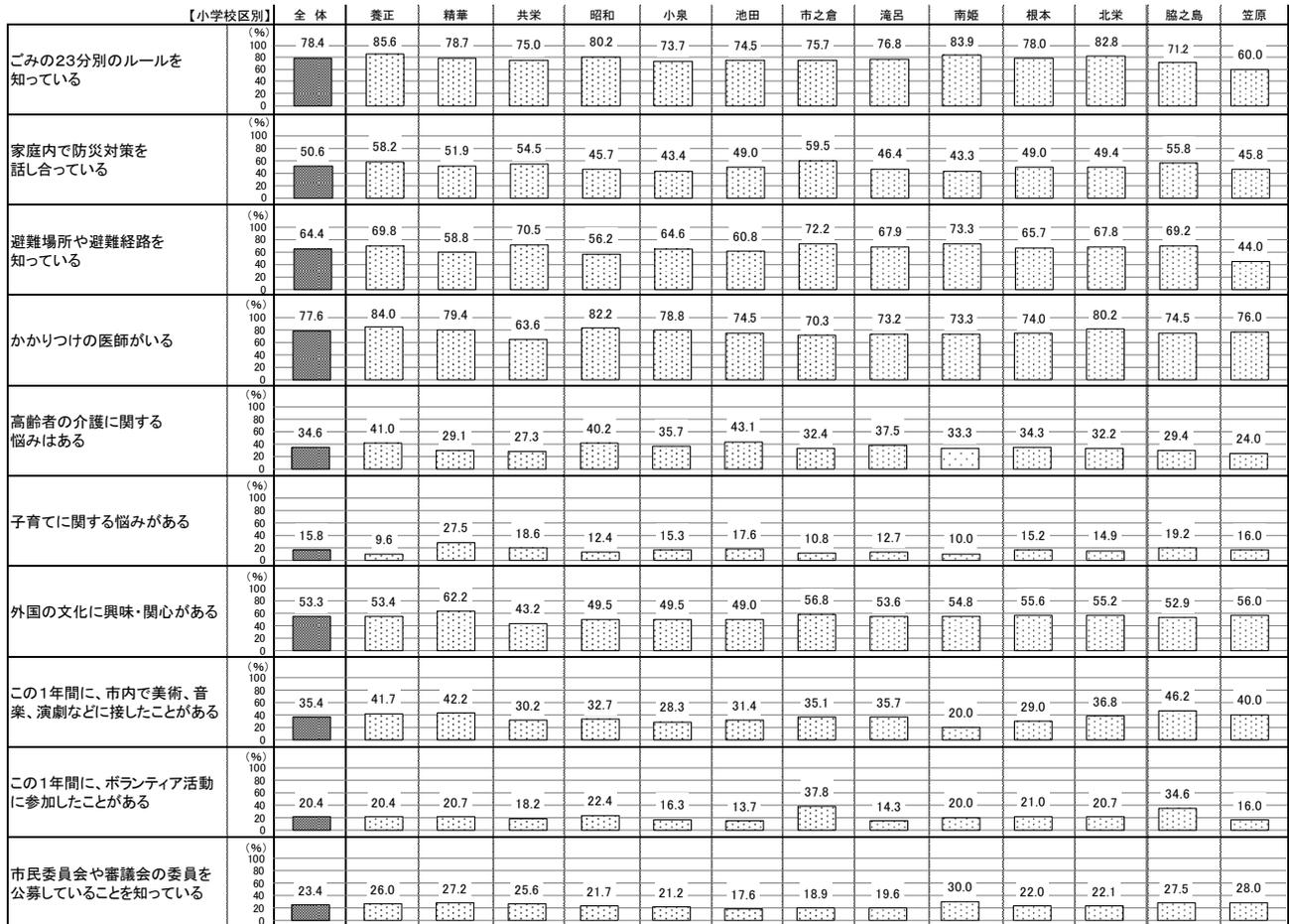
図 3-1-3 年代別「生活実態および市民意識」



小学校区別にみると、「養正」「共栄」「池田」「市之倉」「滝呂」「南姫」「根本」「北栄」では「ごみの23分別のルールを知っている」が最も高く、いずれの地区においても7割を超えている。「精華」「昭和」「小泉」「池田」「脇之島」「笠原」では「かかりつけの医師がいる」が最も高くなっている。

「笠原」では「避難場所や避難経路を知っている」が44.0%で他の小学校区よりも10ポイント以上少なくなっている。

図 3-1-4 小学校区別「生活実態および市民意識」



4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市の施策項目ごとに、満足度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、満足度の選択肢に対して次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いている。

《満足度の各選択肢に対する得点》

選択肢番号	満足度	得点
1	満足	2
2	やや満足	1
3	やや不満	-1
4	不満	-2
5	わからない	0

《評価得点の算出式》

$$\text{満足度} = \frac{([\text{満足}] \times 2 \text{点}) + ([\text{やや満足}] \times 1 \text{点}) + ([\text{やや不満}] \times -1 \text{点}) + ([\text{不満}] \times -2 \text{点})}{\text{回答者数}([\text{わからない}] \text{を除く})}$$

「市政への満足度」は42項目中11項目でプラスの評価となっている。プラスの評価となったのは、以下の11項目である。

- ・「水道水の安定供給」(1.15ポイント)
- ・「下水道の整備」(1.03ポイント)
- ・「消防・救急体制の整備」(0.76ポイント)
- ・「まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進」(0.42ポイント)
- ・「市内医療機関の充実」(0.39ポイント)
- ・「健康増進に向けた活動の機会」(0.16ポイント)
- ・「幼稚園や保育園の保育サービス」(0.10ポイント)
- ・「職員の市民への対応」(0.10ポイント)
- ・「生涯学習の機会」(0.10ポイント)
- ・「祭りやイベントの開催」(0.08ポイント)
- ・「スポーツを楽しむ機会」(0.05ポイント)

一方で42項目中31項目がマイナス評価となっており、特に「渋滞解消のための道路整備」(-1.24ポイント)、「中心市街地の活性化」(-0.86ポイント)、「子育てや女性の就業への支援」(-0.84ポイント)、「地域の特性にあわせた計画的な土地利用」(-0.84ポイント)では、値が高くなっている。

平成28年調査と比較すると、「自然環境の保全や環境教育の推進」「子どもの権利に関する意識」「人権意識」「情報公開や広報活動」の4項目がマイナス評価へと転じている。

図 4-1-1 「市政への満足度」

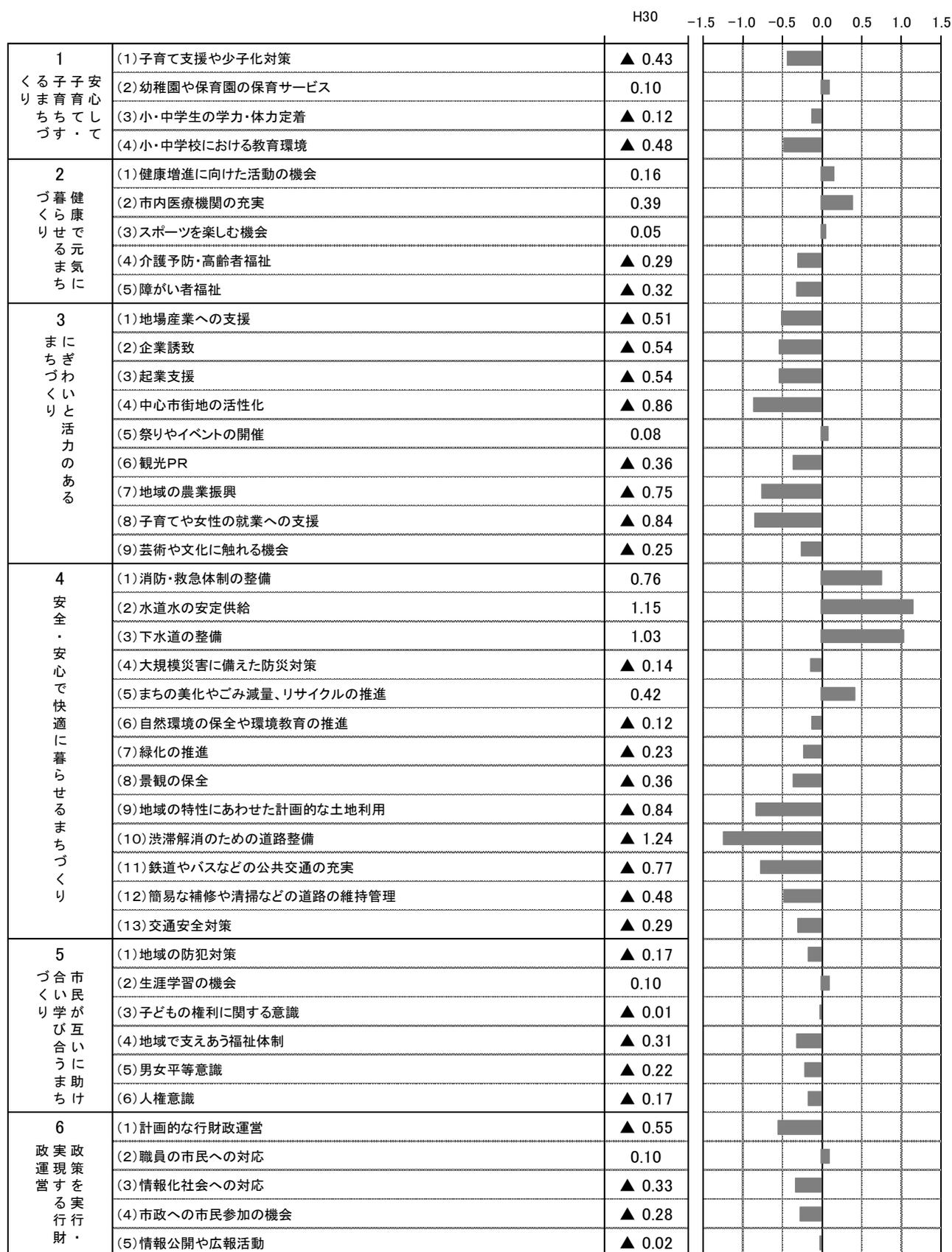
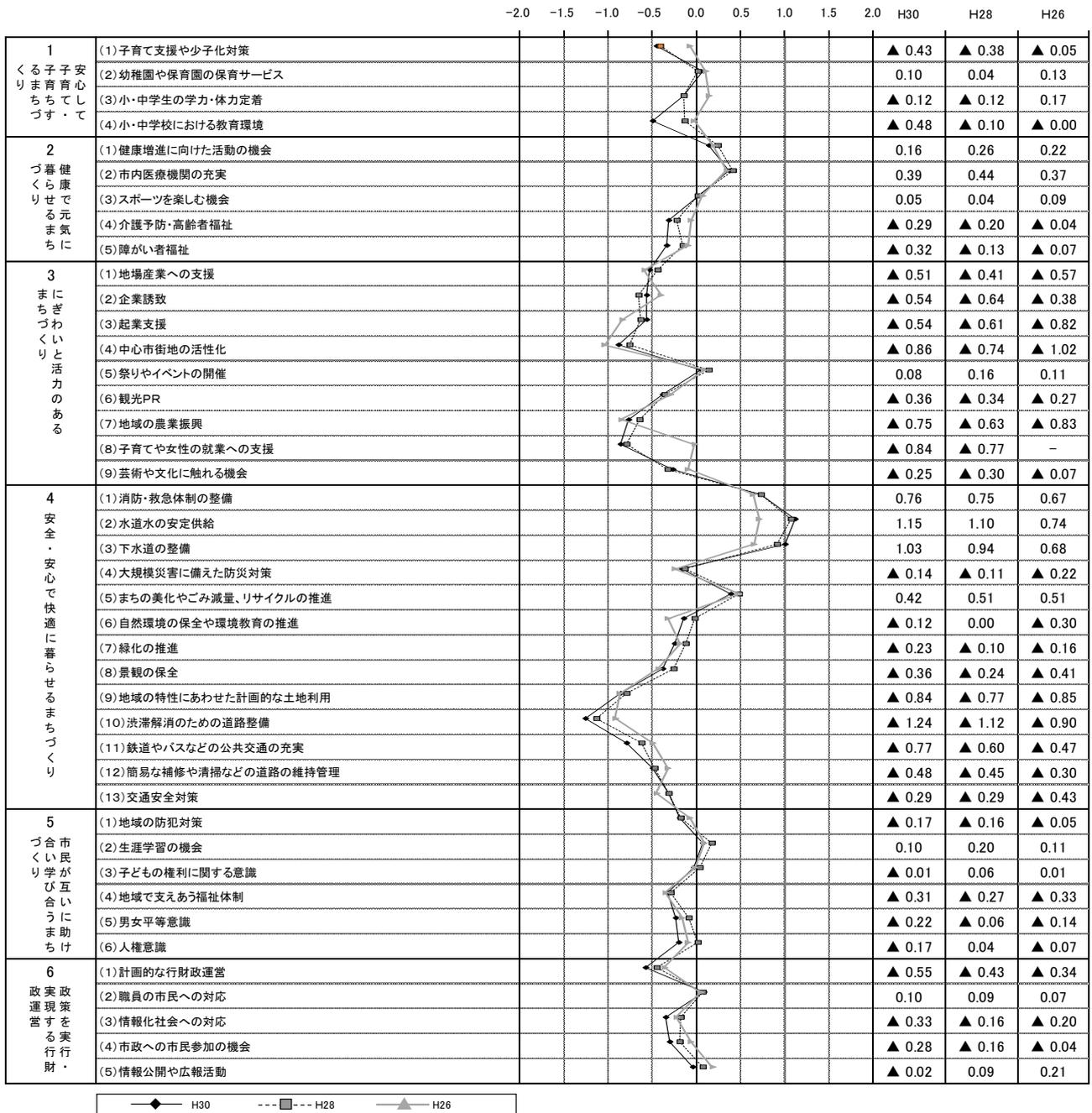


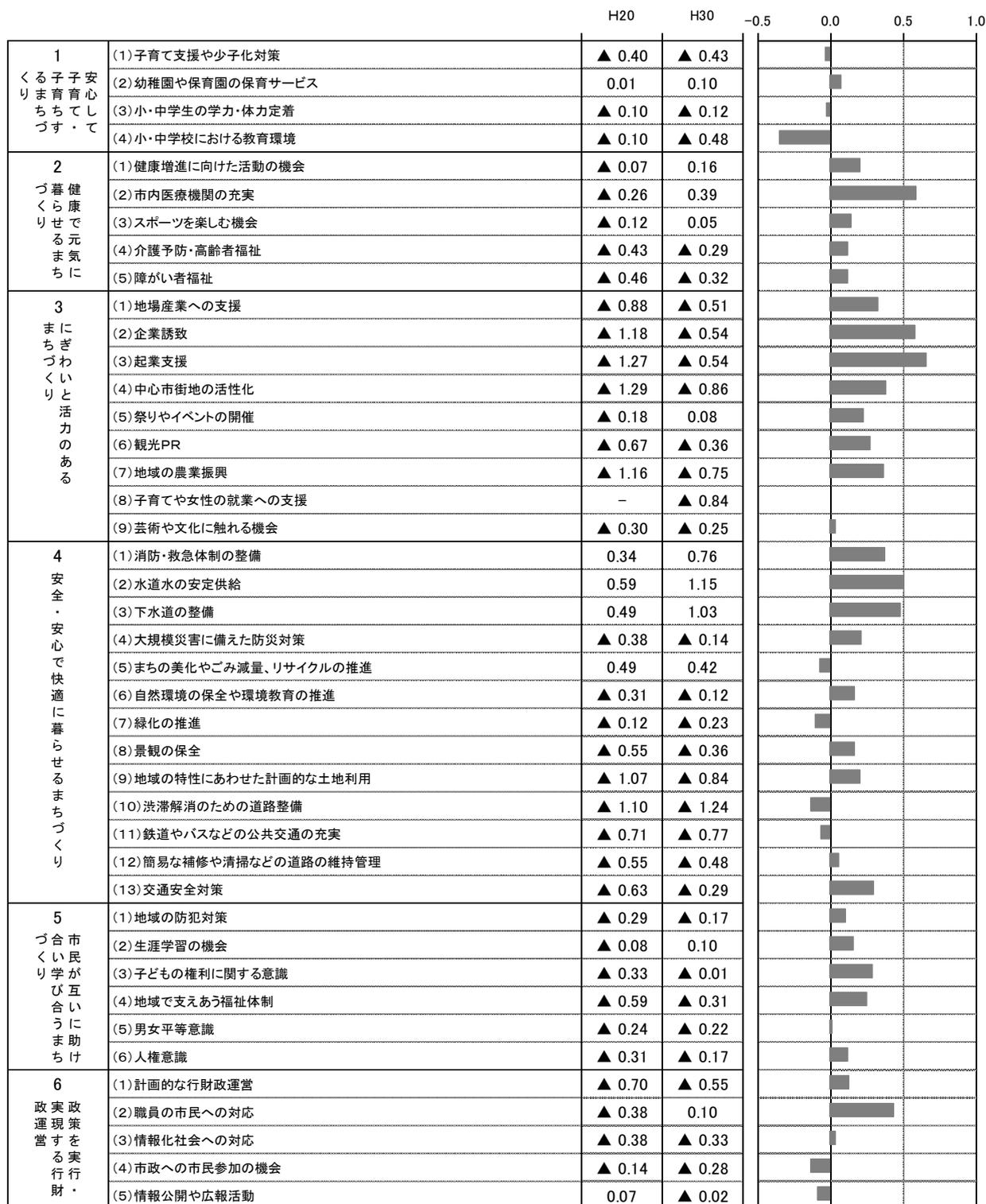
図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較①)



平成 20 年調査と比較すると、42 項目中 32 項目で満足度が改善している。特に「起業支援」「市内医療機関の充実」「企業誘致」では満足度が大きく改善し、それぞれ 0.73 ポイント、0.65 ポイント、0.64 ポイント増加している。

一方で 42 項目中 9 項目は満足度が悪化しており、特に「小・中学校における教育環境」では 0.38 ポイント減少している。

図 4-1-3 「市政への満足度」(過年度比較②)



※右のグラフは平成 20 年調査からの満足度の増減を示している。

年代別にみると、「16・17歳」は42項目中25項目で満足度がプラスの評価となっている。また、「16・17歳」は「最も評価の高い項目数」が18項目で最も多くなっているほか、「最も評価の低い項目数」も3項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「70歳以上」で「水道水の安定供給」が1.41ポイントとなっている。一方で、最も満足度の低い項目は、「18・19歳」で「子育てや女性のへの支援」が-1.63ポイントとなっている。

表 4-1-1 年代別「市政への満足度」

		全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 子育て安心 子育てし て つづ つづ	(1)子育て支援や少子化対策	▲ 0.43	▲ 0.54	▲ 1.14	▲ 0.56	▲ 0.50	▲ 0.79	▲ 0.34	▲ 0.49	0.13
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.10	0.70	0.00	▲ 0.36	▲ 0.24	▲ 0.16	0.23	0.08	0.70
	(3)小・中学生の学力・体力定着	▲ 0.12	▲ 0.07	0.44	▲ 0.18	▲ 0.15	▲ 0.39	▲ 0.05	▲ 0.33	0.23
	(4)小・中学校における教育環境	▲ 0.48	▲ 0.67	▲ 0.70	▲ 0.58	▲ 0.41	▲ 0.58	▲ 0.72	▲ 0.51	▲ 0.04
2 健康 暮らし を 元 氣 に ま ち	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.16	▲ 0.08	0.22	▲ 0.03	0.19	▲ 0.12	0.00	0.10	0.55
	(2)市内医療機関の充実	0.39	0.73	0.67	0.17	0.38	0.20	0.10	0.36	0.76
	(3)スポーツを楽しむ機会	0.05	0.21	▲ 0.26	0.04	▲ 0.02	0.11	▲ 0.14	▲ 0.06	0.40
	(4)介護予防・高齢者福祉	▲ 0.29	▲ 0.08	▲ 0.38	▲ 0.24	▲ 0.41	▲ 0.44	▲ 0.70	▲ 0.29	0.03
	(5)障がい者福祉	▲ 0.32	▲ 0.33	0.29	▲ 0.17	▲ 0.31	▲ 0.33	▲ 0.79	▲ 0.41	0.07
3 まち づく り と 活 力 の あ る	(1)地場産業への支援	▲ 0.51	▲ 0.75	▲ 0.50	▲ 0.18	▲ 0.24	▲ 0.68	▲ 0.68	▲ 0.77	▲ 0.22
	(2)企業誘致	▲ 0.54	▲ 0.90	▲ 0.14	▲ 0.46	▲ 0.21	▲ 0.71	▲ 0.60	▲ 0.58	▲ 0.50
	(3)起業支援	▲ 0.54	0.00	▲ 0.50	▲ 0.52	▲ 0.50	▲ 0.67	▲ 0.39	▲ 0.68	▲ 0.56
	(4)中心市街地の活性化	▲ 0.86	▲ 0.38	▲ 0.47	▲ 0.67	▲ 0.66	▲ 1.10	▲ 0.92	▲ 1.06	▲ 0.76
	(5)祭りやイベントの開催	0.08	0.56	0.62	0.25	0.27	0.00	0.05	▲ 0.28	0.20
	(6)観光PR	▲ 0.36	▲ 0.71	0.04	0.25	▲ 0.40	▲ 0.46	▲ 0.39	▲ 0.62	▲ 0.21
	(7)地域の農業振興	▲ 0.75	▲ 0.23	▲ 0.43	▲ 0.35	▲ 0.67	▲ 0.88	▲ 0.70	▲ 0.93	▲ 0.81
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲ 0.84	▲ 0.30	▲ 1.63	▲ 0.52	▲ 0.84	▲ 1.11	▲ 0.89	▲ 0.90	▲ 0.64
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.25	0.21	▲ 0.64	▲ 0.22	0.11	▲ 0.46	▲ 0.33	▲ 0.46	▲ 0.07
4 安全・安心 で 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ く り	(1)消防・救急体制の整備	0.76	1.07	1.00	0.77	0.73	0.78	0.58	0.66	0.98
	(2)水道水の安定供給	1.15	1.13	1.25	1.16	1.09	1.03	1.03	1.09	1.41
	(3)下水道の整備	1.03	1.50	0.61	0.98	0.91	1.00	0.93	1.04	1.20
	(4)大規模災害に備えた防災対策	▲ 0.14	▲ 0.25	0.06	0.13	▲ 0.18	▲ 0.25	▲ 0.24	▲ 0.33	0.09
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.42	▲ 0.10	0.95	0.27	0.27	0.36	0.34	0.36	0.66
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	▲ 0.12	0.00	0.68	0.24	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.34	▲ 0.38	0.01
	(7)緑化の推進	▲ 0.23	▲ 0.08	0.06	0.09	▲ 0.21	▲ 0.22	▲ 0.40	▲ 0.42	▲ 0.07
	(8)景観の保全	▲ 0.36	0.27	▲ 0.11	▲ 0.07	▲ 0.29	▲ 0.46	▲ 0.43	▲ 0.56	▲ 0.23
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.84	0.10	▲ 0.53	▲ 0.63	▲ 0.87	▲ 1.08	▲ 0.78	▲ 1.03	▲ 0.63
	(10)渋滞解消のための道路整備	▲ 1.24	▲ 0.15	▲ 1.00	▲ 1.02	▲ 1.19	▲ 1.41	▲ 1.28	▲ 1.45	▲ 1.06
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲ 0.77	0.00	▲ 0.79	▲ 0.63	▲ 0.67	▲ 0.90	▲ 0.98	▲ 0.99	▲ 0.48
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.48	0.08	0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.50	▲ 0.67	▲ 0.78	▲ 0.35
	(13)交通安全対策	▲ 0.29	0.71	0.43	0.05	▲ 0.45	▲ 0.49	▲ 0.52	▲ 0.43	▲ 0.12
5 市民 が 互 い に ま ち づ く り	(1)地域の防犯対策	▲ 0.17	0.25	0.00	▲ 0.04	▲ 0.20	▲ 0.29	▲ 0.29	▲ 0.35	0.09
	(2)生涯学習の機会	0.10	0.27	0.10	0.00	0.14	▲ 0.06	0.13	▲ 0.04	0.30
	(3)子どもの権利に関する意識	▲ 0.01	0.08	0.00	▲ 0.03	0.26	▲ 0.14	0.10	▲ 0.19	▲ 0.05
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.31	0.45	▲ 0.17	▲ 0.03	▲ 0.31	▲ 0.36	▲ 0.39	▲ 0.57	▲ 0.13
	(5)男女平等意識	▲ 0.22	0.15	0.42	0.00	▲ 0.44	▲ 0.49	▲ 0.25	▲ 0.38	0.00
	(6)人権意識	▲ 0.17	0.64	▲ 0.44	0.05	▲ 0.32	▲ 0.24	▲ 0.24	▲ 0.41	0.03
6 政 策 の 実 現 を 支 援 す る 財 政	(1)計画的な行政運営	▲ 0.55	▲ 0.25	▲ 0.80	▲ 0.14	▲ 0.84	▲ 0.85	▲ 0.51	▲ 0.74	▲ 0.20
	(2)職員の市民への対応	0.10	0.13	0.31	0.11	0.04	▲ 0.01	▲ 0.09	▲ 0.06	0.52
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.33	0.00	▲ 0.18	▲ 0.23	▲ 0.34	▲ 0.61	▲ 0.46	▲ 0.53	0.09
	(4)市政への市民参加の機会	▲ 0.28	0.00	▲ 0.63	▲ 0.21	▲ 0.25	▲ 0.45	▲ 0.32	▲ 0.31	▲ 0.15
	(5)情報公開や広報活動	▲ 0.02	0.20	0.14	0.33	0.06	▲ 0.20	▲ 0.14	▲ 0.14	0.12
			▲ 0.90	▲ 1.63	▲ 1.02	▲ 1.19	▲ 1.41	▲ 1.28	▲ 1.45	▲ 1.06

評価がプラスの項目(全42項目中)	11	25	22	18	12	7	10	7	22
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		10	12	10	27	35	33	40	2
最も評価の高い項目数(全42項目中)		18	7	7	1	0	0	0	11
最も評価の低い項目数(全42項目中)		3	7	1	0	10	8	14	0

▲ : マイナス
 ■ : 全体よりも評価の低いもの
 下線 : 各項目で最も評価の高いもの
 斜体 : 各項目で最も評価の低いもの

小学校区別にみると、「昭和」で42項目中20項目がプラス評価となっているほか、「最も評価の高い項目数」も15項目で、小学校区の中で最も多くなっている。一方で、「最も評価の低い項目数」は0項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「昭和」の「下水道の整備」で1.44ポイントとなっている。一方で最も満足度の低い項目は、「市之倉」の「渋滞解消のための道路整備」で-1.57ポイントとなっている。

次のページからは各小学校区の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

表 4-1-2 小学校区別「市政への満足度」

		全体	美正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南郷	根本	北栄	國之島	笠原
1 子育て安心 子育て 子育て	(1)子育て支援や少子化対策	▲ 0.43	0.04	▲ 0.47	▲ 0.48	▲ 0.68	▲ 0.39	▲ 0.41	▲ 0.65	▲ 0.75	▲ 0.46	▲ 0.63	▲ 0.55	▲ 0.54	▲ 0.07
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.10	0.33	▲ 0.15	▲ 0.33	0.35	0.06	▲ 0.13	0.19	0.27	0.75	▲ 0.14	0.24	▲ 0.11	0.46
	(3)小・中学生の学力・体力定着	▲ 0.12	0.13	0.00	▲ 0.11	0.08	▲ 0.04	▲ 0.44	▲ 0.35	▲ 0.63	0.38	▲ 0.34	▲ 0.14	0.00	▲ 0.38
	(4)小・中学校における教育環境	▲ 0.48	▲ 0.26	▲ 0.59	▲ 0.82	▲ 0.29	▲ 0.59	▲ 0.53	▲ 0.65	▲ 0.37	▲ 0.27	▲ 0.57	▲ 0.29	▲ 0.48	▲ 0.72
2 健康 健康 健康	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.16	0.51	▲ 0.03	▲ 0.30	0.11	0.22	0.33	0.00	▲ 0.19	0.00	▲ 0.12	0.17	0.51	0.07
	(2)市内医療機関の充実	0.39	0.60	0.45	0.16	0.62	0.48	0.23	0.54	0.18	0.18	▲ 0.05	0.34	0.42	0.00
	(3)スポーツを楽しむ機会	0.05	0.30	▲ 0.10	▲ 0.20	0.30	0.02	0.07	0.05	▲ 0.11	0.00	▲ 0.50	▲ 0.09	0.55	0.06
	(4)介護予防・高齢者福祉	▲ 0.29	0.07	▲ 0.41	▲ 0.35	▲ 0.19	▲ 0.31	▲ 0.47	▲ 0.71	▲ 0.52	▲ 0.25	▲ 0.72	▲ 0.43	0.00	▲ 0.46
	(5)障がい者福祉	▲ 0.32	0.08	▲ 0.55	▲ 0.35	▲ 0.04	▲ 0.03	▲ 0.67	▲ 0.87	▲ 0.56	▲ 0.30	▲ 0.80	▲ 0.47	0.09	▲ 0.64
3 まちづくり まちづくり まちづくり	(1)地場産業への支援	▲ 0.51	▲ 0.58	▲ 0.47	▲ 0.43	▲ 0.48	▲ 0.62	▲ 0.35	▲ 1.00	▲ 1.00	▲ 0.54	▲ 0.52	▲ 0.18	▲ 0.20	▲ 1.09
	(2)企業誘致	▲ 0.54	▲ 0.55	▲ 0.60	▲ 0.04	▲ 0.36	▲ 0.61	▲ 0.23	▲ 0.47	▲ 1.12	▲ 0.81	▲ 0.60	▲ 0.39	▲ 0.65	▲ 1.00
	(3)起業支援	▲ 0.54	▲ 0.40	▲ 0.42	▲ 0.44	▲ 0.58	▲ 0.69	▲ 0.45	▲ 1.10	▲ 1.00	▲ 0.92	▲ 0.44	▲ 0.52	▲ 0.55	▲ 1.00
	(4)中心市街地の活性化	▲ 0.86	▲ 0.87	▲ 0.90	▲ 0.84	▲ 0.98	▲ 0.75	▲ 0.63	▲ 1.14	▲ 0.85	▲ 1.00	▲ 0.68	▲ 0.81	▲ 1.12	▲ 1.22
	(5)祭りやイベントの開催	0.08	0.13	0.01	▲ 0.37	▲ 0.09	0.27	0.08	0.10	0.05	▲ 0.29	0.23	0.03	0.39	0.05
	(6)観光PR	▲ 0.36	▲ 0.28	▲ 0.29	▲ 0.66	▲ 0.23	▲ 0.27	▲ 0.39	▲ 0.61	▲ 0.50	▲ 0.33	▲ 0.39	▲ 0.33	▲ 0.47	▲ 0.72
	(7)地域の農業振興	▲ 0.75	▲ 0.86	▲ 0.79	▲ 0.60	▲ 0.72	▲ 0.74	▲ 0.27	▲ 1.43	▲ 0.60	▲ 0.85	▲ 0.38	▲ 0.77	▲ 1.00	▲ 0.87
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲ 0.84	▲ 0.71	▲ 0.82	▲ 0.86	▲ 0.78	▲ 0.96	▲ 0.74	▲ 1.38	▲ 1.13	▲ 1.29	▲ 0.70	▲ 1.06	▲ 0.41	▲ 0.92
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.25	▲ 0.12	▲ 0.28	0.00	▲ 0.39	▲ 0.23	▲ 0.14	▲ 0.28	▲ 0.35	▲ 0.89	▲ 0.36	▲ 0.35	0.16	▲ 0.45
4 安全・安心 安全・安心 安全・安心	(1)消防・救急体制の整備	0.76	0.96	0.52	0.60	1.05	0.82	0.85	0.66	0.76	0.59	0.47	0.75	0.74	0.80
	(2)水道水の安定供給	1.15	1.24	1.12	1.23	1.39	1.15	1.11	1.17	1.27	0.96	0.95	1.01	1.09	1.14
	(3)下水道の整備	1.03	1.07	1.04	1.35	1.44	1.11	0.98	0.97	1.19	▲ 0.16	0.72	1.08	1.14	0.52
	(4)大規模災害に備えた防災対策	▲ 0.14	▲ 0.06	▲ 0.30	0.13	0.06	0.00	0.03	▲ 0.25	▲ 0.34	▲ 0.68	▲ 0.44	▲ 0.14	0.00	▲ 0.27
	(5)まちなみやごみ減量、リサイクルの推進	0.42	0.51	0.38	0.40	0.71	0.32	0.55	0.23	0.50	0.57	0.00	0.36	0.52	0.35
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	▲ 0.12	▲ 0.02	▲ 0.45	▲ 0.15	0.21	▲ 0.18	▲ 0.03	▲ 0.40	0.00	▲ 0.47	▲ 0.22	▲ 0.06	▲ 0.10	▲ 0.06
	(7)緑化の推進	▲ 0.23	▲ 0.14	▲ 0.53	▲ 0.10	0.07	▲ 0.27	0.09	▲ 0.21	▲ 0.21	▲ 0.53	▲ 0.40	▲ 0.41	▲ 0.17	▲ 0.18
	(8)景観の保全	▲ 0.36	▲ 0.28	▲ 0.51	▲ 0.33	▲ 0.03	▲ 0.40	▲ 0.31	▲ 0.30	▲ 0.47	▲ 0.50	▲ 0.48	▲ 0.58	▲ 0.26	▲ 0.22
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.84	▲ 0.74	▲ 0.91	▲ 1.04	▲ 0.64	▲ 0.97	▲ 1.04	▲ 1.22	▲ 0.86	▲ 0.78	▲ 0.86	▲ 0.60	▲ 0.71	▲ 0.85
	(10)渋滞解消のための道路整備	▲ 1.24	▲ 1.10	▲ 1.37	▲ 1.20	▲ 1.14	▲ 1.26	▲ 1.45	▲ 1.57	▲ 1.35	▲ 0.78	▲ 1.27	▲ 1.18	▲ 1.32	▲ 1.24
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲ 0.77	▲ 0.39	▲ 0.55	1.22	▲ 0.32	▲ 1.00	▲ 1.04	▲ 1.47	▲ 1.10	▲ 1.16	▲ 1.08	▲ 0.62	▲ 0.92	▲ 1.14
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.48	▲ 0.40	▲ 0.58	▲ 0.59	▲ 0.36	▲ 0.38	▲ 0.61	▲ 0.44	▲ 0.36	▲ 0.50	▲ 0.65	▲ 0.44	▲ 0.27	▲ 0.84
	(13)交通安全対策	▲ 0.29	▲ 0.26	▲ 0.43	▲ 0.42	▲ 0.20	▲ 0.15	▲ 0.41	▲ 0.54	▲ 0.36	0.04	▲ 0.44	▲ 0.26	▲ 0.09	▲ 0.25
5 市民 市民 市民	(1)地域の防犯対策	▲ 0.17	▲ 0.08	▲ 0.43	▲ 0.48	0.14	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.68	▲ 0.26	▲ 0.29	▲ 0.11	▲ 0.27	0.03	▲ 0.14
	(2)生涯学習の機会	0.10	0.31	▲ 0.12	0.05	0.18	▲ 0.10	0.10	0.20	0.10	▲ 0.43	▲ 0.04	0.15	0.15	0.47
	(3)子どもの権利に関する意識	▲ 0.01	▲ 0.04	▲ 0.11	0.29	▲ 0.09	▲ 0.05	0.30	▲ 0.13	▲ 0.13	▲ 0.75	▲ 0.16	0.19	0.35	0.55
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.31	▲ 0.21	▲ 0.59	▲ 0.05	0.03	▲ 0.41	▲ 0.23	▲ 0.37	▲ 0.56	▲ 0.81	▲ 0.47	▲ 0.24	▲ 0.30	▲ 0.08
	(5)男女平等意識	▲ 0.22	▲ 0.17	▲ 0.19	▲ 0.47	0.05	▲ 0.26	▲ 0.35	▲ 0.33	▲ 0.33	▲ 0.50	▲ 0.39	▲ 0.15	▲ 0.20	▲ 0.21
	(6)人権意識	▲ 0.17	▲ 0.21	▲ 0.21	▲ 0.24	0.17	▲ 0.18	▲ 0.22	▲ 0.56	▲ 0.23	▲ 0.85	▲ 0.24	▲ 0.08	0.00	▲ 0.31
6 政策 政策 政策	(1)計画的な行政運営	▲ 0.55	▲ 0.36	▲ 0.74	▲ 0.70	▲ 0.37	▲ 0.57	▲ 0.27	▲ 1.00	▲ 0.88	▲ 0.86	▲ 0.44	▲ 0.38	▲ 0.54	▲ 0.92
	(2)職員の市民への対応	0.10	0.18	0.13	0.18	0.33	0.10	0.03	0.39	0.22	▲ 0.11	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 0.03	▲ 0.42
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.33	▲ 0.13	▲ 0.46	▲ 0.47	▲ 0.02	▲ 0.20	▲ 0.38	▲ 0.50	▲ 0.97	0.00	▲ 0.53	▲ 0.25	▲ 0.33	▲ 0.71
	(4)市政への市民参加の機会	▲ 0.28	▲ 0.17	▲ 0.46	▲ 0.29	0.02	▲ 0.20	▲ 0.17	▲ 0.52	▲ 0.42	▲ 0.80	▲ 0.43	▲ 0.36	▲ 0.04	▲ 0.08
	(5)情報公開や広報活動	▲ 0.02	0.07	▲ 0.11	0.09	0.25	▲ 0.05	▲ 0.37	0.13	▲ 0.25	0.13	▲ 0.21	▲ 0.08	0.00	0.07

評価がプラスの項目(全42項目中)	11	16	8	11	20	11	13	12	10	11	5	10	18	12
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		6	33	26	8	21	19	31	28	30	35	18	13	27
最も評価の高い項目数(全42項目中)		4	0	2	15	0	4	1	0	6	0	2	7	2
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	0	4	0	0	1	10	4	12	5	1	0	5

▲ : マイナス
■ : 全体よりも評価の低いもの
下線 : 各項目で最も評価の高いもの
斜体 : 各項目で最も評価の低いもの

図 4-1-4 「市政への満足度」(養正小学校区)

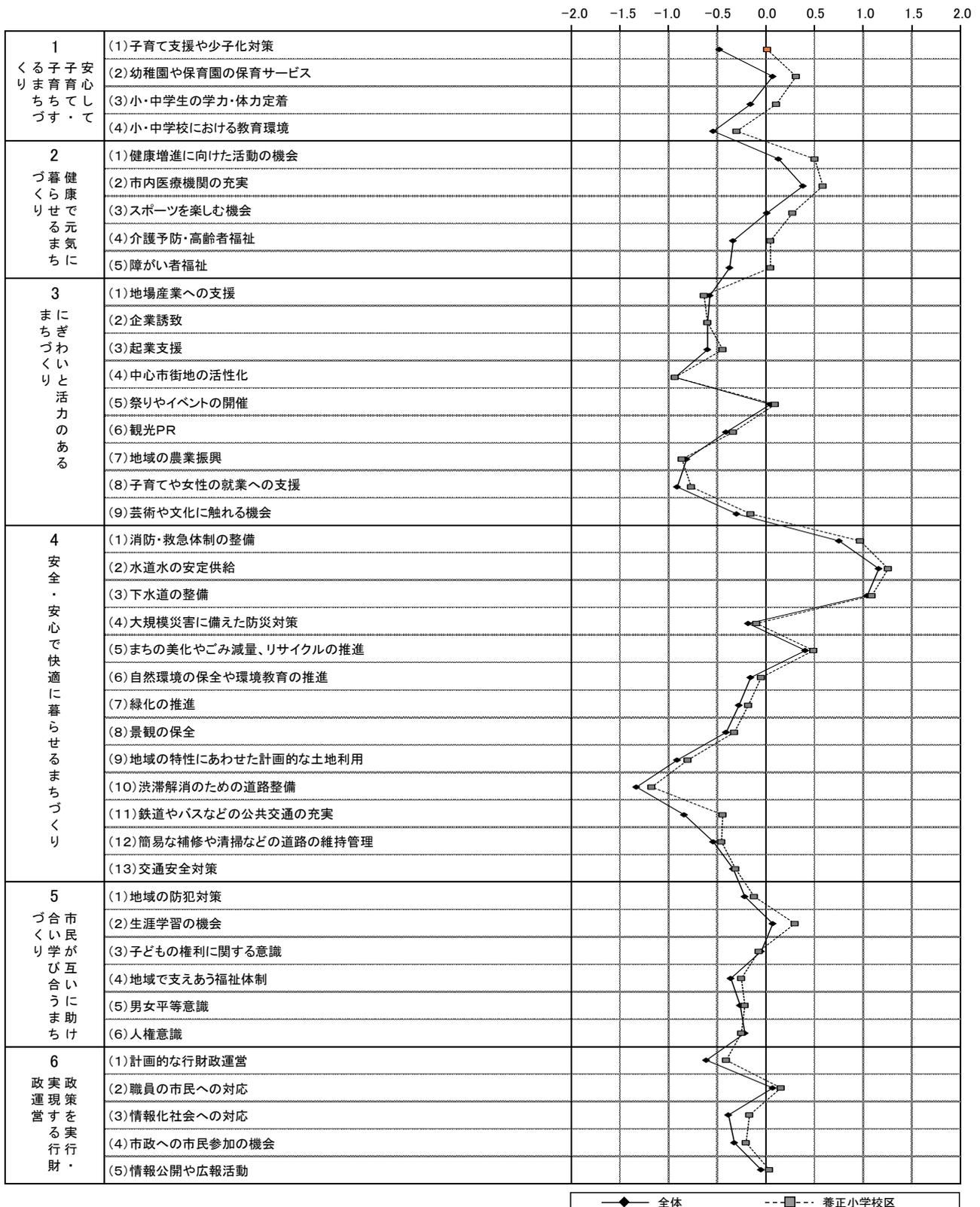


図 4-1-5 「市政への満足度」(精華小学校区)

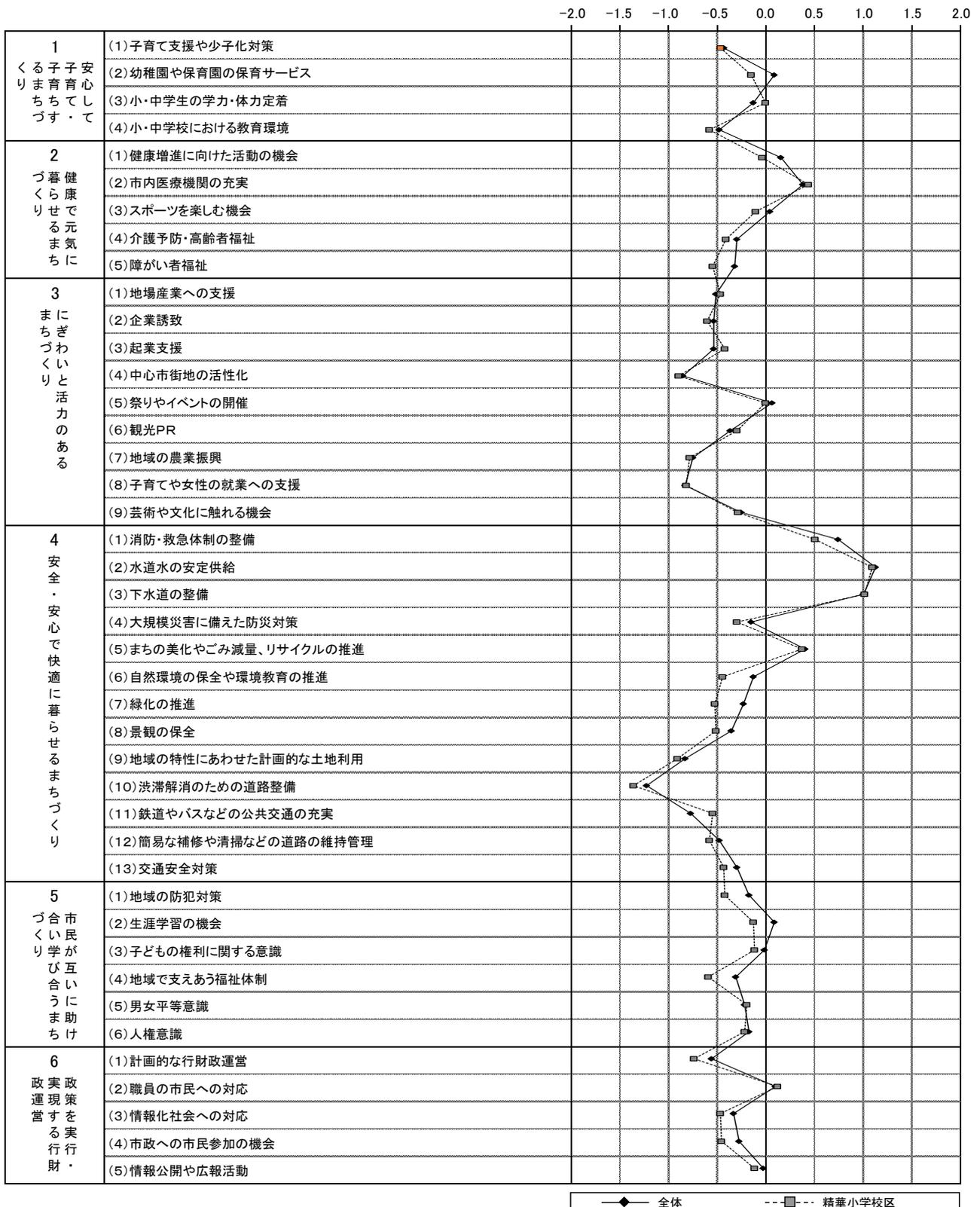


図 4-1-6 「市政への満足度」(共栄小学校区)

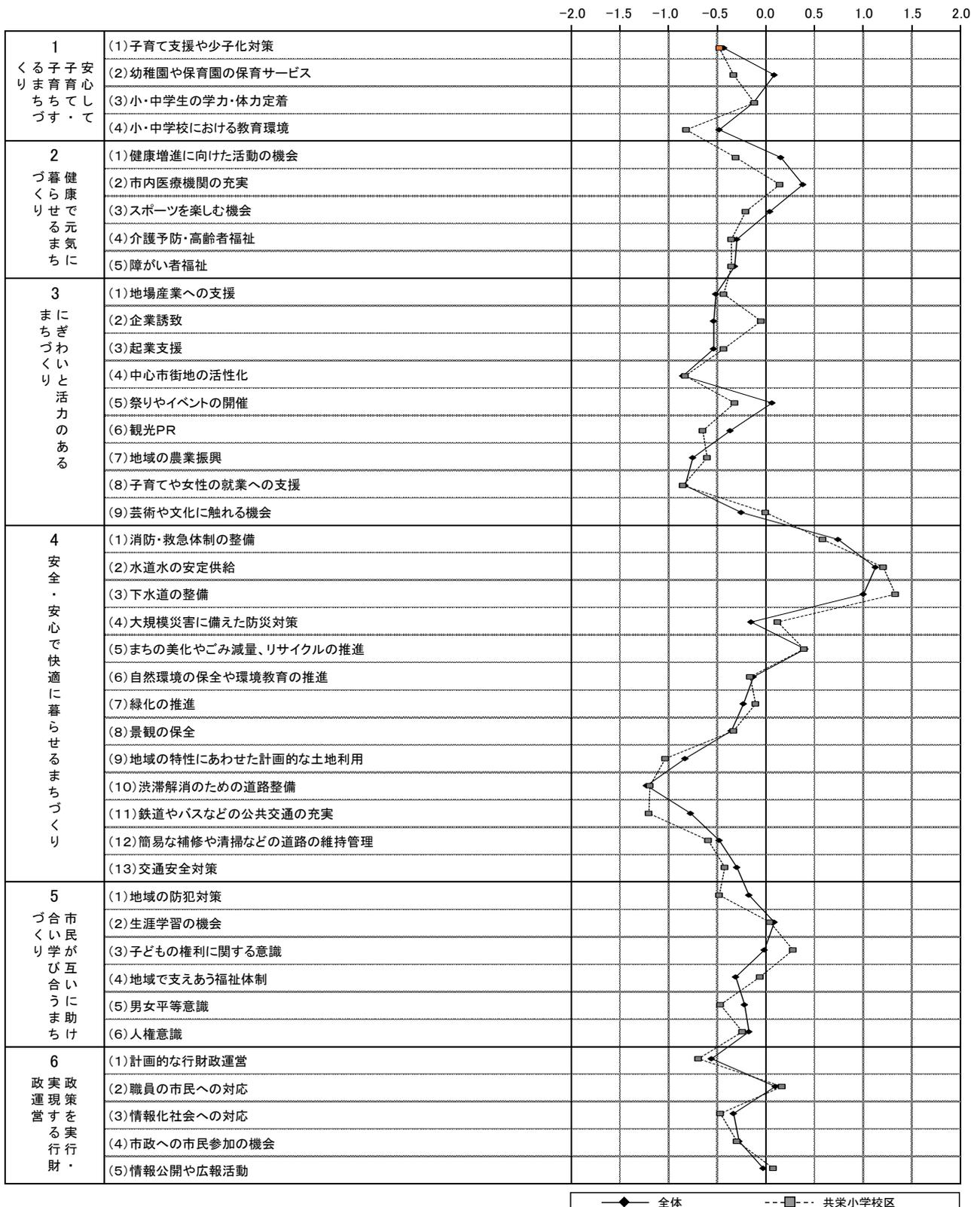


図 4-1-7 「市政への満足度」(昭和小学校区)

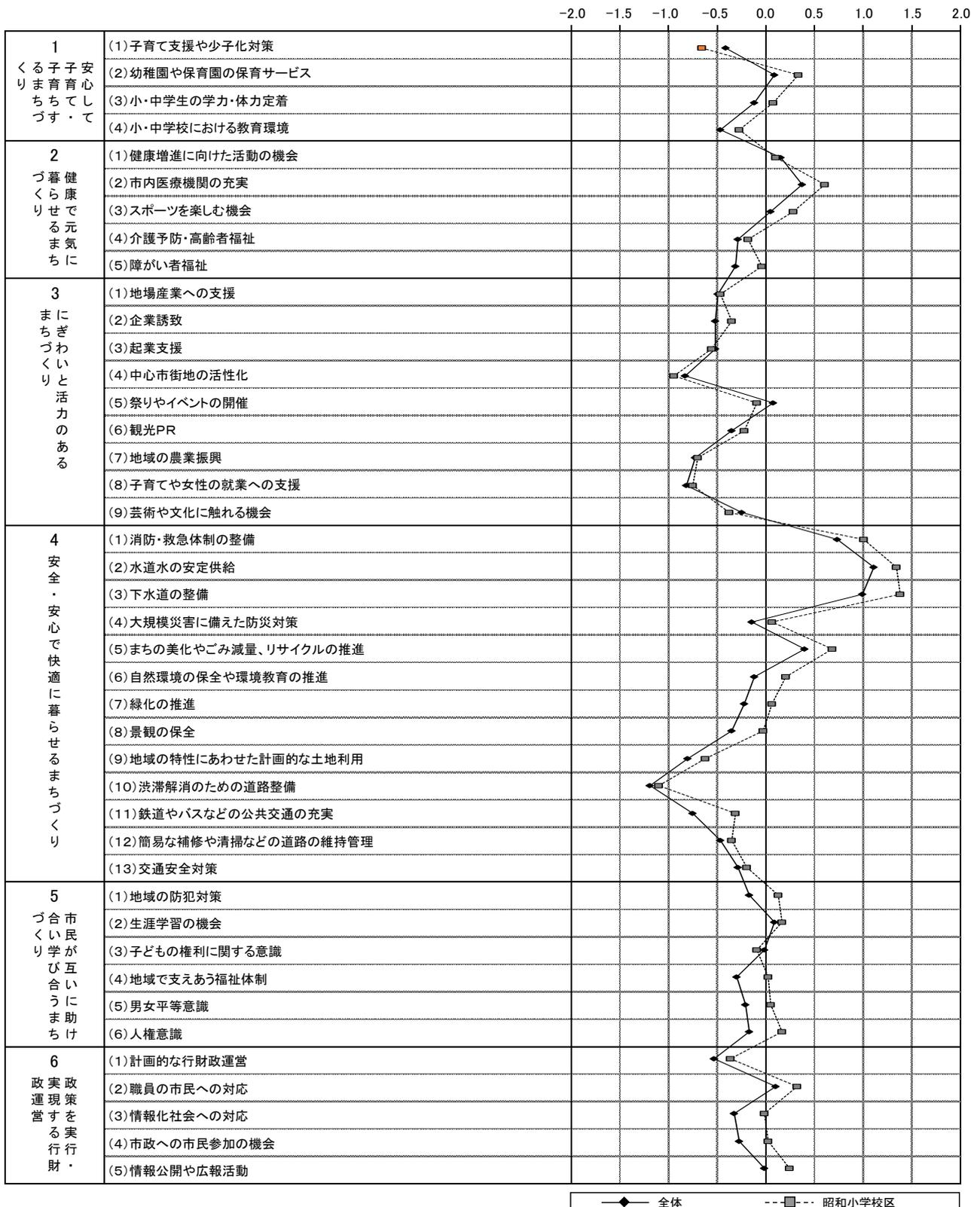


図 4-1-8 「市政への満足度」(小泉小学校区)

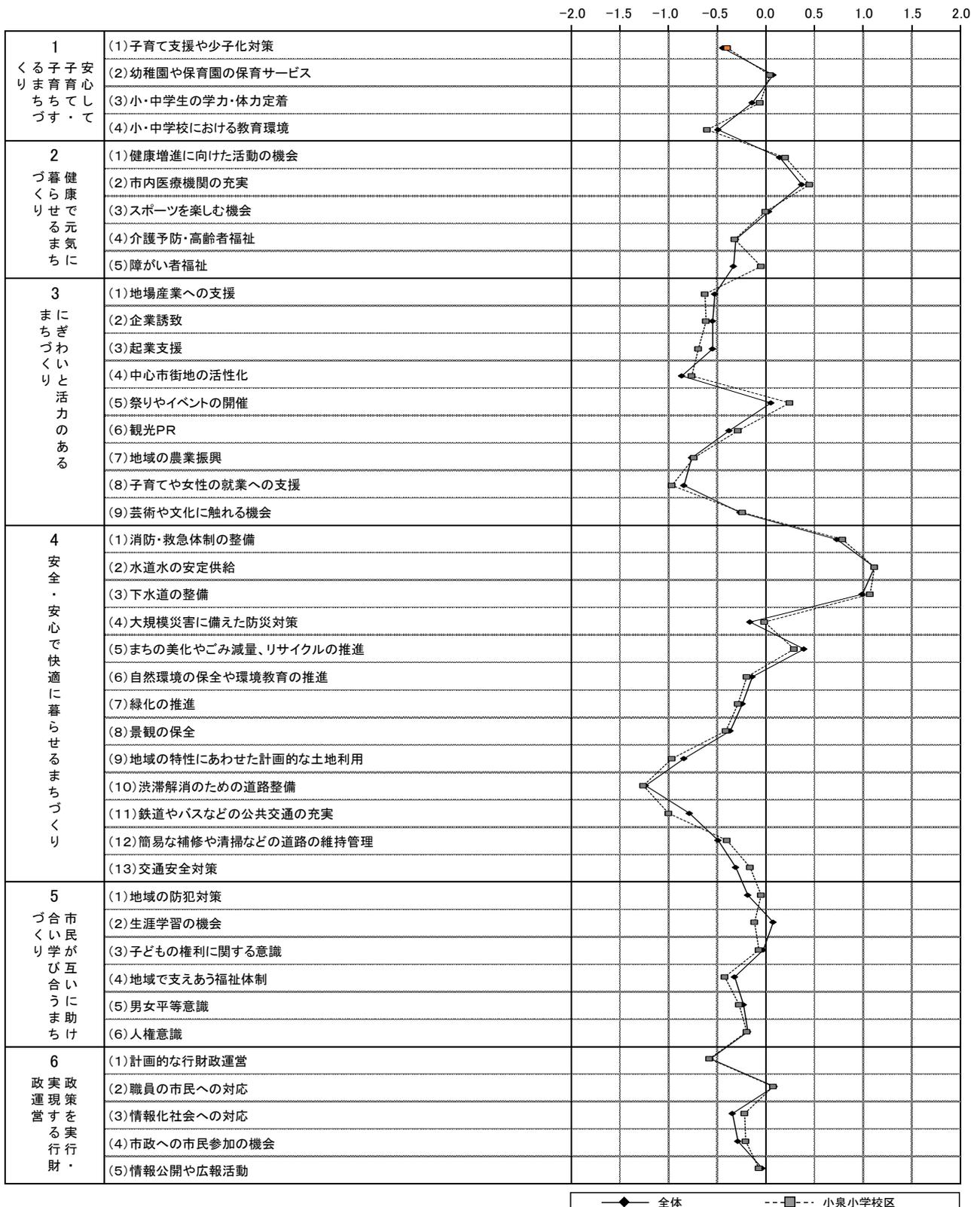


図 4-1-9 「市政への満足度」(池田小学校区)

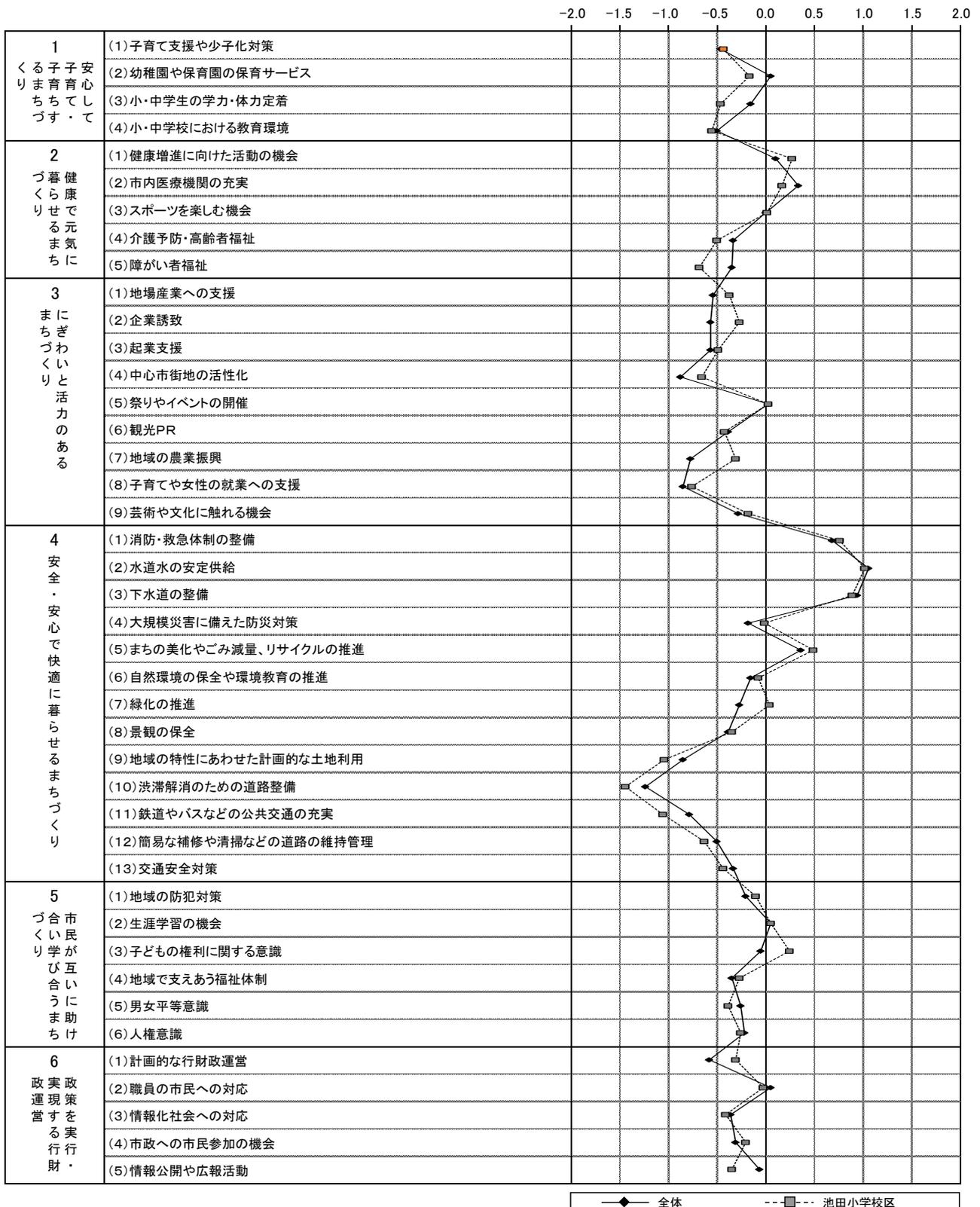
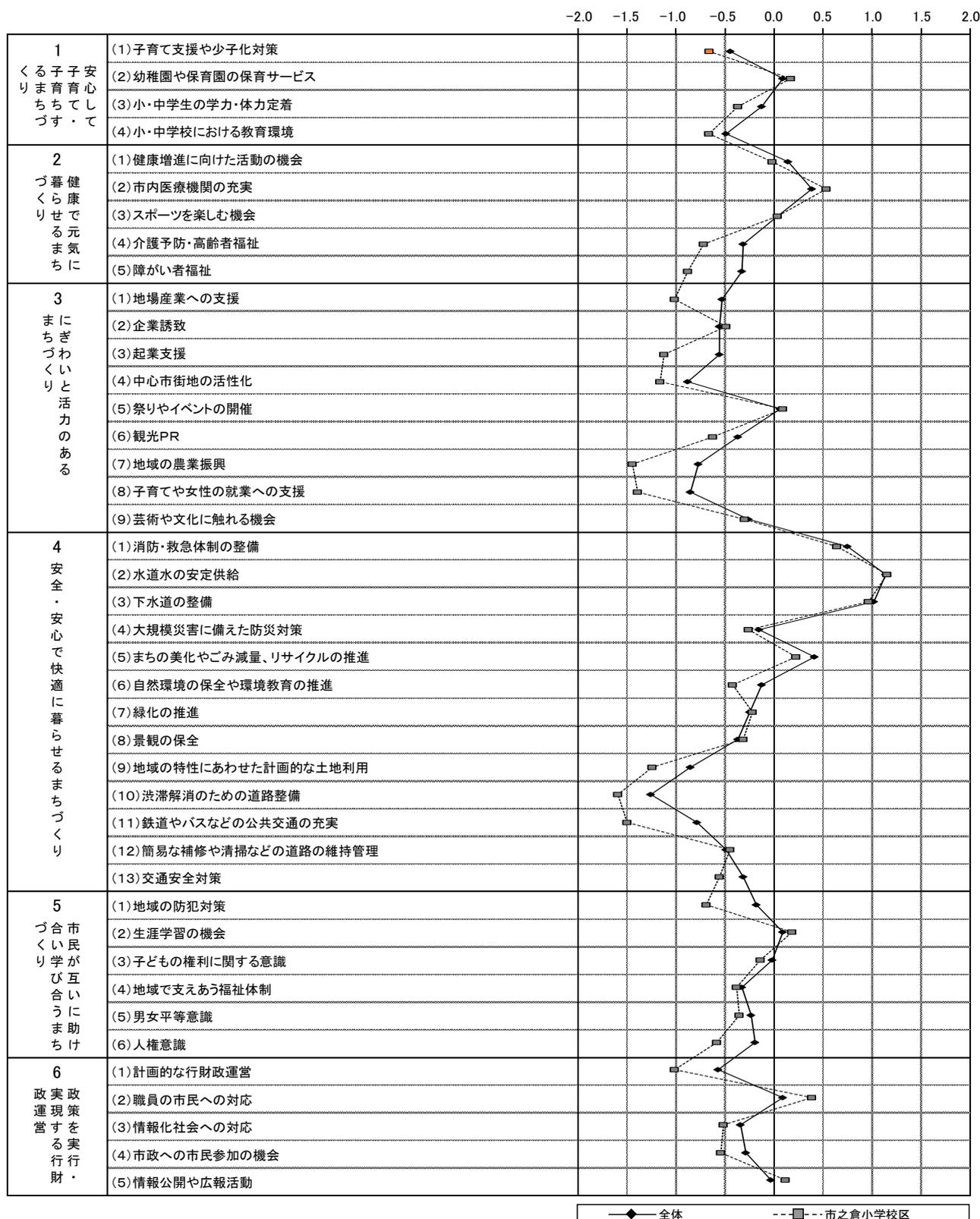


図 4-1-10 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



—◆— 全体 - - ■ - - 市之倉小学校区

図 4-1-11 「市政への満足度」(滝呂小学校区)

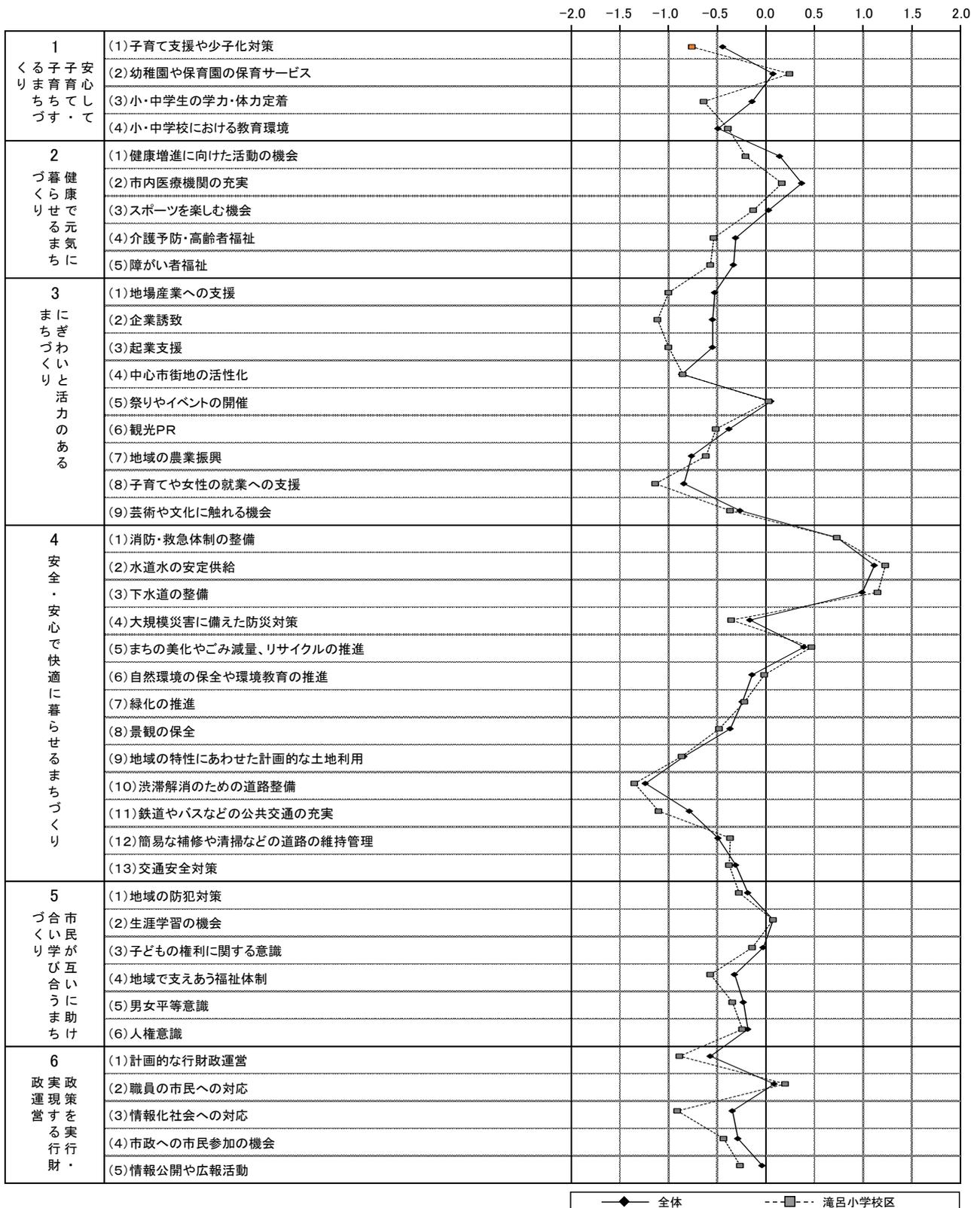


図 4-1-12 「市政への満足度」(南姫小学校区)

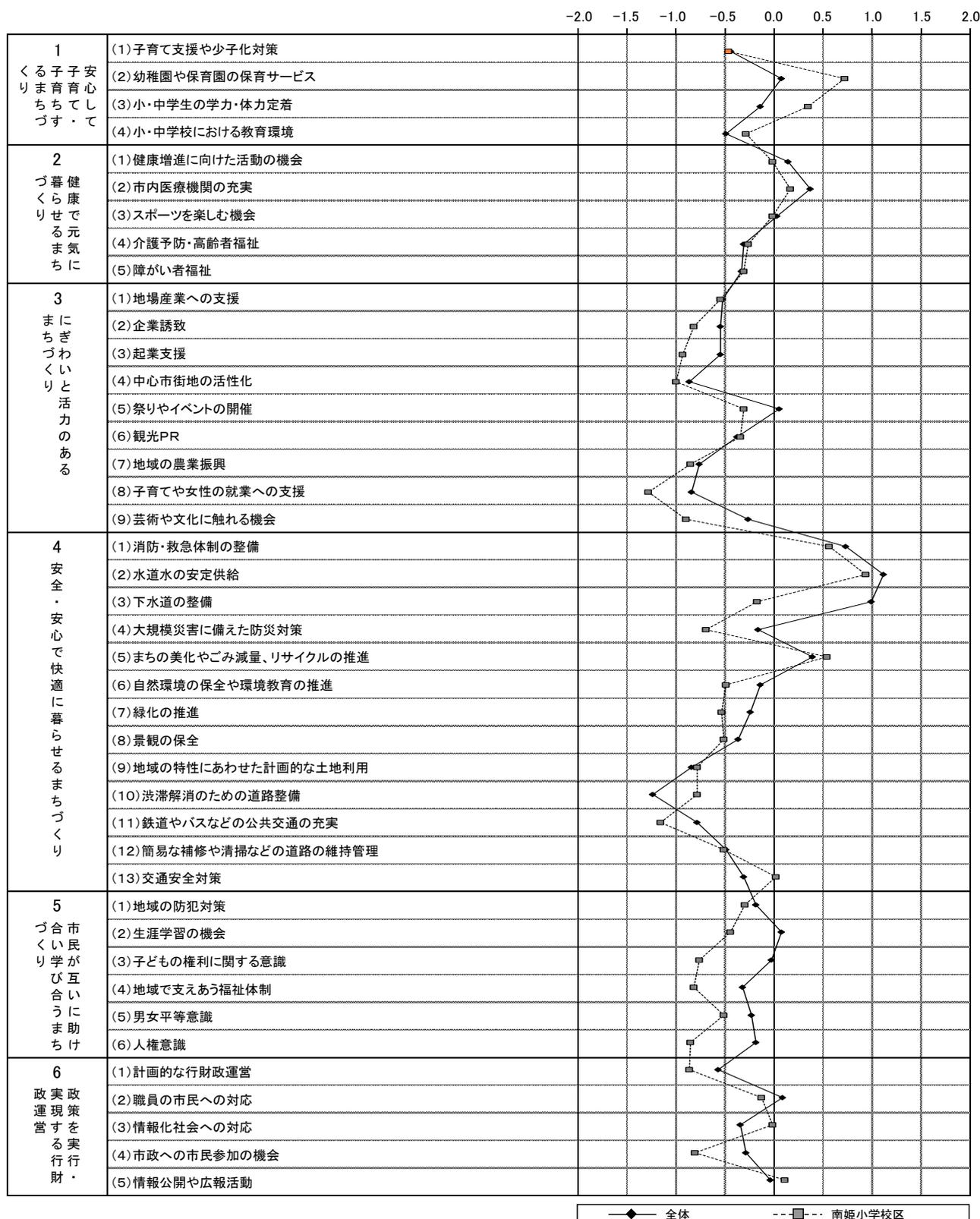


図 4-1-13 「市政への満足度」(根本小学校区)

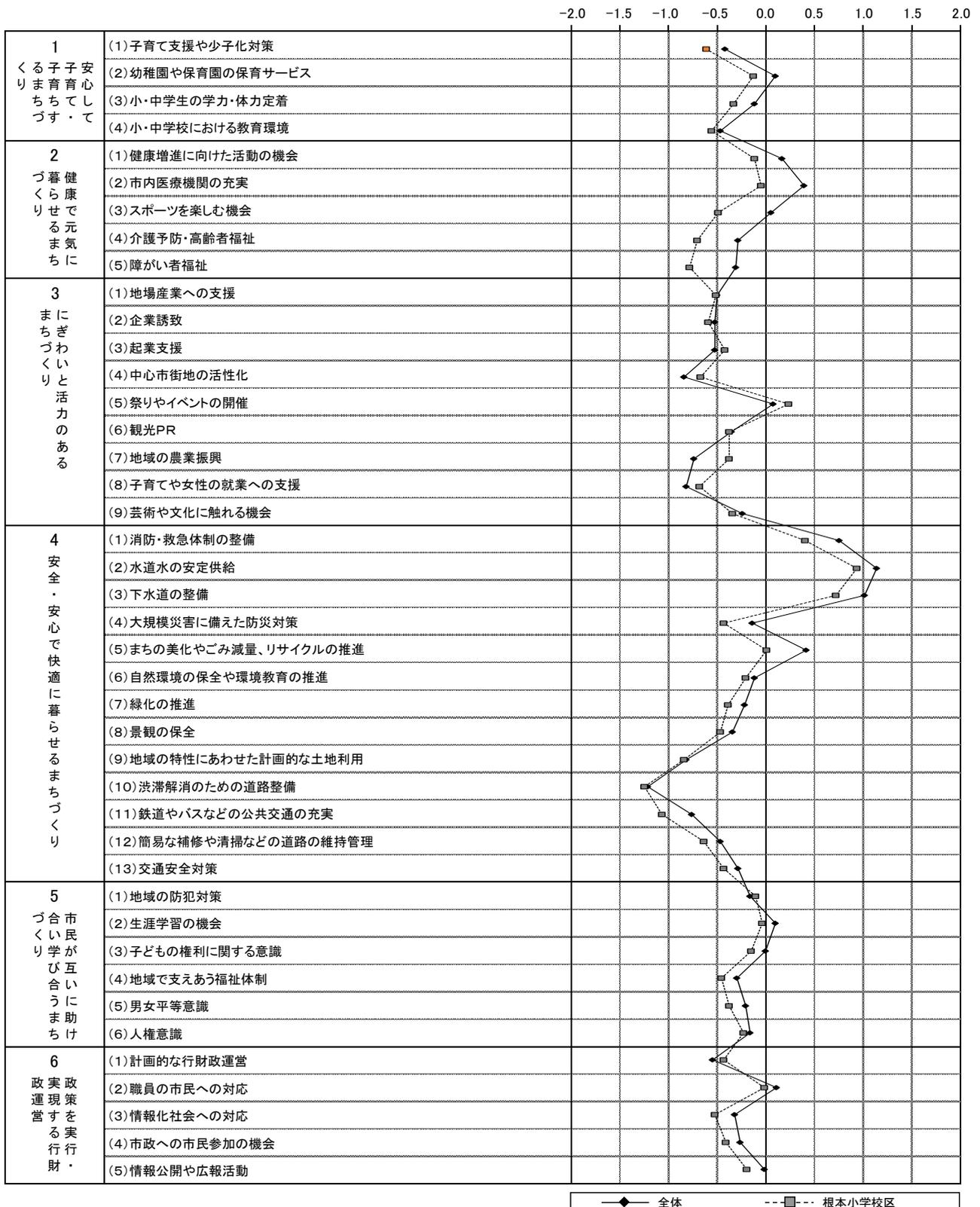


図 4-1-14 「市政への満足度」(北栄小学校区)

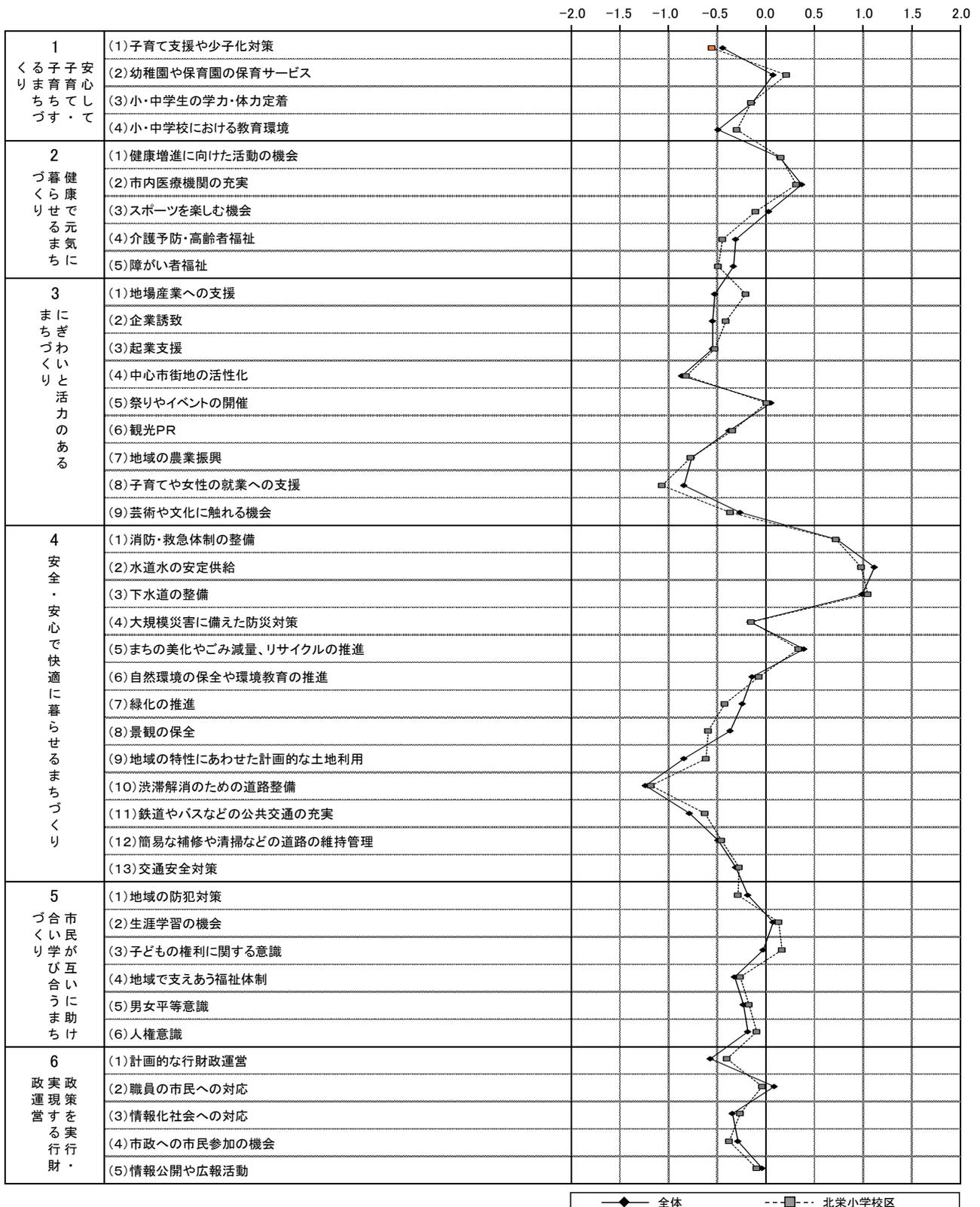
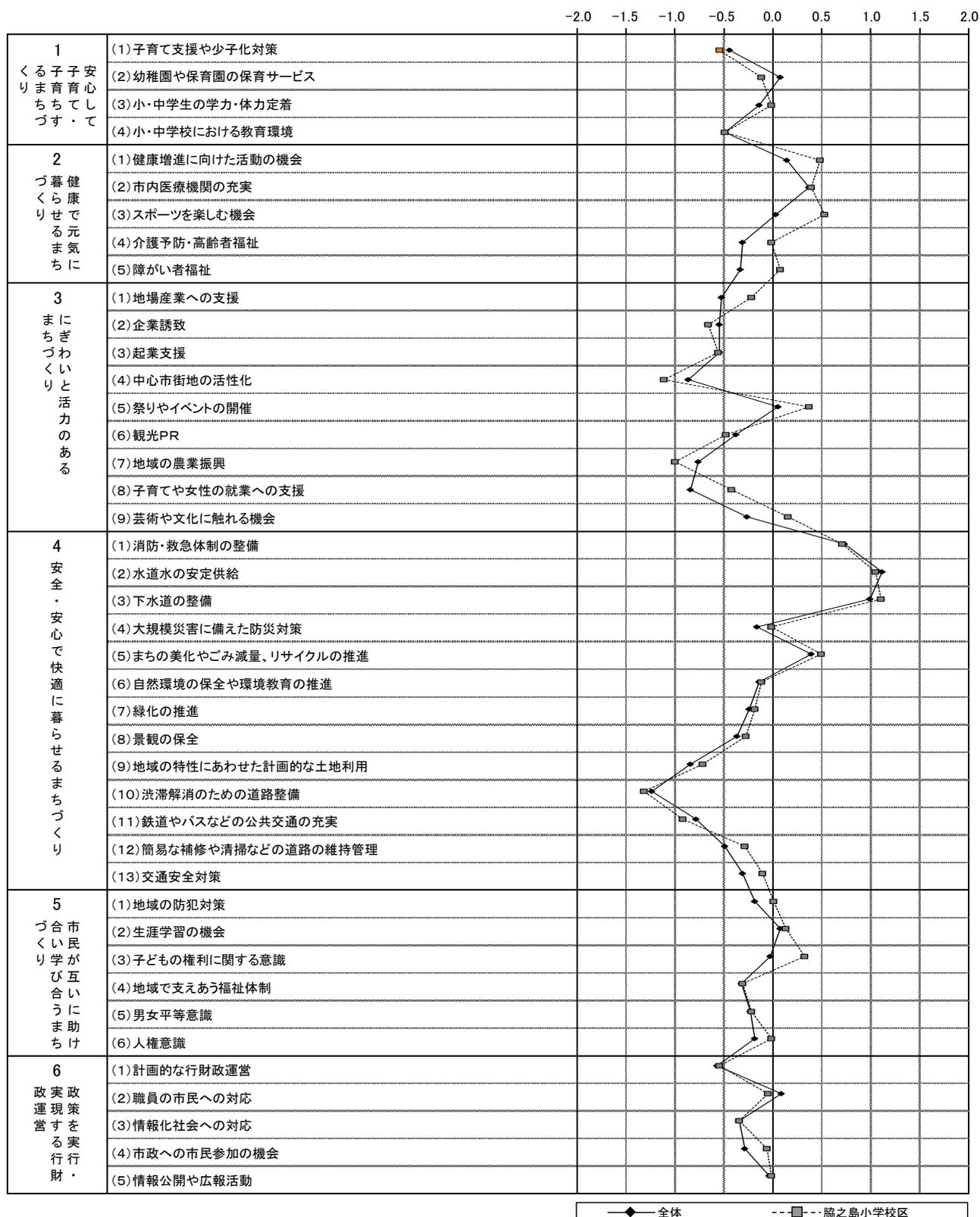
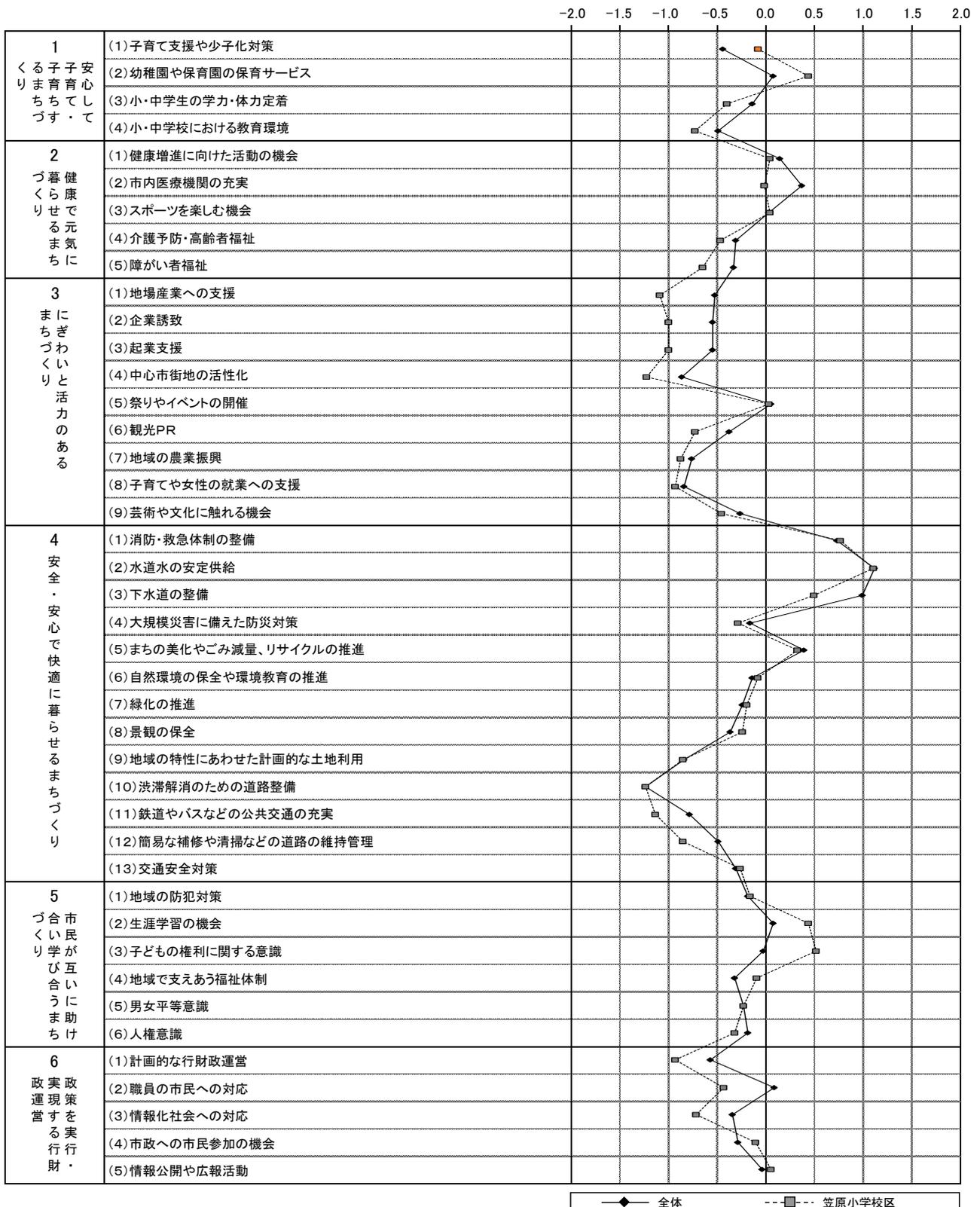


図 4-1-15 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



—●— 全体 - - ■ - - 脇之島小学校区

図 4-1-16 「市政への満足度」(笠原小学校区)

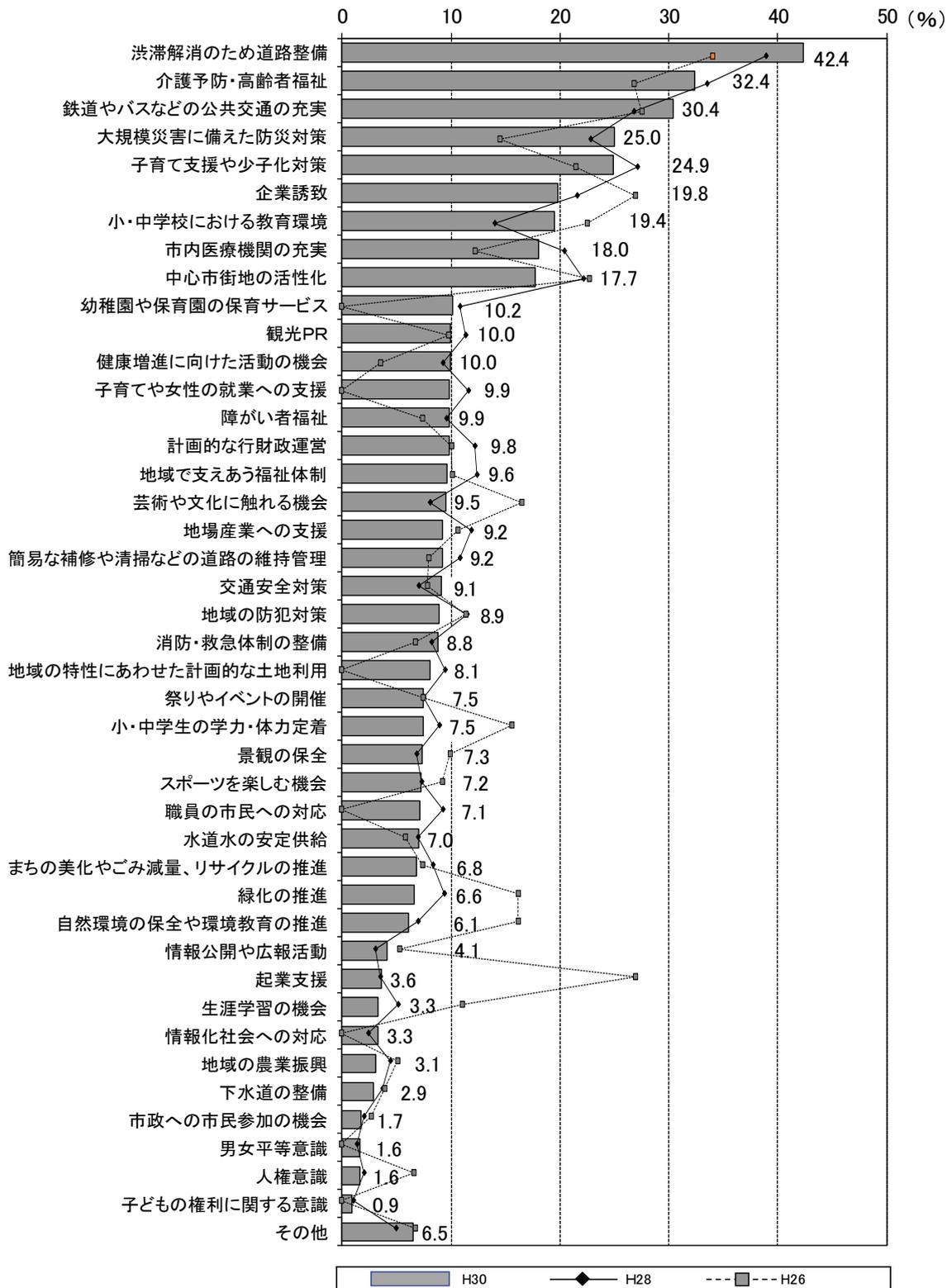


4-2 市の重点施策

「渋滞解消のための道路整備」が42.4%で最も高くなっており、ついで「介護予防・高齢者福祉」が32.4%、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が30.4%となっている。

一方で「市政への市民参加の機会」「男女平等意識」「人権意識」「子どもの権利に関する意識」は低くなっており、いずれも2%未満となっている。

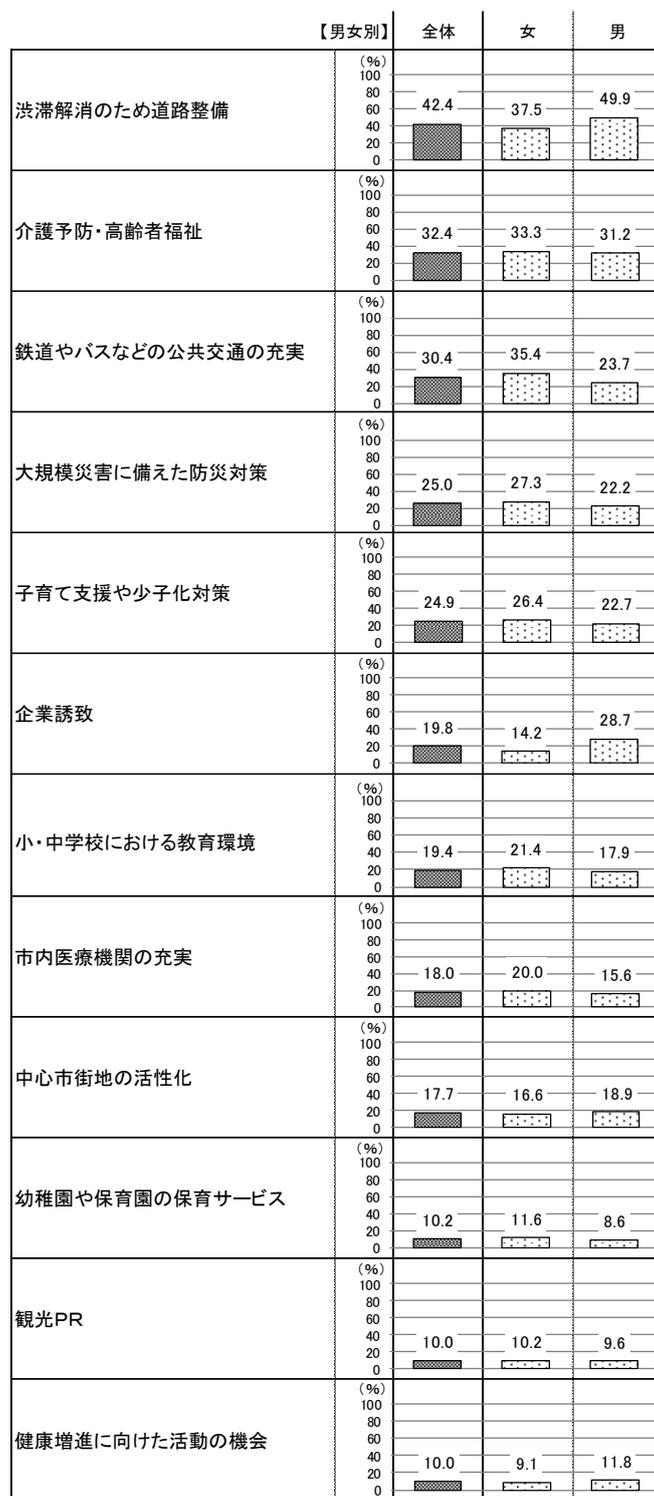
図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



性別にみると、「渋滞解消のための道路整備」が男性・女性ともに最も高くなっているが、男性の方が女性よりも 10 ポイント以上高くなっている。同様に「企業誘致」でも、男性の方が女性よりも 10 ポイント以上高くなっている。

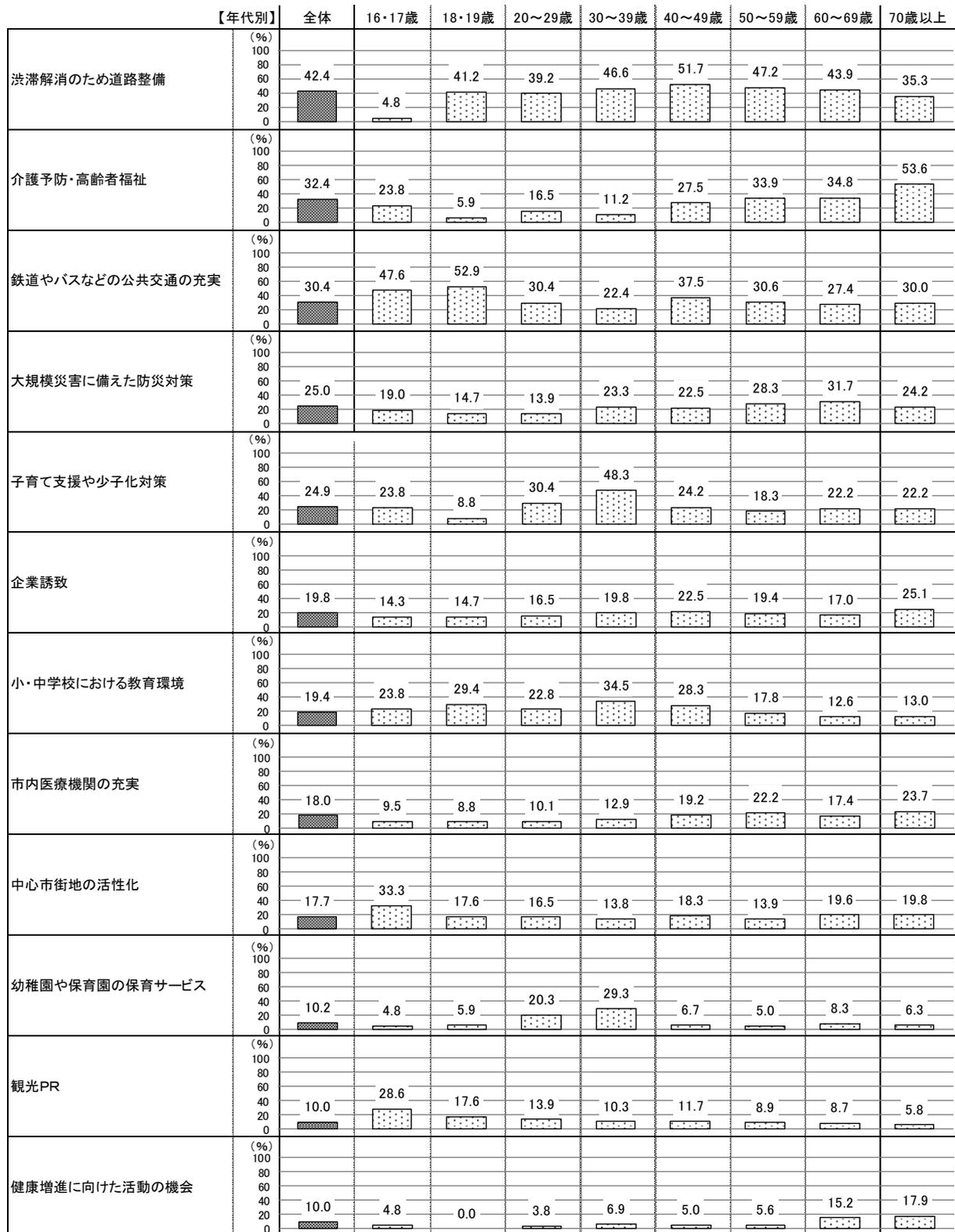
一方で女性では、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が高くなっており、男性とは 10 ポイント以上の差がみられる。

図 4-2-2 性別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



年代別にみると、「16・17歳」「18・19歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」、「20～29歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では「渋滞解消のための道路整備」、「30～39歳」では「子育て支援や少子化対策」、「70歳以上」では「介護予防・高齢者福祉」が最も高くなっている。

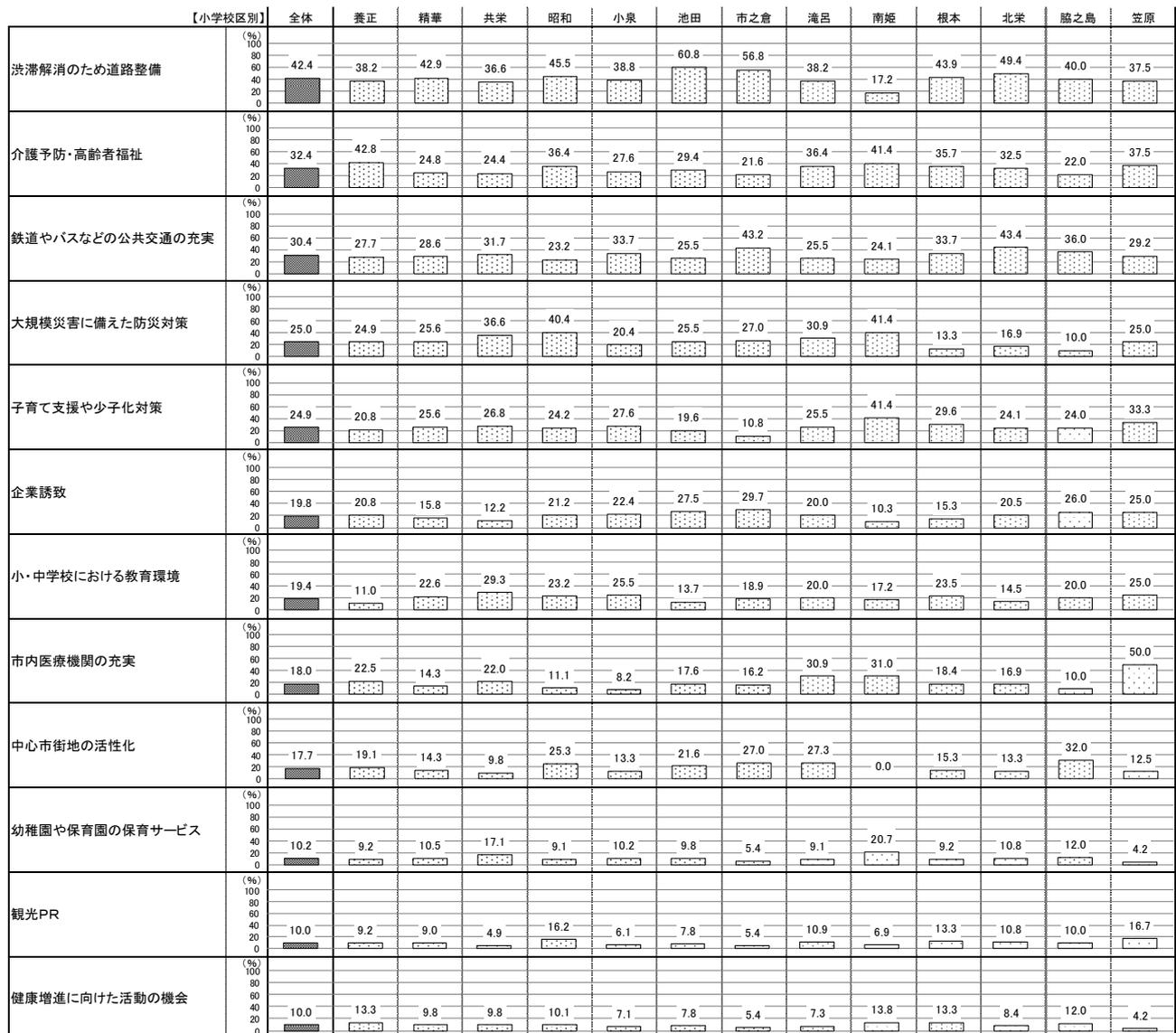
図 4-2-3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「池田」「市之倉」「滝呂」「根本」「北栄」「脇之島」では、「渋滞解消のための道路整備」、「養正」「南姫」では、「介護予防・高齢者福祉」、「共栄」「南姫」では、「大規模災害に備えた防災対策」、「南姫」では、「子育て支援や少子化対策」、「笠原」では、「市内医療機関の充実」が最も高くなっている。

「渋滞解消のための道路整備」は特に「池田」「市之倉」で高くなっており、5割を超えている。また、「市内医療機関の充実」は「笠原」で50.0%と他の小学校区よりも高くなっている。

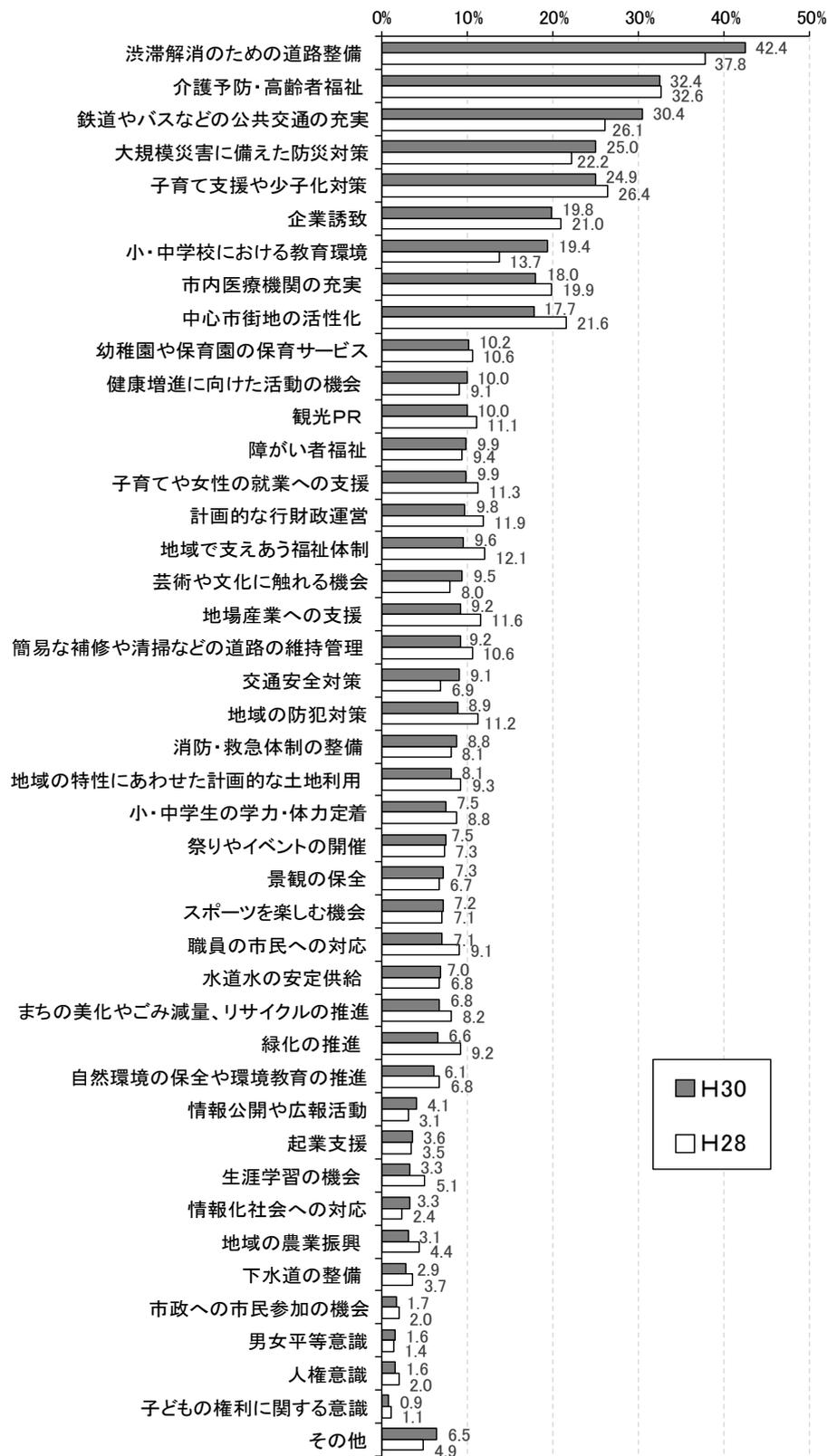
図 4-2-4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位12項目)



平成 28 年調査と比較すると、「小・中学校における教育環境」では 5.7 ポイント、「渋滞解消のための道路整備」では 4.6 ポイント、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」では 4.3 ポイント増加している。

一方で「中心市街地の活性化」は、平成 28 年調査よりも 3.9 ポイント減少しているが、その他の施策項目では大幅に減少しているものはない。

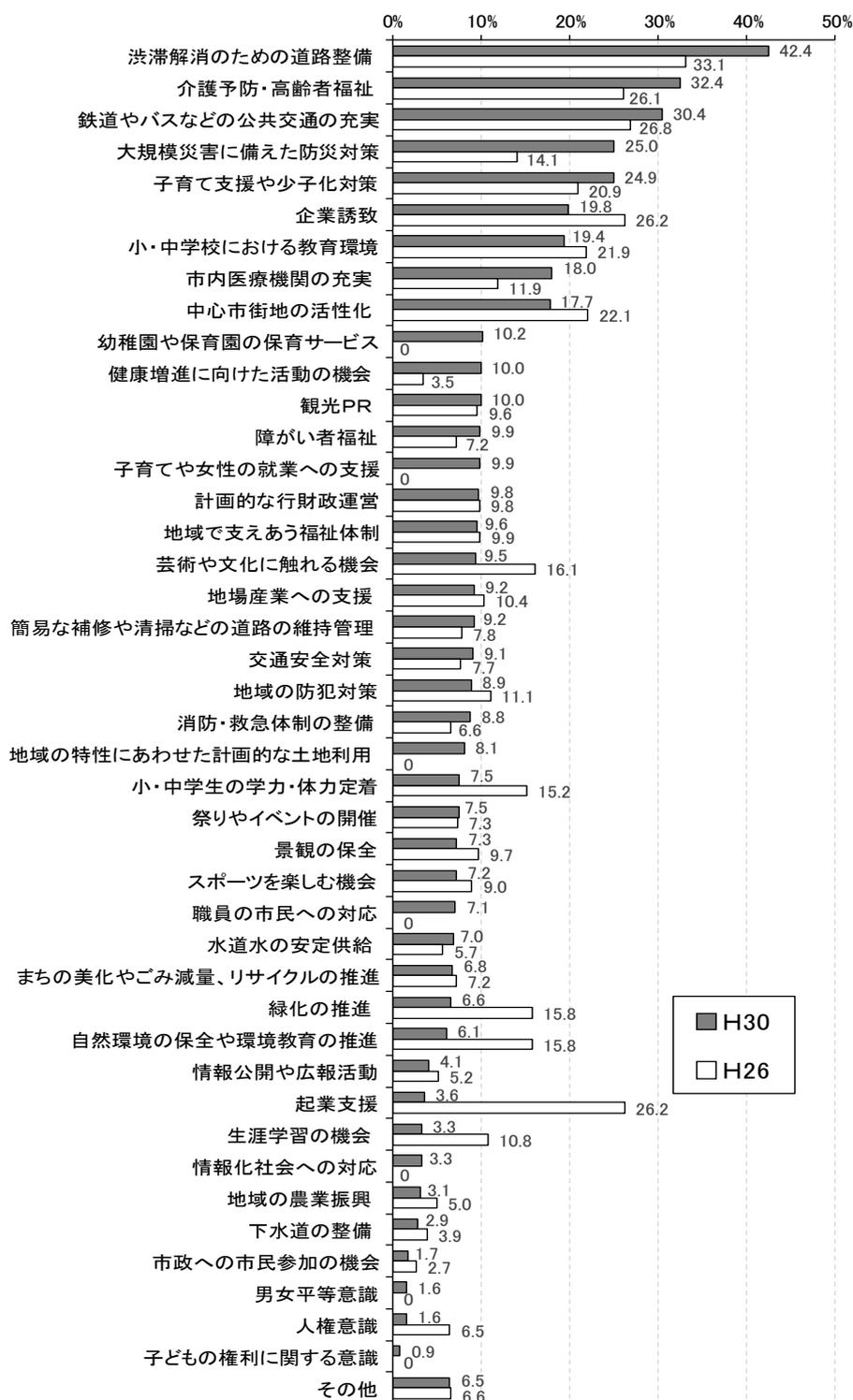
図 4-2-5 「今後力を入れてほしい施策」(過年度比較)



平成 26 年調査と比較すると、「大規模災害に備えた防災対策」では 10.9 ポイント、「渋滞解消のための道路整備」では 9.3 ポイント、「介護予防・高齢者福祉」では 6.3 ポイント増加している。

一方で平成 26 年調査よりも減少しているものとして、「小・中学生の学力・体力定着」が 7.7 ポイント、「生涯学習の機会」が 7.5 ポイント、「芸術や文化に触れる機会」が 6.6 ポイント減少している。

図 4-2-6 「今後力を入れてほしい施策」(過年度比較)



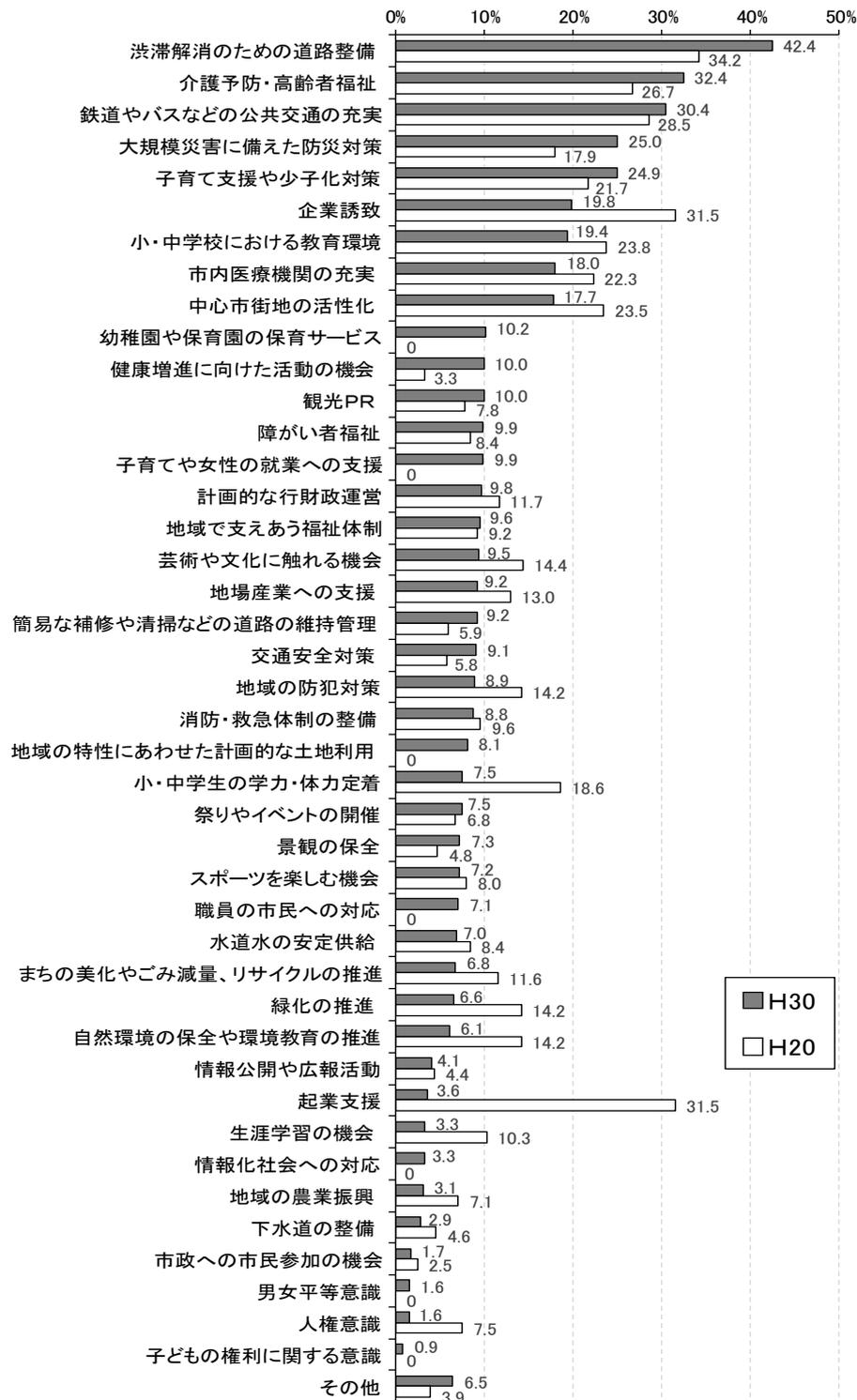
※平成 28 年調査から、「企業誘致や起業支援」は「企業誘致」と「起業支援」として、「自然環境の保全や緑化の推進」は「緑化の推進」と「自然環境の保全や環境教育の推進」としている。

※「幼稚園や保育園の保育サービス」「子育てや女性の就業への支援」「地域の特性にあわせた計画的な土地利用」「子どもの権利に関する意識」「男女平等意識」「職員の市民への対応」「情報化社会への対応」は平成 28 年調査から追加された選択肢となっている。

平成 20 年調査と比較すると、「渋滞解消のための道路整備」が 8.2 ポイント、「大規模災害に備えた防災対策」が 7.1 ポイント、「健康増進に向けた活動の機会」が 6.7 ポイント増加している。

平成 20 年調査よりも減少している施策項目は、「小・中学生の学力・体力定着」で 11.1 ポイント、「生涯学習の機会」が 7.0 ポイント、「芸術や文化に触れる機会」が 4.9 ポイントとなっている。

図 4-2-7 「今後力を入れてほしい施策」(過年度比較)



※平成 28 年調査から、「企業誘致や起業支援」は「企業誘致」と「起業支援」として、「自然環境の保全や緑化の推進」は「緑化の推進」と「自然環境の保全や環境教育の推進」としている。

※「幼稚園や保育園の保育サービス」「子育てや女性の就業への支援」「地域の特性にあわせた計画的な土地利用」「子どもの権利に関する意識」「男女平等意識」「職員の市民への対応」「情報化社会への対応」は平成 28 年調査から追加された選択肢となっている。

以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は以下のようになる。

A=満足度が低く、重要度が高い(最優先で改善すべき施策)		
○渋滞解消のための道路整備	○介護予防・高齢者福祉	○鉄道やバスなどの公共交通の充実
○子育て支援や少子化対策	○企業誘致	
○中心市街地の活性化	○小・中学校における教育環境	
B=満足度も重要度も高い(現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策)		
○大規模災害に備えた防災対策	○市内医療機関の充実	
C=満足度も重要度も低い(重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策)		
○子育てや女性の就業への支援	○計画的な行財政運営	○簡易な補修や清掃などの道路の維持管理
○観光PR	○障がい者福祉	
○地域で支えあう福祉体制	○芸術や文化に触れる機会	○地域の特性にあわせた計画的な土地利用
○交通安全対策	○地場産業への支援	
○起業支援	○景観の保全	○緑化の推進
○情報化社会への対応	○地域の農業振興	○市政への市民参加の機会
○男女平等意識		
D=満足度が高く、重要度が低い(重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策)		
○幼稚園や保育園の保育サービス	○健康増進に向けた活動の機会	○地域の防犯対策
○小・中学生の学力・体力定着	○祭りやイベントの開催	○消防・救急体制の整備
○スポーツを楽しむ機会	○職員の市民への対応	○まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進
○水道水の安定供給	○自然環境の保全や環境教育の推進	○情報公開や広報活動
○生涯学習の機会		
○人権意識	○下水道の整備	○子どもの権利に関する意識

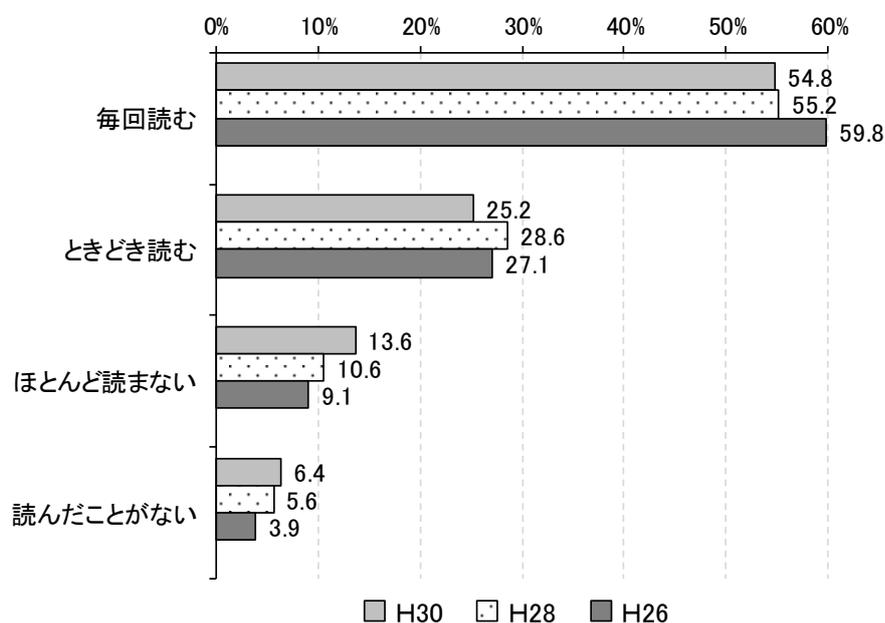
5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

「毎回読む」が54.8%と最も高くなっており、ついで「ときどき読む」が25.2%、「ほとんど読まない」が13.6%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は80.0%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は20.0%となっている。

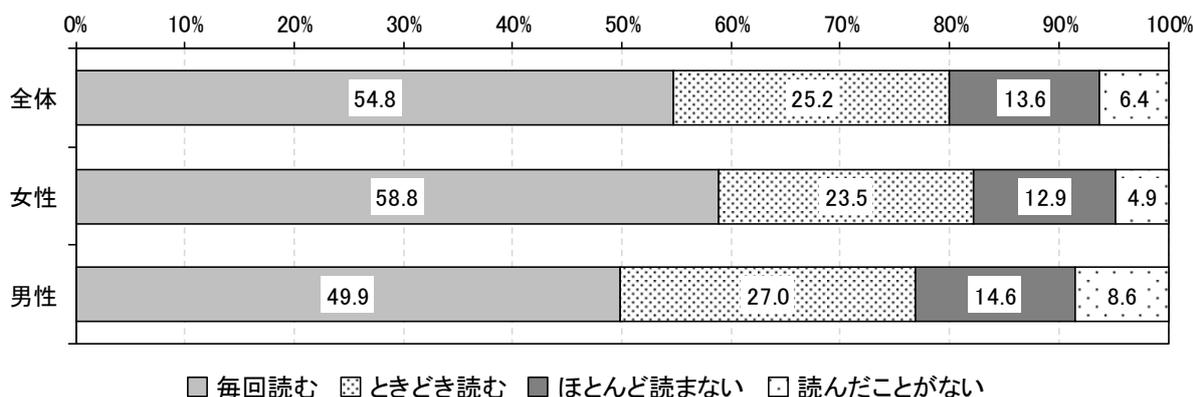
過去の調査と比較すると、平成26年調査から「毎回読む」が徐々に減少している一方で、「ほとんど読まない」、「読んだことがない」が増加している。

図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



“読む”は「女性」で82.3%、「男性」で76.9%となっている。特に「毎回読む」は「男性」が49.9%であるのに対して、「女性」は58.8%と「男性」よりも約10ポイント高くなっている。一方で“読まない”は「女性」で17.8%、「男性」で23.2%となっている。

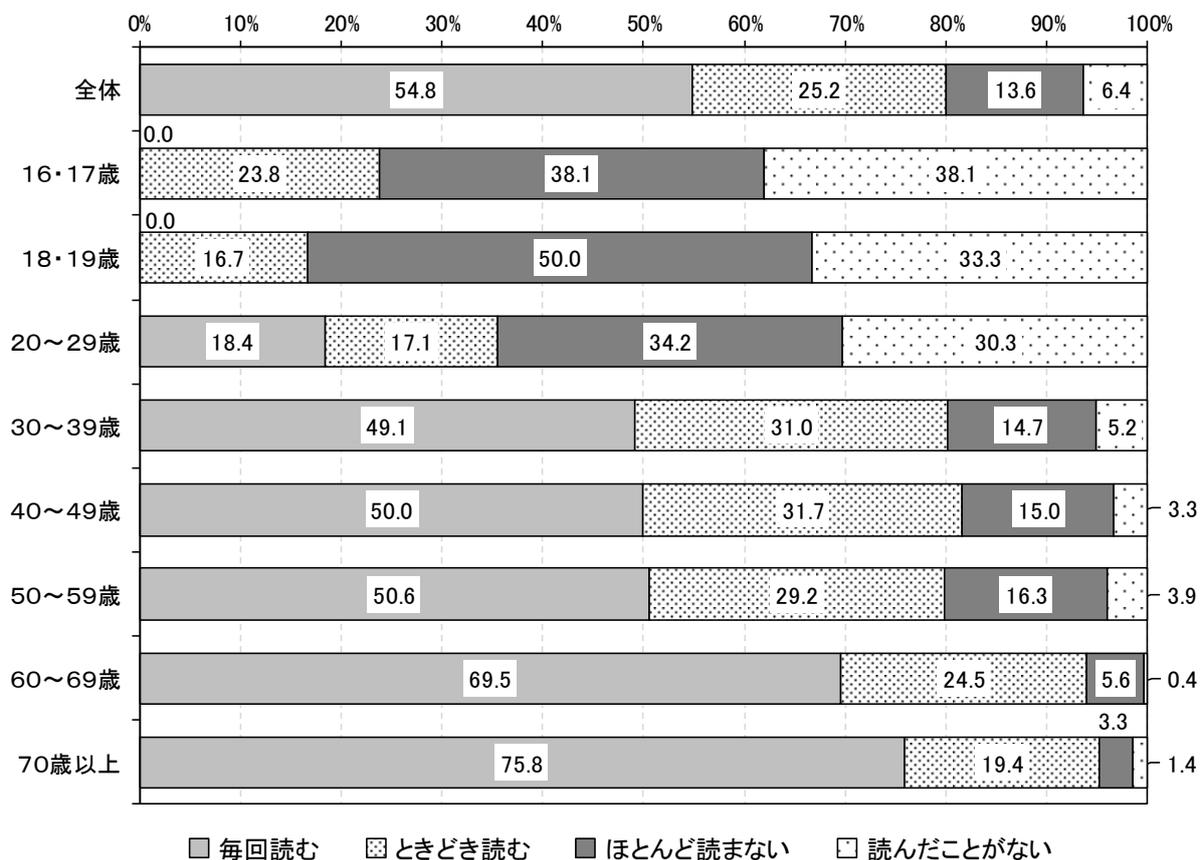
図 5-1-2 性別「広報たじみの閲読頻度」



「16・17歳」、「18・19歳」では「毎回読む」が0.0%となっているが、「20～29歳」から年代が上がるにつれて、その割合は増加していき、「70歳以上」では75.8%となっている。また、「読む」は「30～39歳」以上では、いずれの年代でも7割以上となっている。特に「60～69歳」以上の年代で9割を超えている。

一方で「読まない」は「16・17歳」「18・19歳」「20～29歳」で高くなっており、いずれの年代でも6割を超えている。

図 5-1-3 年代別「広報たじみの閲読頻度」

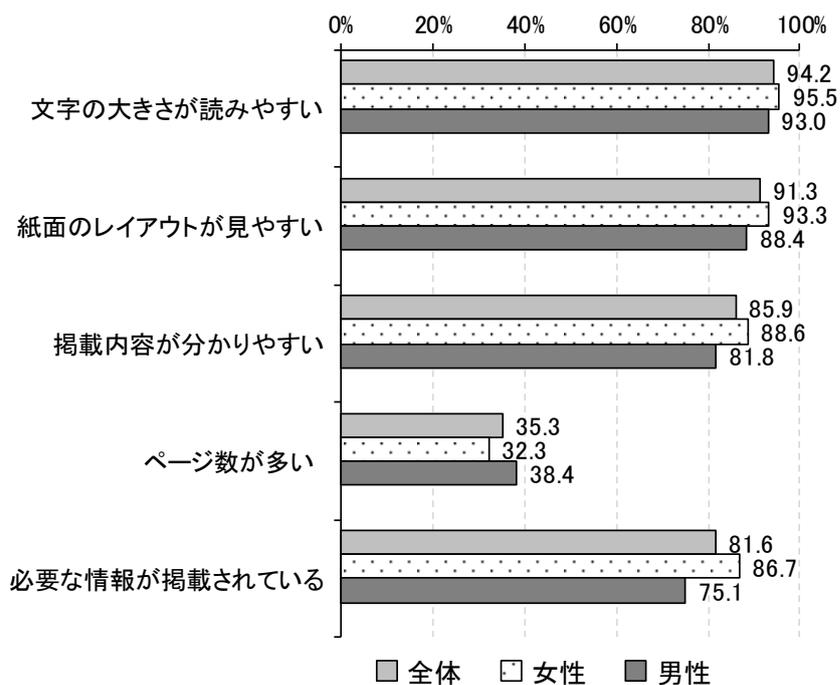


5-2 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容

「ページ数が多い」を除いていずれの項目も8割を超えており、特に「文字の大きさが読みやすい」、「紙面のレイアウトが見やすい」は9割以上で高くなっている。一方で「ページ数が多い」は35.3%と他の項目の半分以下の割合となっている。

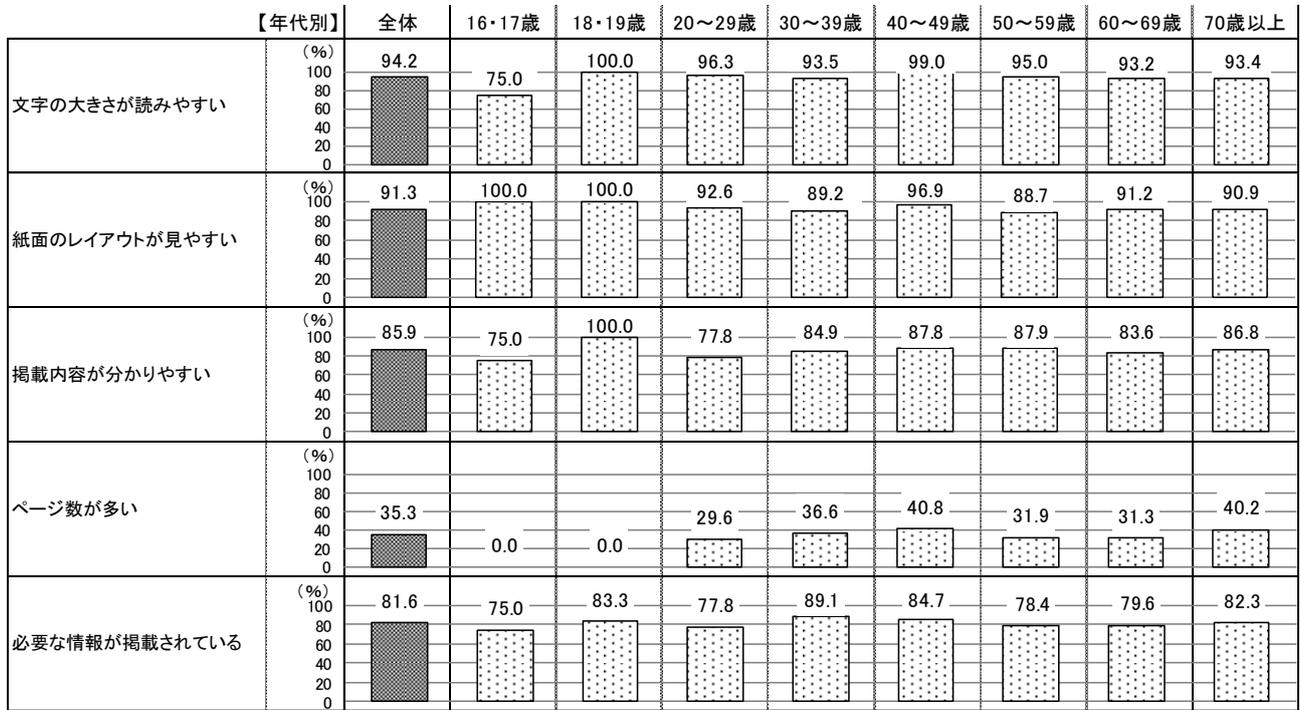
性別にみると、「ページ数が多い」を除くいずれの項目においても、「男性」よりも「女性」の割合が高くなっており、「必要な情報が掲載されている」では10ポイント以上の差がみられる。

図 5-2-1 性別「広報たじみの内容に対する意見」



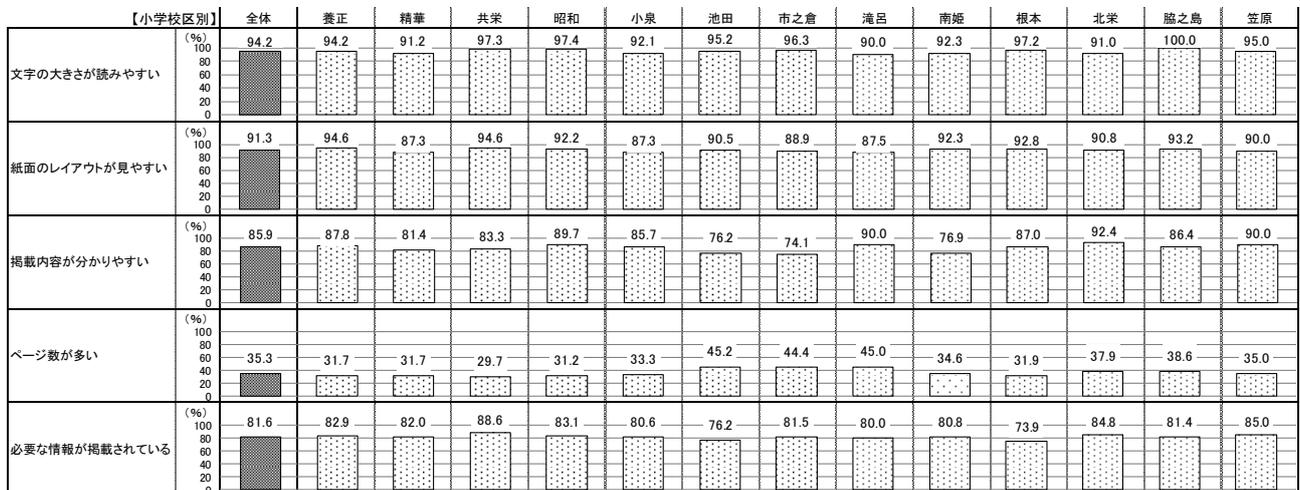
年代別にみると、「18・19歳」「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「文字の大きさが読みやすい」が最も高くなっており、いずれも9割を超えている。また、「18・19歳」では、「紙面のレイアウトが見やすい」「掲載内容が分かりやすい」も高くなっている。「16・17歳」では「紙面のレイアウトが見やすい」が100.0%で最も高くなっている。

図 5-2-2 年代別「広報たじみの内容に対する意見」



小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「池田」「市之倉」「滝呂」「南姫」「根本」「脇之島」「笠原」では「文字の大きさが読みやすい」が最も高くなっており、いずれも9割を超えている。また、「滝呂」では「掲載内容が分かりやすい」、「南姫」では「紙面のレイアウトが見やすい」も同様に高くなっている。「養正」では「紙面のレイアウトが見やすい」、「北栄」では「掲載内容が分かりやすい」が最も高くなっている。

図 5-2-3 小学校区別「広報たじみの内容に対する意見」

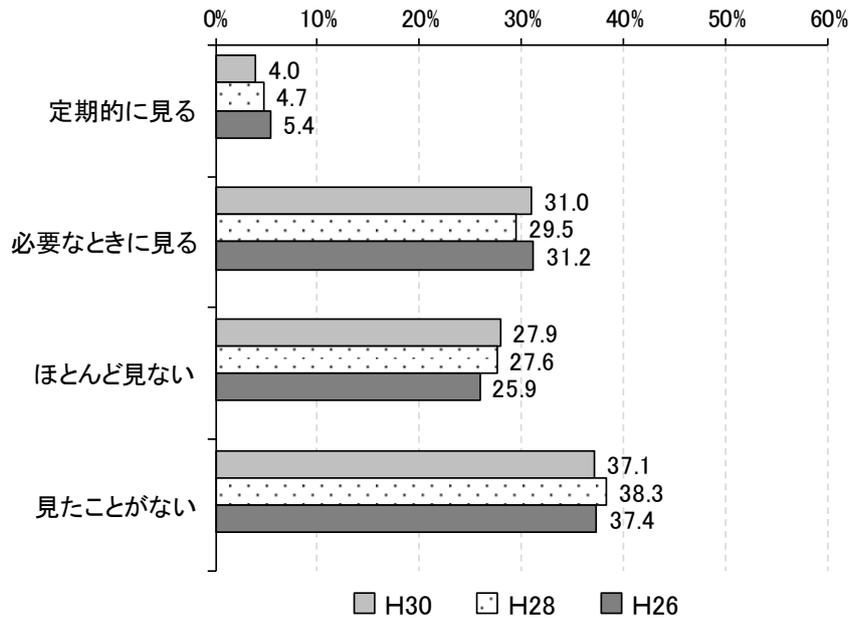


5-3 市のホームページ

「見たことがない」が37.1%で最も高くなっており、ついで「必要なときに見る」が31.0%、「ほとんど見ない」が27.9%となっている。「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は35.0%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は65.0%となっている。

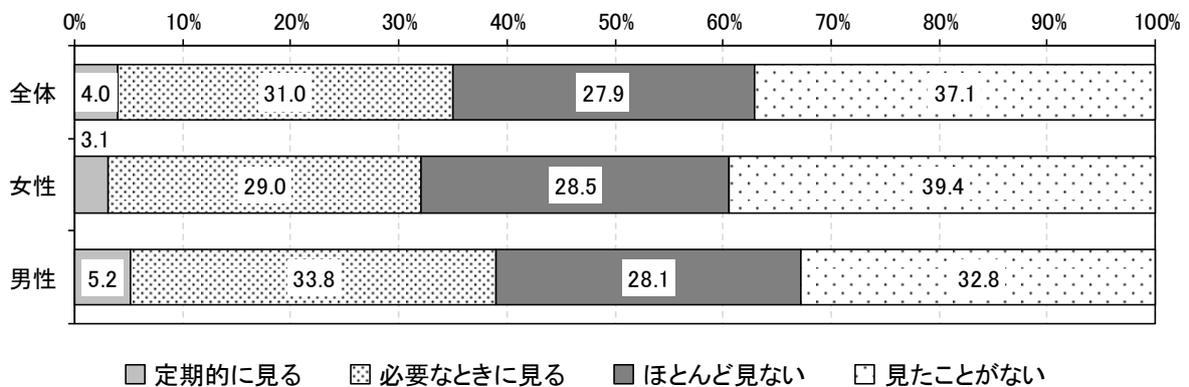
平成28年調査と比較すると、「定期的に見る」「見たことがない」が僅かに減少した一方で、「ほとんど見ない」、「必要なときに見る」が若干増加している。

図 5-3-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)



“見る”は「女性」で32.1%、「男性」で39.0%となっており、「男性」の方が「女性」よりも高くなっている。一方で“見ない”は「女性」で67.9%、「男性」で60.9%となっている。

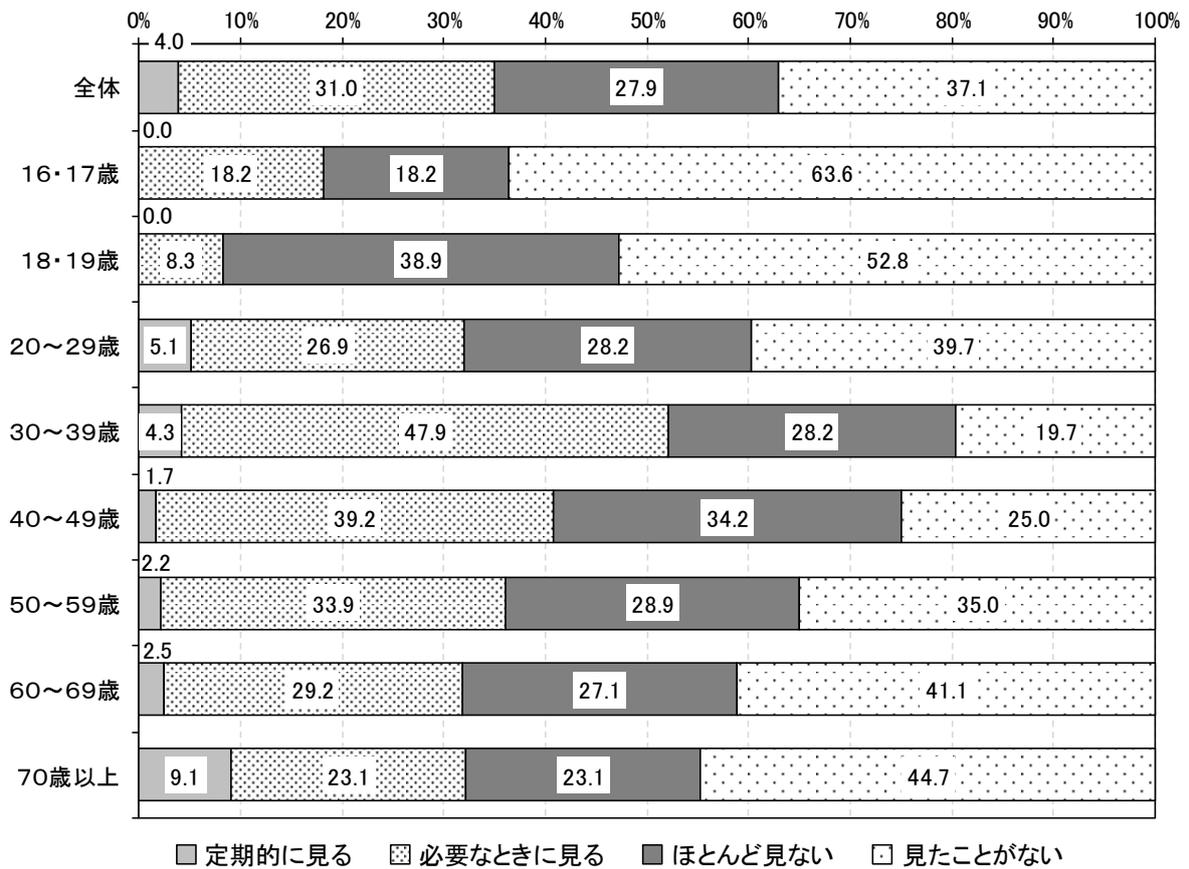
図 5-3-2 性別「ホームページ閲覧頻度」



「定期的に見る」が「16・17歳」「18・19歳」では、0.0%となっている。また、「定期的に見る」は「70歳以上」で最も高くなっているが、9.1%となっている。「見る」は「30～39歳」で最も高くなっており、52.2%となっている。

「見たことがない」は「16・17歳」「18・19歳」の若い世代で5割以上と高くなっているほか、「60～69歳」「70歳以上」でも4割以上と比較的高くなっている。また、「見ない」は「18・19歳」で最も高く、91.7%となっている。

図 5-3-3 年代別「ホームページ閲覧頻度」

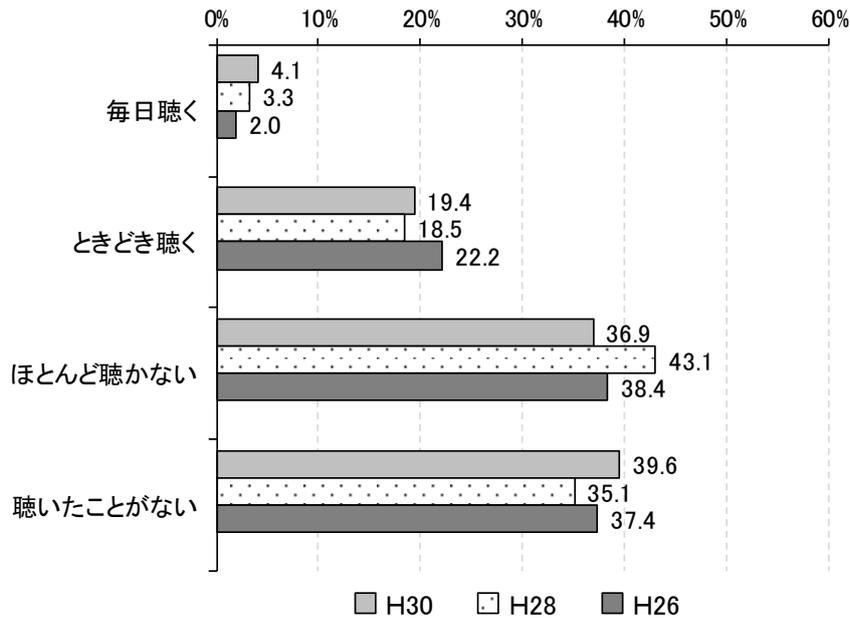


5-4 FMたじみ(エフエムピピ)

「聴いたことがない」が39.6%と最も高くなっており、ついで「ほとんど聴かない」が36.9%、「ときどき聴く」が19.4%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は23.5%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は76.5%となっている。

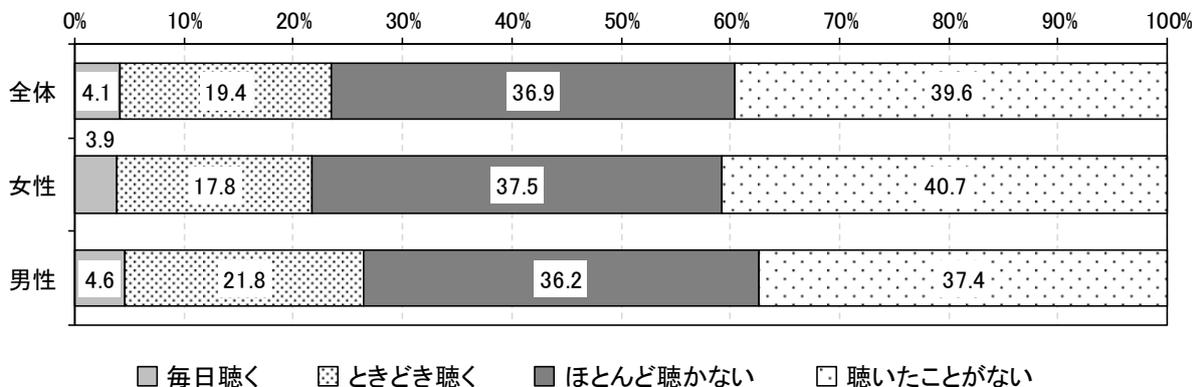
平成28年調査と比較すると、“聴く”が若干増加している。また、平成26年調査以降、僅かではあるが「毎日聴く」が徐々に増加し、平成30年では4.1%となっている。

図 5-4-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)



“聴く”は「女性」が21.7%、「男性」が26.4%となっており、「男性」の方がやや高くなっている。また、“聴かない”は「女性」が78.2%、「男性」が73.6%となっている。

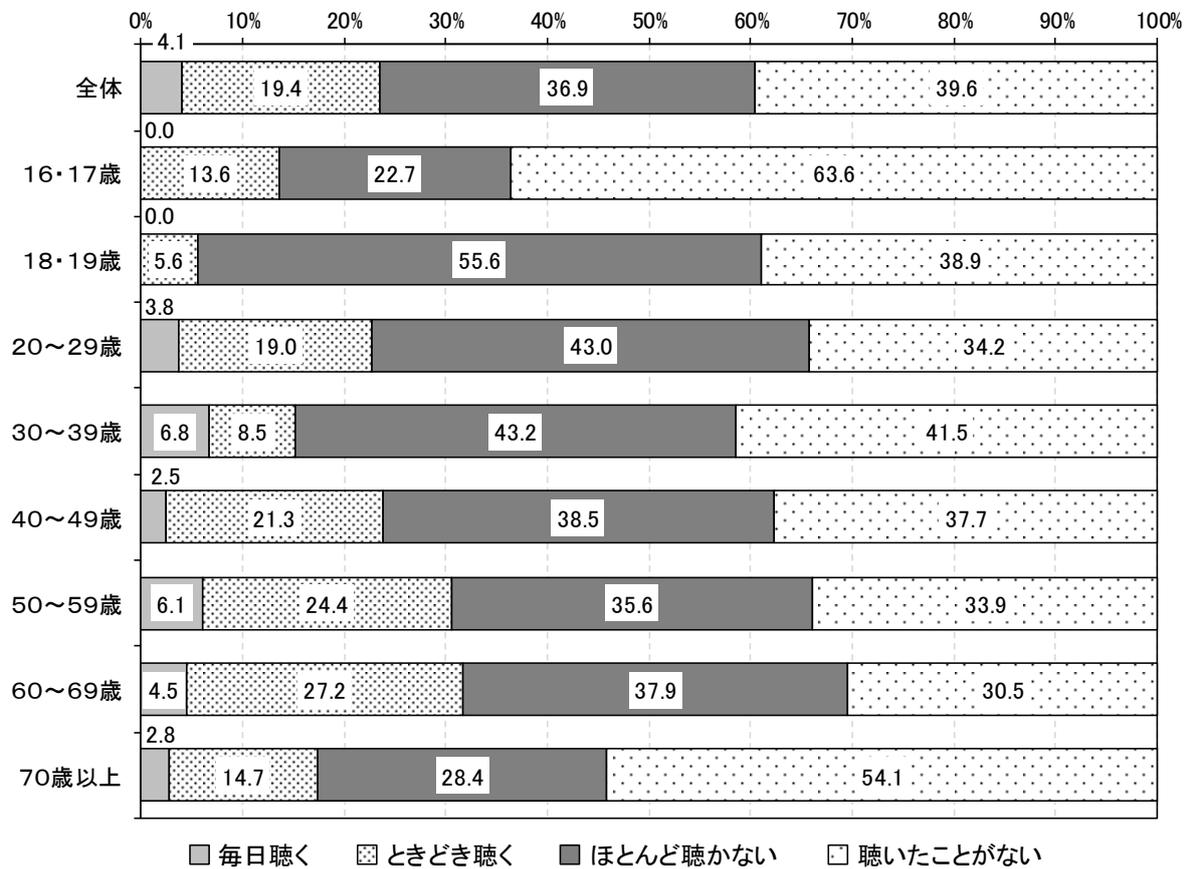
図 5-4-2 性別「FMたじみの聴取頻度」



「毎日聴く」は「30～39歳」で6.8%と最も高くなっている一方で、「16・17歳」、「18・19歳」では0.0%となっている。「聴く」は「60～69歳」で最も高く、31.7%となっている。

「聴いたことがない」は「16・17歳」で63.6%と最も高くなっているほか、「70歳以上」でも54.1%と5割をこえている。また、「聴かない」は「18・19歳」で最も高く、94.4%となっている。

図 5-4-3 年代別「FMたじみの聴取頻度」

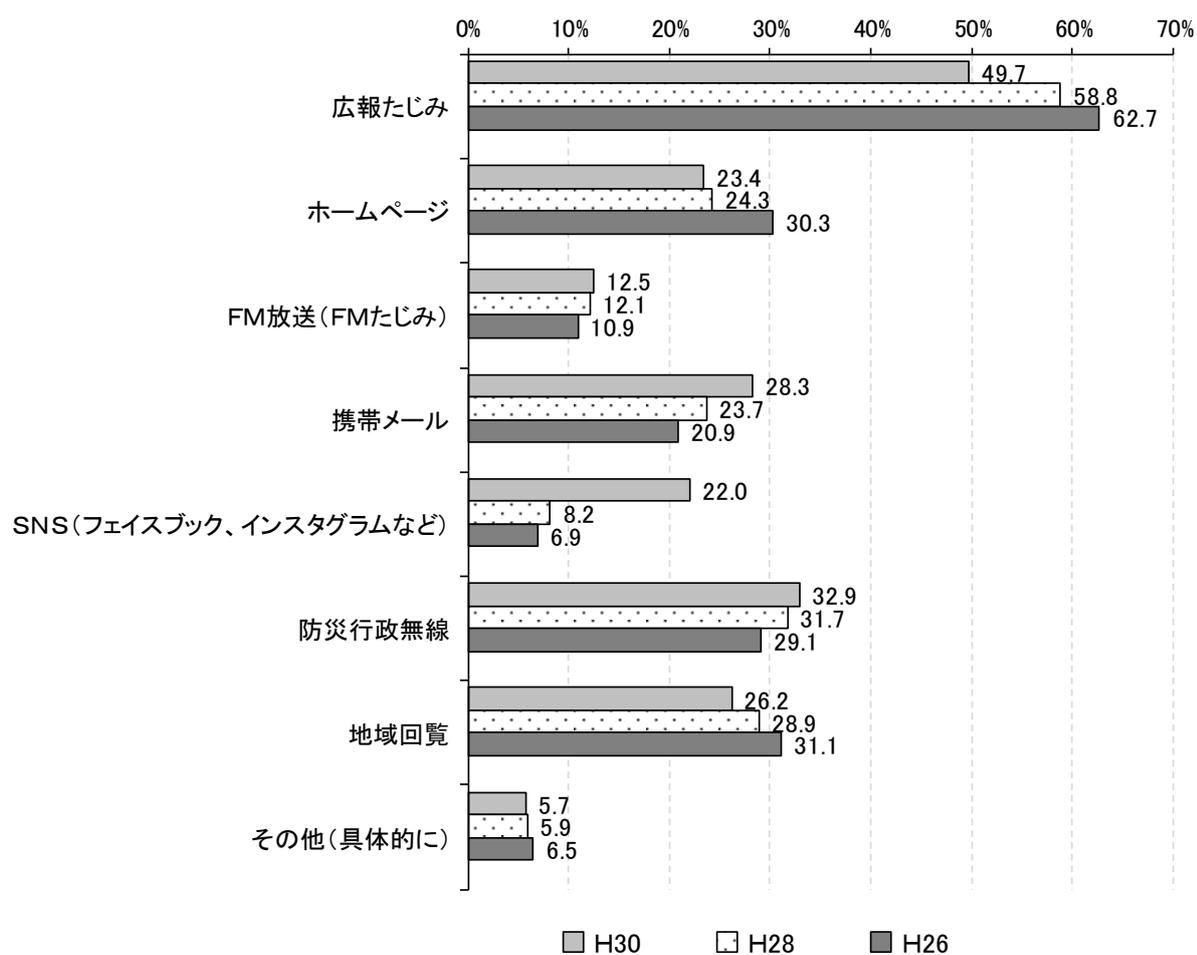


5-5 市の広報手段

「広報たじみ」が49.7%と最も高くなっており、ついで「防災行政無線」が32.9%、「携帯メール」が28.3%となっている。

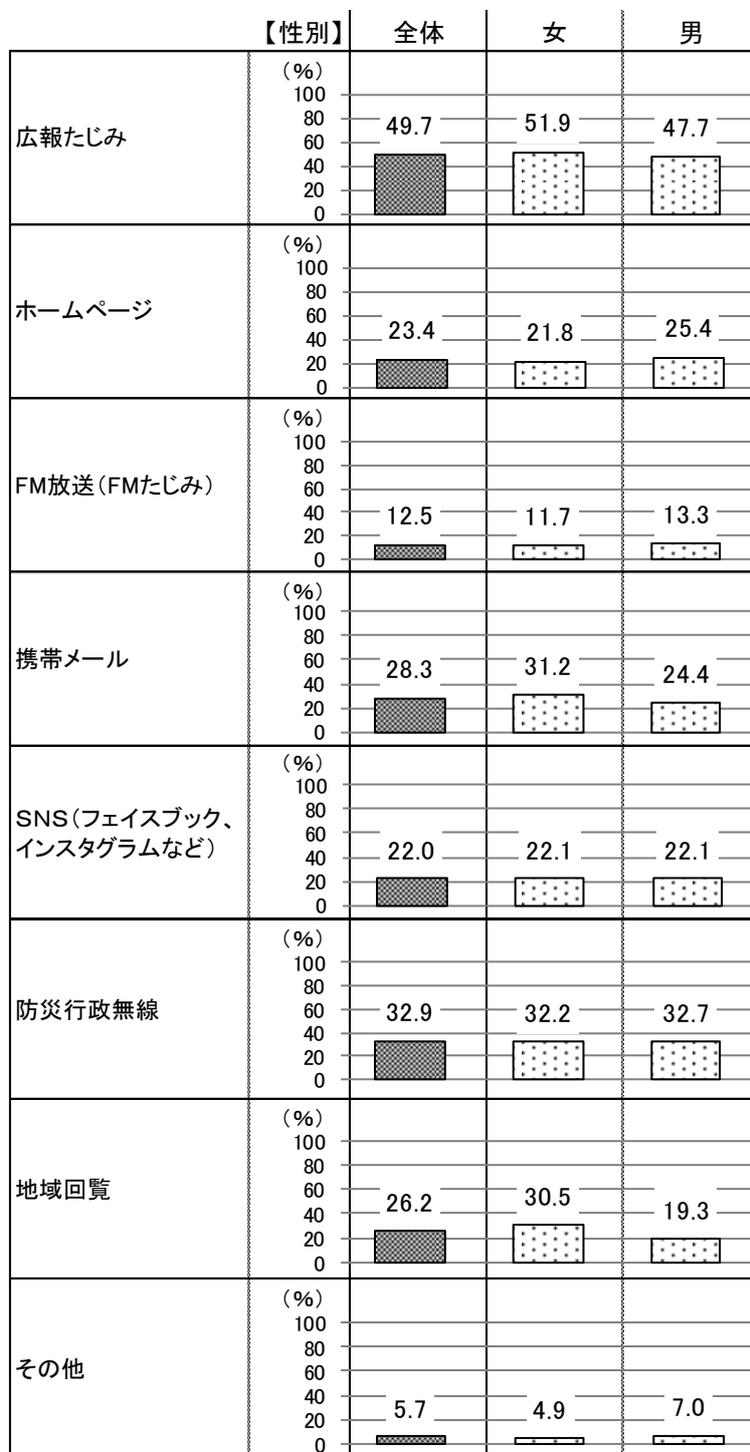
過去の調査と比較すると、「広報たじみ」、「ホームページ」、「地域回覧」は平成26年調査から徐々に減少している一方で、「FM放送(FMたじみ)」、「携帯メール」、「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」、「防災行政無線」は徐々に増加している。

図 5-5-1 「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」(過年度比較)



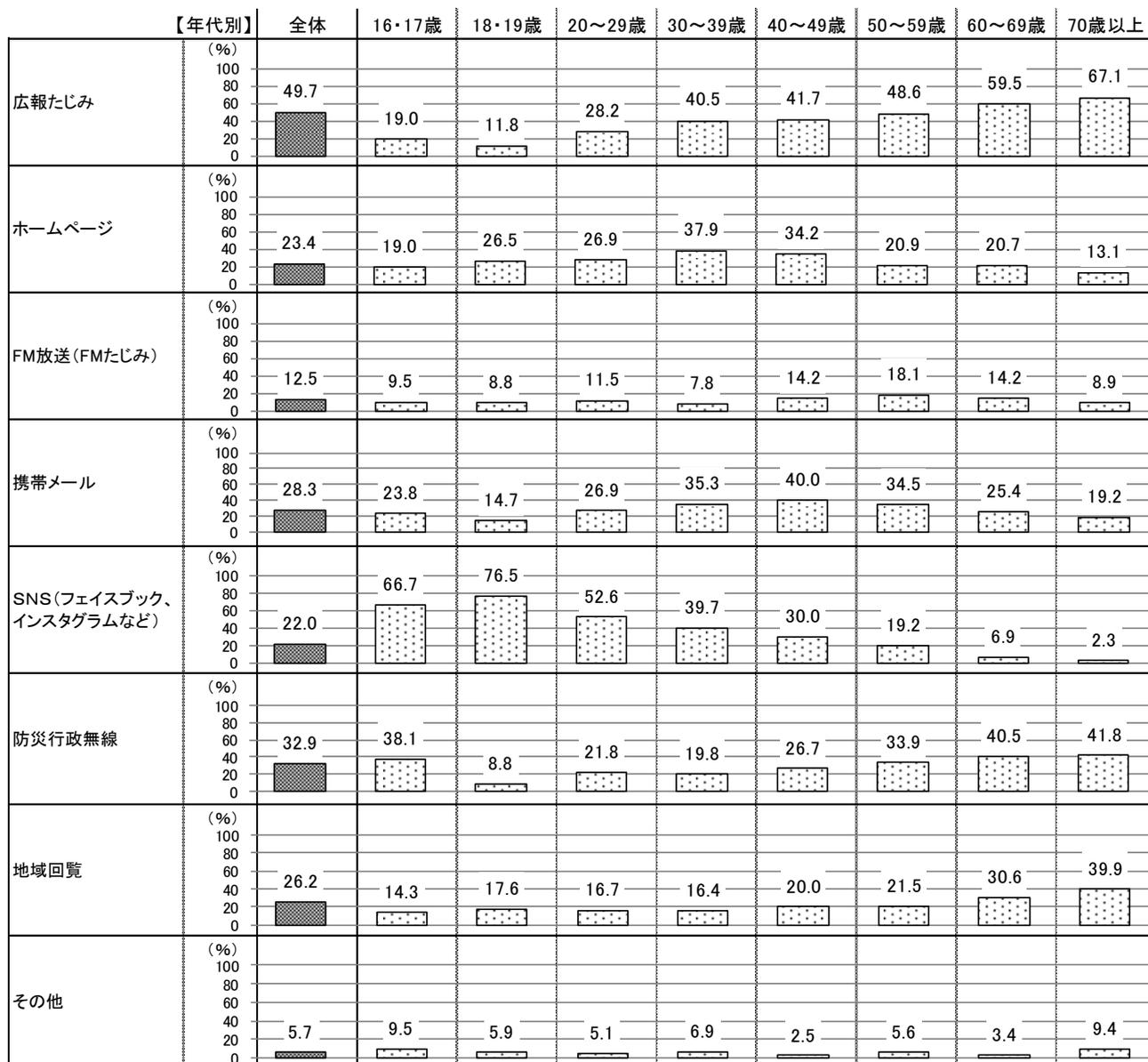
「広報たじみ」が男性・女性ともに最も高くなっており、「女性」で51.9%、「男性」で47.7%となっている。「地域回覧」では「女性」が30.5%、「男性」が19.3%となっており、「女性」が「男性」を10ポイント程度上回っている。

図 5-5-2 性別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



「16・17歳」、「18・19歳」、「20～29歳」の若い年代ではSNSが最も高く、いずれも5割を超えているが、「18・19歳」以降、年代が上がるにつれてその割合は減少している。一方で「30～39歳」から「70歳以上」にかけて「広報たじみ」が高くなっており、「18・19歳」以降、年代が上がるにつれてその割合が増加し、「70歳以上」では67.1%となっている。

図 5-5-3 年代別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



第Ⅱ部

平成 30(2018)年度市民意識調査 (高校生版)

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民意識調査に加え、若者の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握するため市内高校生を対象として行うものであり、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査対象 市内高等学校(多治見高等学校、多治見北高等学校、多治見工業高等学校、多治見西高等学校)2年生の男女
- 調査方法 インターネット回収
- 調査時期 平成30(2018)年9月～10月

3. 回収結果

	依頼数	回収票数	回収率
市内高等学校4校	840	580	69.05%

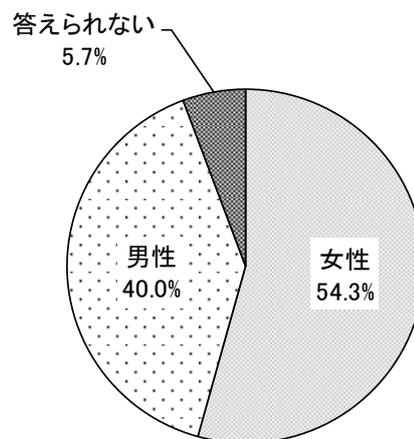
第2章 調査結果

1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が54.3%、「男性」が40.0%、「答えられない」が5.7%となっている。

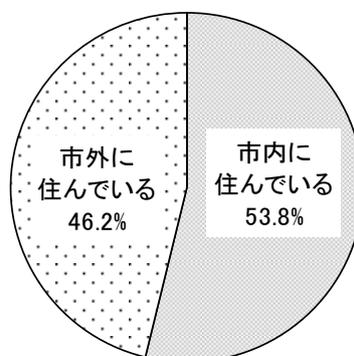
図 1-1-1 「性別」



1-2 居住地

「市内に住んでいる」が53.8%、「市外に住んでいる」が46.2%となっている。

図 1-2-1 「居住地」



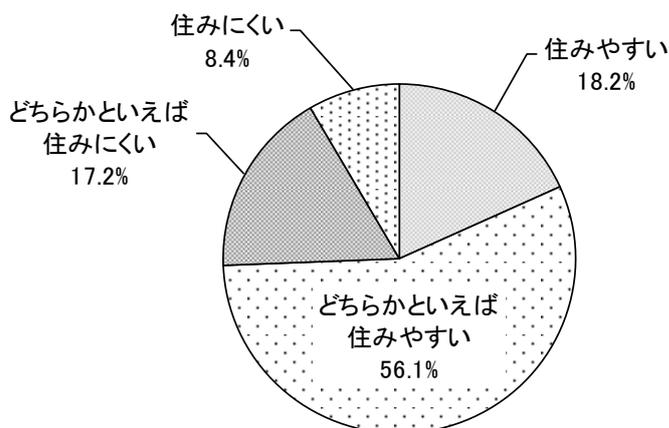
2. 住みやすさと居留意向

2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が56.1%で最も高くなっており、ついで「住みやすい」が18.2%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は74.3%となっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」が17.2%、「住みにくい」が8.4%となっており、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は25.6%となっている。

図 2-1-1 「住みやすさ」

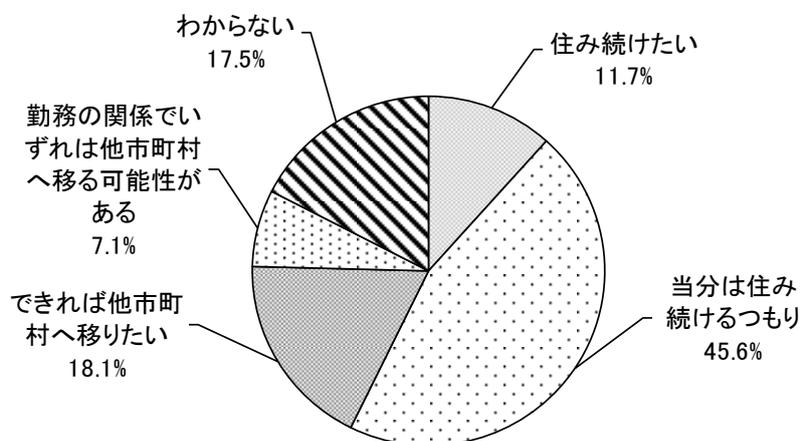


2-2 今後の居留意向

「当分は住み続けるつもり」が45.6%で最も高くなっており、ついで「できれば他市町村へ移りたい」が18.1%、「わからない」が17.5%となっている。

「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと思っている人”は57.3%となっている。

図 2-2-1 「今後の居留意向」

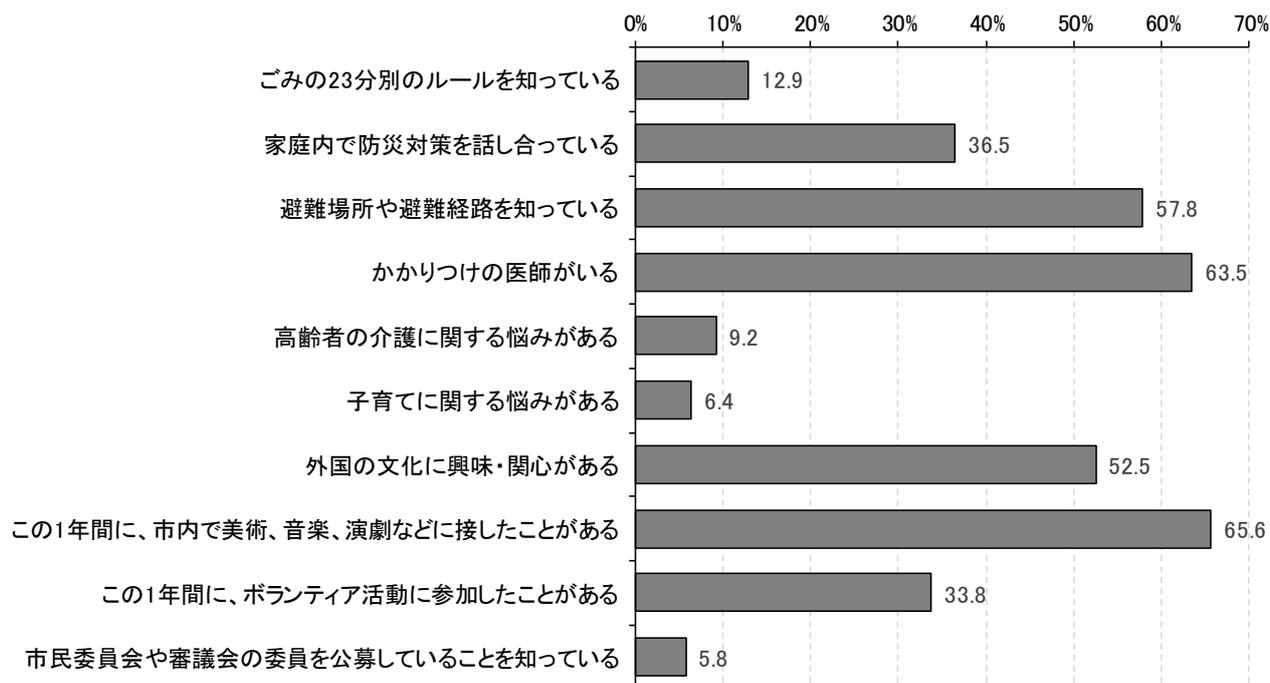


3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」が65.6%で最も高くなっており、ついで「かかりつけ医」がいるが63.5%、「避難場所や避難経路を知っている」が57.8%となっている。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」



4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市政への満足度がプラスだった項目は、42 項目中 28 項目となっており、マイナスだった項目は 12 項目となっている。

平成 28 年調査と比較すると、「地域の防犯対策」の1項目がマイナス評価からプラス評価に転じている一方で、「起業支援」の1項目がプラス評価からマイナス評価になっている。

図 4-1-1 「市政への満足度」

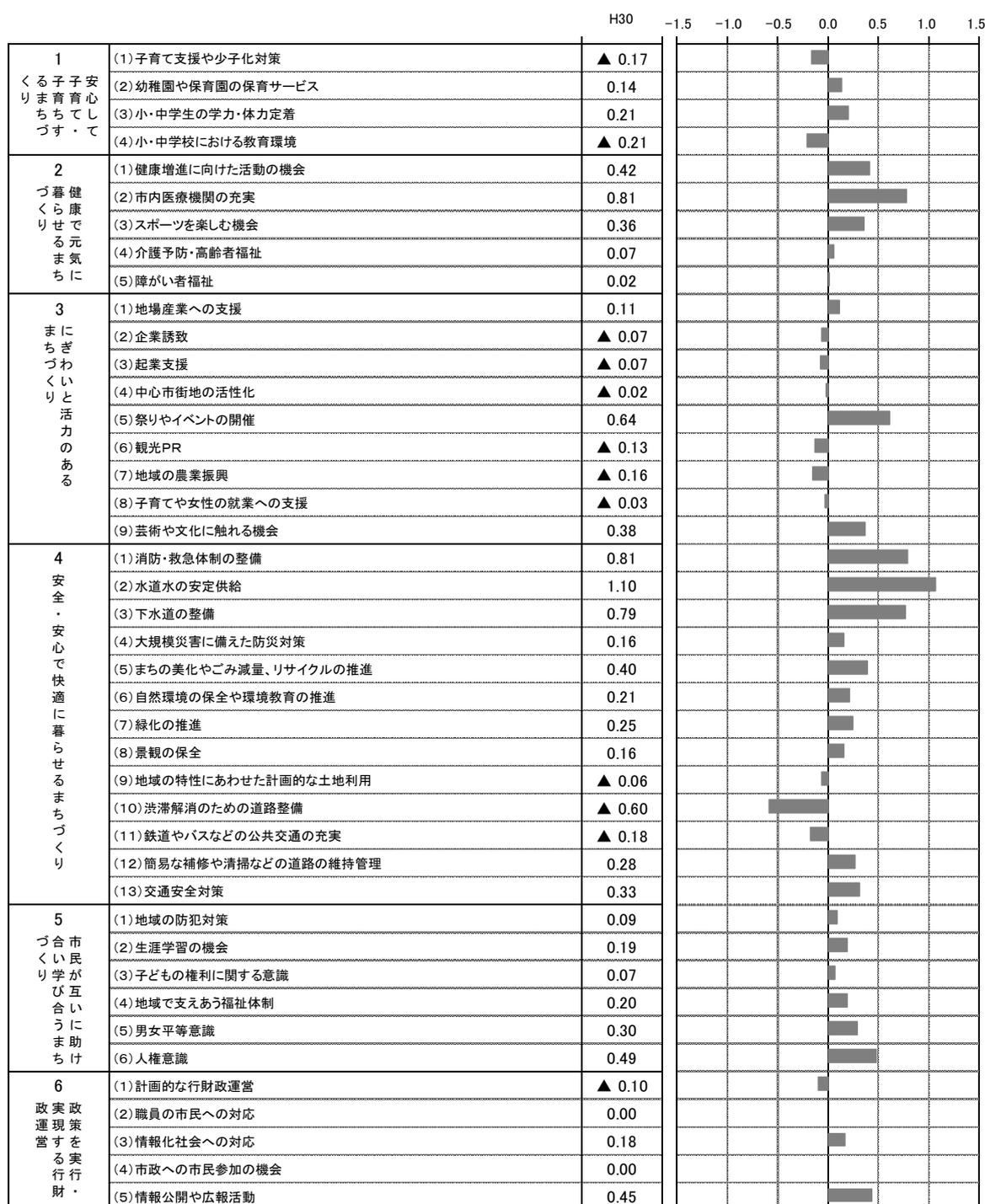
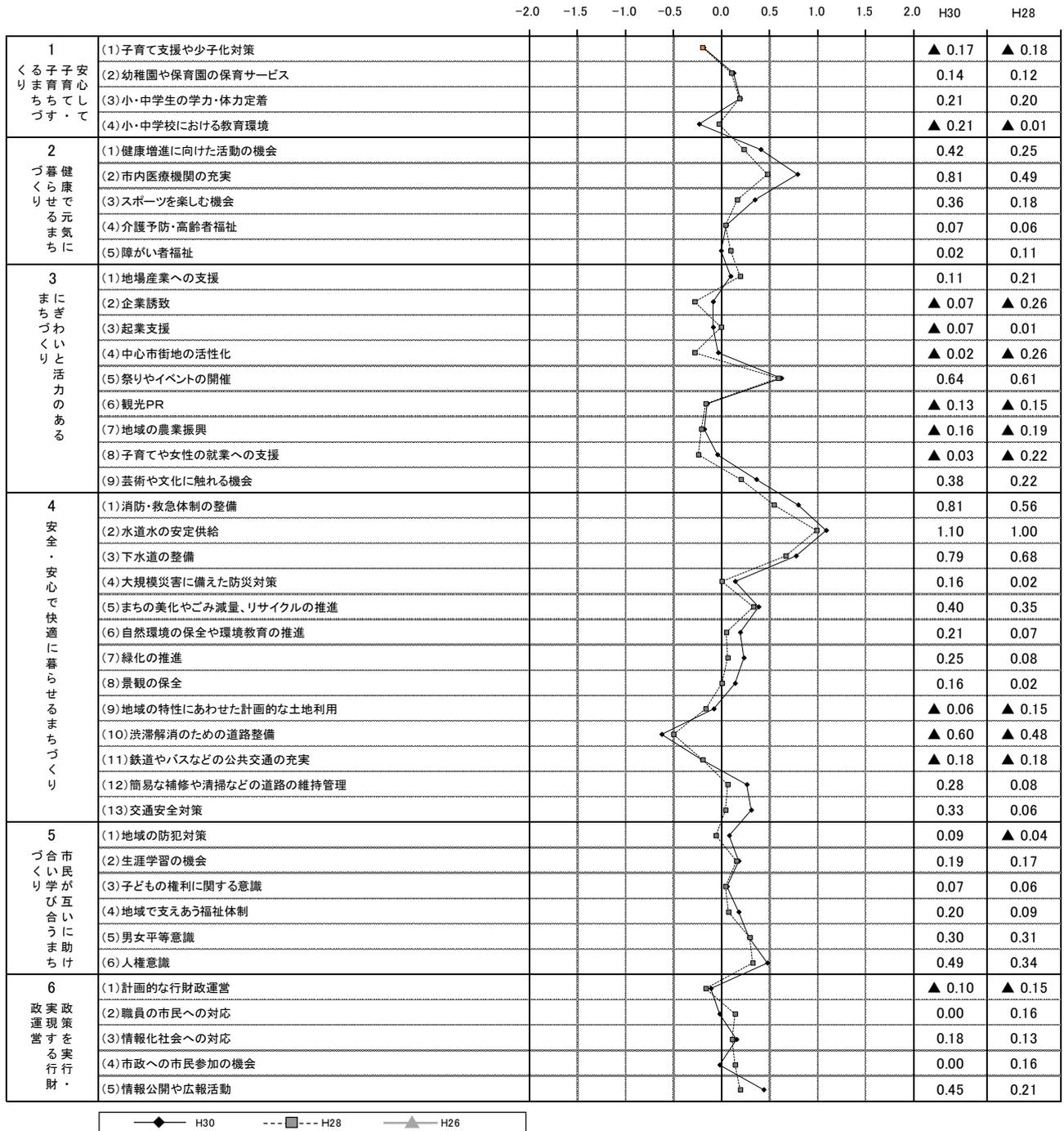


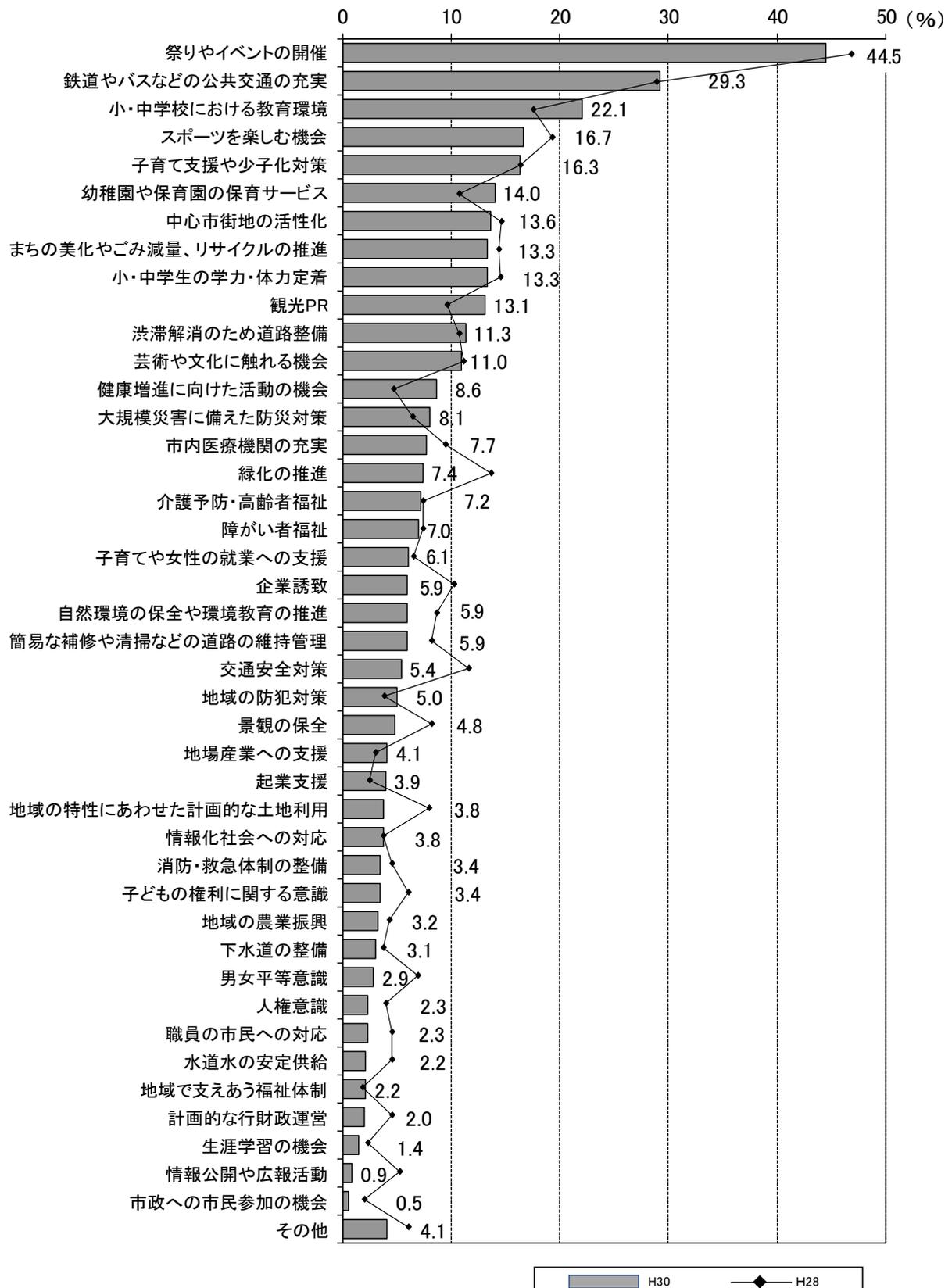
図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較)



4-2 市の重点施策

「祭りやイベントの開催」が44.5%で最も高くなっており、ついで「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が29.3%、「小・中学校における教育環境」が22.1%となっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」

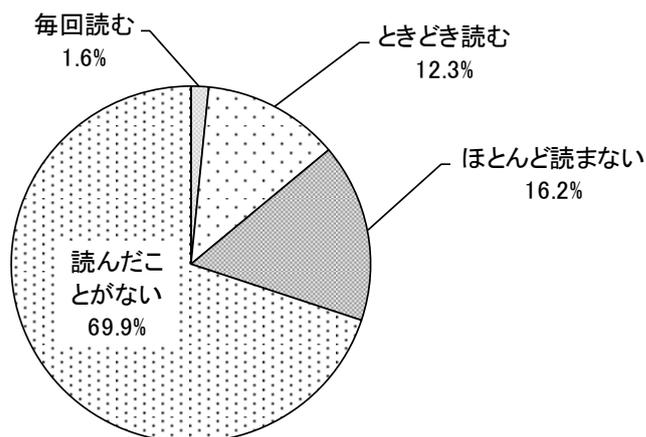


5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

「読んだことがない」が69.9%で最も高くなっており、ついで「ほとんど読まない」が16.2%、「ときどき読む」が12.3%となっている。

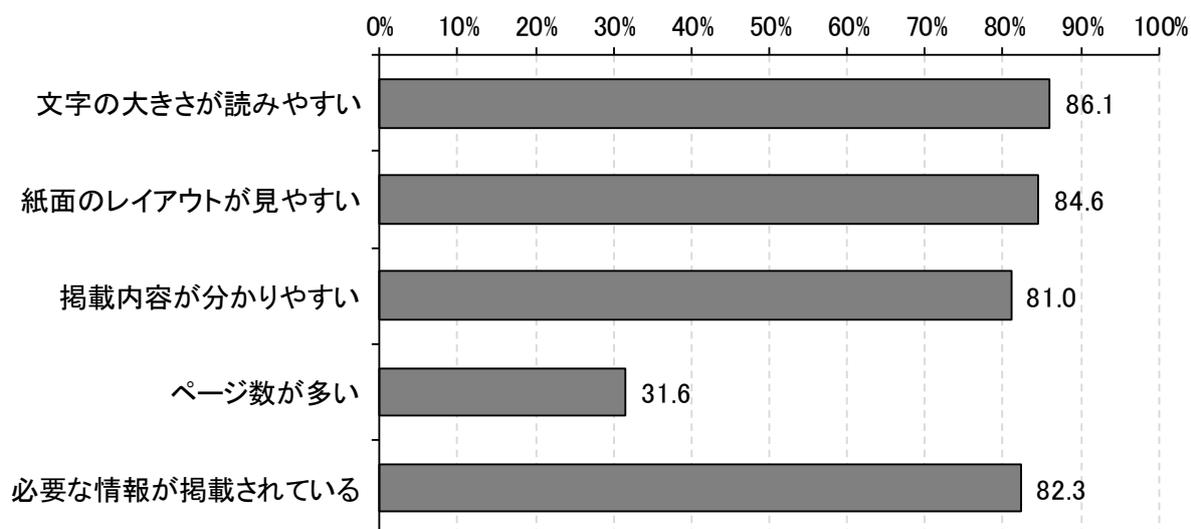
図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」



5-2 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容

「文字の大きさが読みやすい」が86.1%で最も高くなっており、ついで「紙面のレイアウトが見やすい」が84.6%、「必要な情報が掲載されている」が82.3%となっている。

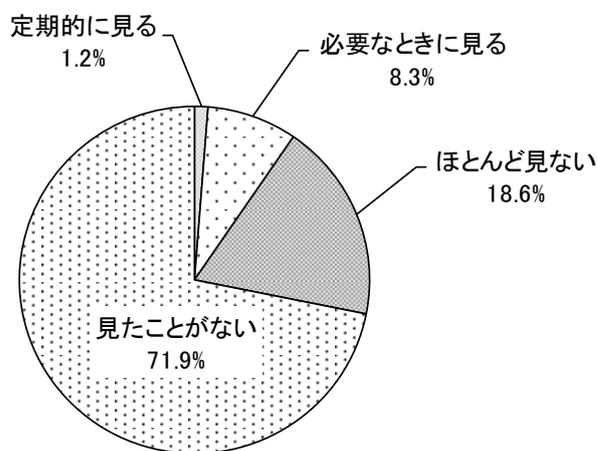
図 5-2-1 「広報たじみの内容に対する意見」



5-3 市のホームページ

「見たことがない」が71.9%で最も高くなっており、ついで「ほとんど見ない」が18.6%、「必要なときに見る」が8.3%となっている。

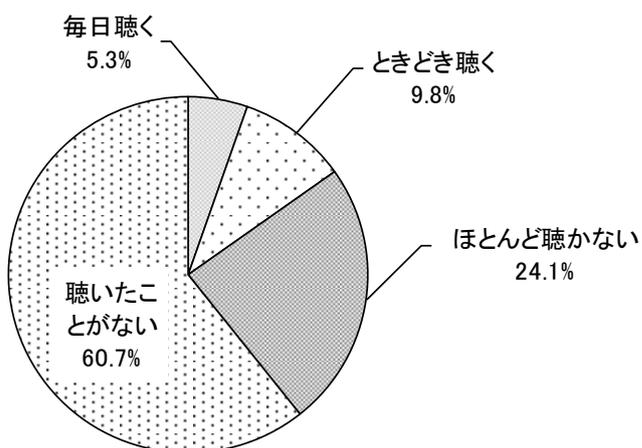
図 5-3-1 「ホームページ閲覧頻度」



5-4 FMたじみ(エフエムピピ)

「聴いたことがない」が60.7%で最も高くなっており、ついで「ほとんど聴かない」が24.1%、「ときどき聴く」が9.8%となっている。

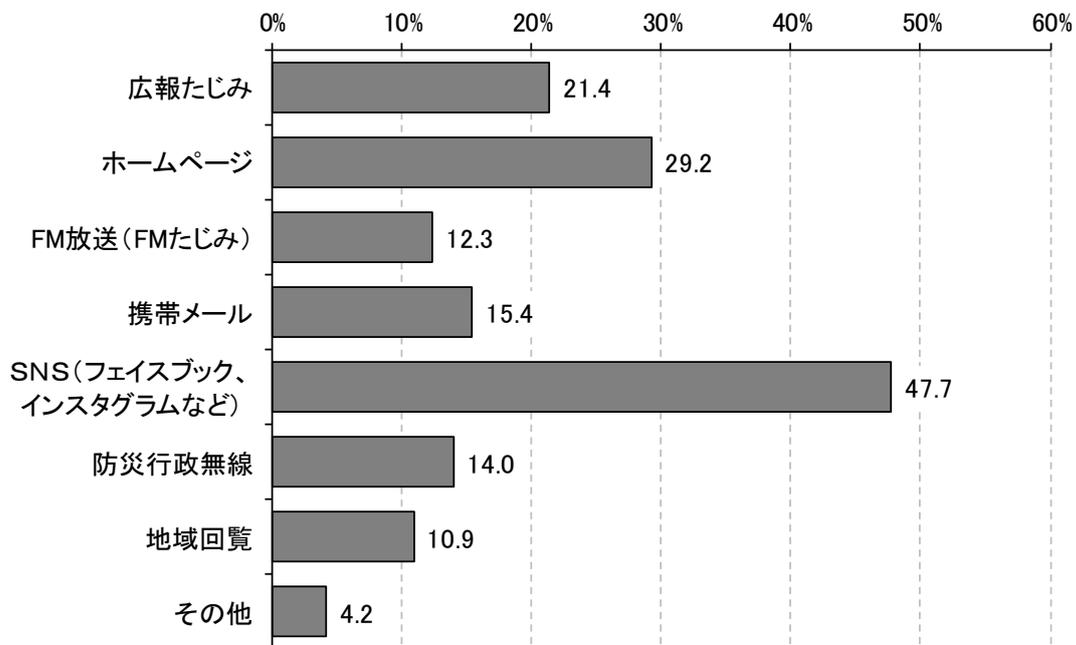
図 5-4-1 「FMたじみの聴取頻度」



5-5 市の広報手段

「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が47.7%で最も高くなっており、ついで「ホームページ」が29.2%、「広報たじみ」が21.4%となっている。

図 5-5-1 「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



参考資料

依頼文書及び調査票

多治見市「市民意識調査」 ご協力のお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート）」を実施することになりました。このアンケートは、市民の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年9月25日
多治見市長 古川 雅典

【ご記入にあたってのお願い】

1. 質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答え下さい。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご記入ください。その場合は記入された方の立場でお答えください。
2. 住所や氏名をご記入いただく必要はありません。
3. ご回答にあたっては、指示のある数だけ、答えの番号に○印をつけてください。
4. お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的に記入してください。

※このアンケートをご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で
10月24日（水）までにご返送ください。切手は不要です。

※インターネットでパソコンやスマートフォンからも回答いただけます。
インターネットで回答いただいた方は返信用封筒で返送いただく必要はありません。

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/h30ishikichosa2.html>



インターネット入力用 ID

(IDはランダムに発行されています。個人を識別できるデータと関連付けることはありません。)

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市 企画部 秘書広報課

電話 22-1372 Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

多治見市市民意識調査 調査表

【問1】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを1つ選び○印をつけてください。

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい

【問2】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 住み続けたい	2. 当分は住み続けるつもり
3. できれば他市町村へ移りたい	4. 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある
5. わからない	

【問3】 次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. ごみの23分別のルールを知っていますか	1	2
2. 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
3. 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
4. かかりつけの医師はいますか	1	2
5. 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
6. 子育てに関する悩みはありますか	1	2
7. 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
8. この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
9. この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
10. 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問4】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉○○○○の整備	1	2	③	4	5

1. 安心して子育て・子育てするまちづくり

(1) 子育て支援や少子化対策	1	2	3	4	5
(2) 幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
(3) 小・中学生の学力・体力定着	1	2	3	4	5
(4) 小・中学校における教育環境	1	2	3	4	5

2. 健康で元気に暮らせるまちづくり

(1) 健康増進に向けた活動の機会	1	2	3	4	5
(2) 市内医療機関の充実	1	2	3	4	5
(3) スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
(4) 介護予防・高齢者福祉	1	2	3	4	5
(5) 障がい者福祉	1	2	3	4	5

3. にぎわいと活力のあるまちづくり

(1)地場産業への支援	1	2	3	4	5
(2)企業誘致	1	2	3	4	5
(3)起業支援	1	2	3	4	5
(4)中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
(5)祭りやイベントの開催	1	2	3	4	5
(6)観光PR	1	2	3	4	5
(7)地域の農業振興	1	2	3	4	5
(8)子育てや女性の就業への支援	1	2	3	4	5
(9)芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5

4. 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

(1)消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
(2)水道水の安定供給	1	2	3	4	5
(3)下水道の整備	1	2	3	4	5
(4)大規模災害に備えた防災対策	1	2	3	4	5
(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	1	2	3	4	5
(6)自然環境の保全や環境教育の推進	1	2	3	4	5
(7)緑化の推進	1	2	3	4	5
(8)景観の保全	1	2	3	4	5
(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
(10)渋滞解消のための道路整備	1	2	3	4	5
(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	1	2	3	4	5
(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
(13)交通安全対策	1	2	3	4	5

5. 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

(1)地域の防犯対策	1	2	3	4	5
(2)生涯学習の機会	1	2	3	4	5
(3)子どもの権利に関する意識	1	2	3	4	5
(4)地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5
(5)男女平等意識	1	2	3	4	5
(6)人権意識	1	2	3	4	5

6. 政策を実行・実現する行財政運営

(1)計画的な行財政運営	1	2	3	4	5
(2)職員の市民への対応	1	2	3	4	5
(3)情報化社会への対応	1	2	3	4	5
(4)市政への市民参加の機会	1	2	3	4	5
(5)情報公開や広報活動	1	2	3	4	5

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後力をいれてほしいものについておたずねします。次の項目の中から、重要度の高いものを5つまで選び、○印をつけてください。

＜安心して子育て・子育てするまちづくり＞		
1. 子育て支援や少子化対策	22. 大規模災害に備えた防災対策	
2. 幼稚園や保育園の保育サービス	23. まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	
3. 小・中学生の学力・体力定着	24. 自然環境の保全や環境教育の推進	
4. 小・中学校における教育環境	25. 緑化の推進	
＜健康で元気に暮らせるまちづくり＞		
5. 健康増進に向けた活動の機会	26. 景観の保全	
6. 市内医療機関の充実	27. 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	
7. スポーツを楽しむ機会	28. 渋滞解消のため道路整備	
8. 介護予防・高齢者福祉	29. 鉄道やバスなどの公共交通の充実	
9. 障がい者福祉	30. 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	
＜にぎわいと活力のあるまちづくり＞		
10. 地場産業への支援	31. 交通安全対策	
11. 企業誘致	＜市民が互いに助け合い学び合うまちづくり＞	
12. 起業支援	32. 地域の防犯対策	
13. 中心市街地の活性化	33. 生涯学習の機会	
14. 祭りやイベントの開催	34. 子どもの権利に関する意識	
15. 観光PR	35. 地域で支えあう福祉体制	
16. 地域の農業振興	36. 男女平等意識	
17. 子育てや女性の就業への支援	37. 人権意識	
18. 芸術や文化に触れる機会	＜政策を実行・実現する行財政運営＞	
＜安全・安心で快適に暮らせるまちづくり＞		
19. 消防・救急体制の整備	38. 計画的な行財政運営	
20. 水道水の安定供給	39. 職員の市民への対応	
21. 下水道の整備	40. 情報化社会への対応	
	41. 市政への市民参加の機会	
	42. 情報公開や広報活動	
	43. その他（具体的に）	
	[]	

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。次の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選び（6-5は複数）、○印をつけてください。

6-1 あなたは、広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）を読んでいますか。

1. 毎回読む 2. ときどき読む 3. ほとんど読まない 4. 読んだことがない

6-2 広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）に関する次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
2. 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
3. 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
4. ページ数は多いですか	1	2
5. 必要な情報は掲載されていますか	1	2

6-3 あなたは、多治見市のホームページを見ますか。

1. 定期的に見る 2. 必要なときに見る 3. ほとんど見ない 4. 見たことがない

多治見市「市民意識調査（高校生用）」 ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート）」を実施することになりました。このアンケートは、市内高校生の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年9月 1日
多治見市長 古川 雅典

【ご回答にあたってのお願い】

インターネットでパソコンやスマートフォンから回答してください。



<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/h30ishikichosa-hs2.html>

※9月26日（水）までに回答してください。

※回答は1回のみでお願いします。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市 企画部 秘書広報課

電話 0572-22-1372

Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

平成 30(2018)年度 市民意識調査報告書

平成 31(2019)年3月発行

発行:多治見市役所 企画部 秘書広報課

〒 507-8703 多治見市日ノ出町2丁目 15 番地

TEL 0572-22-1372

調査機関:(株)創建

〒 460-0011 名古屋市中区大須4丁目 10 番 32 号

TEL 052-253-7169